

平成 4 年度
塩山市母子保健調査報告書

平成 5 年 7 月
山梨医科大学保健学Ⅱ教室



はじめに

平成元年より毎年作成している「塩山市母子保健調査報告書」の平成4年版を発行できる運びになった。塩山市保健環境課の御協力を得、山梨医科大学保健学Ⅱ教室のスタッフにより調査分析したものである。本年度の報告書には、従来より継続して行なっている「母子健康手帳交付時」、「1歳6ヵ月児健康診査時」、「3歳児健康診査時」のアンケート調査結果および個別研究として『低体重児の生後の発達について』の研究と『双生児の成長・発達と地域保健』の研究の2つを行なった。低体重児に関する研究は昨年度の『低体重児の生後の発育について』に続くものである。またこれまでに出生した児のなかに7組の双生児がみられたことと、双生児は一般に単胎児に比べてハイリスクであることから、地域保健という立場からこの集団に対する管理を充実させていくための第一歩として後者の研究を行なった。これらの研究と関連した学会報告について次頁に掲載したので併せて御覧いただければ幸いである。

平成5年7月

山梨医科大学保健学Ⅱ教室
教授 浅香 昭雄

第 7 回 山梨小児保健研究会、平成元年 1 2 月、甲府

細田恵子、相沢朝子、大村光枝、根津直美、井上愛子、広瀬美穂、
萩原静子、芦沢陽子、浅香昭雄、飯島純夫、竹下達也、山縣然太郎、
星野齊之：塩山市母子健康手帳交付時および乳児健診時アンケート調査の
報告

第 8 回 山梨小児保健研究会、平成 2 年 1 1 月、甲府

飯島純夫、浅香昭雄、竹下達也、山縣然太郎、大間敏美、相沢朝子、
大村光枝、根津直美、井上愛子、広瀬美穂、萩原静子、芦沢陽子：
妊娠届け出時の妊娠週数とそれに関連する要因の分析

第 6 1 回 日本衛生学会、平成 3 年 4 月、京都

飯島純夫、竹下達也、山縣然太郎、藤島美奈子、浅香昭雄：妊娠出生時に
おける妊娠週数とそれに関連する要因の分析

第 3 8 回 日本小児保健学会、平成 3 年 9 月、旭川

飯島純夫、藤島美奈子、浅香昭雄：低出生体重児出生に関連する要因と生
後の発育

第 9 回 山梨小児保健研究会、平成 3 年 1 1 月、甲府

金井美紀、相沢朝子、大村光枝、根津直美、井上愛子、広瀬美穂、萩原静
子、芦沢陽子、篠崎眞一、藤島美奈子、山縣然太郎、大間敏美、飯島純夫、
浅香昭雄：低出生体重児の生後の発育について

第 5 1 回 日本公衆衛生学会、平成 4 年 1 0 月、東京

山縣然太郎、飯島純夫、篠崎眞一、浅香昭雄、金井美紀、広瀬美穂、井上
愛子、相沢朝子：低体重児の乳幼児健診時における身体発育の経時的比較

第 1 0 回 山梨小児保健研究会、平成 4 年 1 1 月、甲府

篠崎眞一、宮村季浩、五十嵐健康、山縣然太郎、大間敏美、飯島純夫、
浅香昭雄、金井美紀、芦沢陽子、萩原静子、広瀬美穂、井上愛子、根津直
美、大村光枝、相沢朝子：低体重児の生後の発達について

第 7 回 双生児研究会、平成 5 年 1 月、新潟

篠崎眞一、宮村季浩、五十嵐健康、山縣然太郎、大間敏美、飯島純夫、
浅香昭雄、金井美紀、相沢朝子：双生児の成長・発達と地域保健

塩山市母子保健調査プロジェクト組織

山梨医科大学保健学Ⅱ教室

教授	浅香 昭雄
助教授	飯島 純夫
助手	山縣 然太郎
助手	大間 敏美
大学院生	五十嵐 健康
大学院生	篠崎 真一
大学院生	宮村 季浩
技官	今井 小絵

塩山市保健環境課

目次

I . 調査の概要	1
II . 調査回答者にかかわる属性	3
III . 調査結果および考察	1 3
III - 1 . 母子健康手帳交付時	1 4
III - 2 . 1歳6ヵ月児健診時	4 0
III - 3 . 3歳児健診時	5 4
IV . 調査票	7 5
IV - 1 . 母子健康手帳交付時調査票	7 6
IV - 2 . 1歳6ヵ月児健診時調査票	8 0
IV - 3 . 3歳児健診時調査票	8 3
V . 個別研究	8 7
V - 1 . 低体重児の生後の発達について	8 8
V - 2 . 双生児の成長・発達と地域保健	9 9

I . 調査の概要

I . 調 査 の 概 要

1 . 調 査 の 目 的

塩山市における妊娠、出産、育児、母子の健康、生活習慣等に関して、その実態を把握し、今後の母子保健活動に役立てることを目的とするものである。

2 . 調 査 対 象

塩山市において、①平成4年4月から平成5年1月の間に、母子健康手帳を交付された妊婦196名、②平成2年4月生～平成3年3月生で1歳6ヵ月児健康診査を受診した幼児の母親202名、③平成元年4月生～平成2年1月生で3歳児健康診査を受診した幼児の母親198名。

3 . 調 査 方 法

自記式アンケート調査

4 . 集 計 方 法

S A S による単純集計

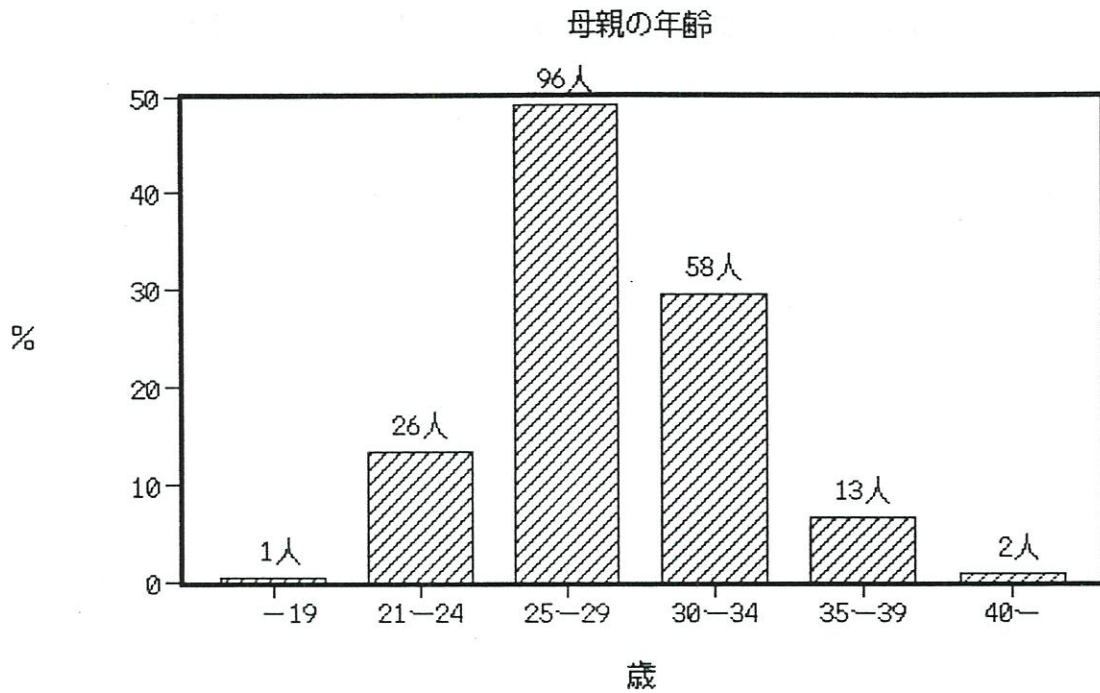
II. 調査回答者にかかわる属性

II. 調査回答者にかかわる属性

1. 母子健康手帳交付時

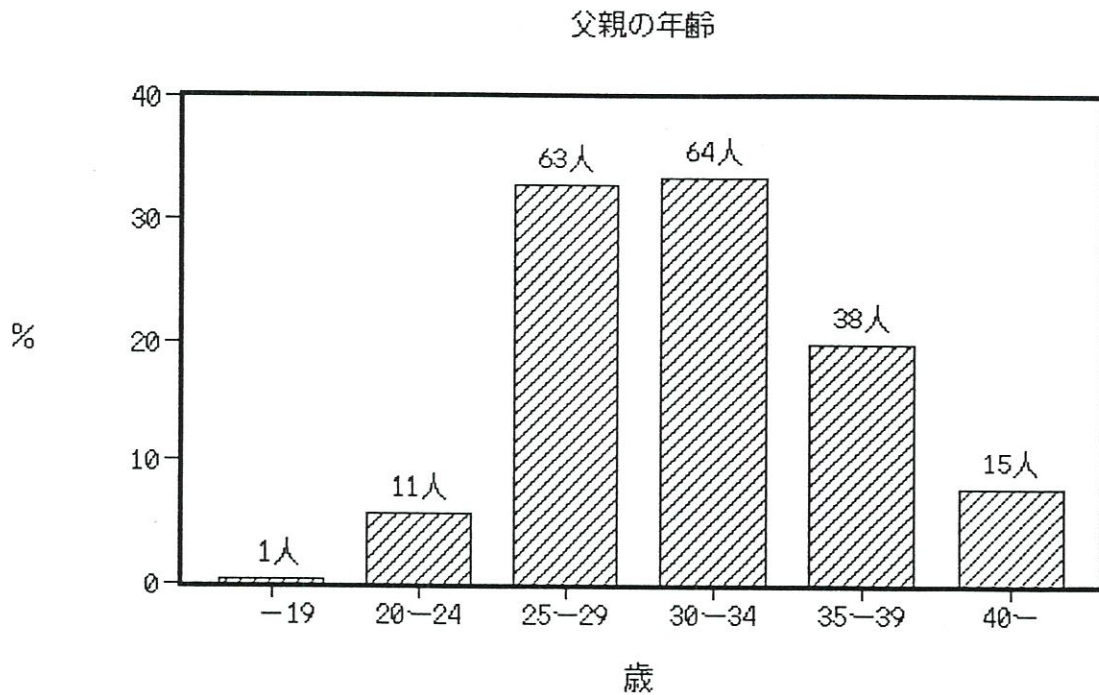
(1) 母親（回答者）の年齢

回答者の平均年齢は 28.6 ± 4.0 歳であり、20歳代が62.2%で最も多く、5歳間隔の年齢階級別では25～29歳が49.0%で最も多くなっていた。



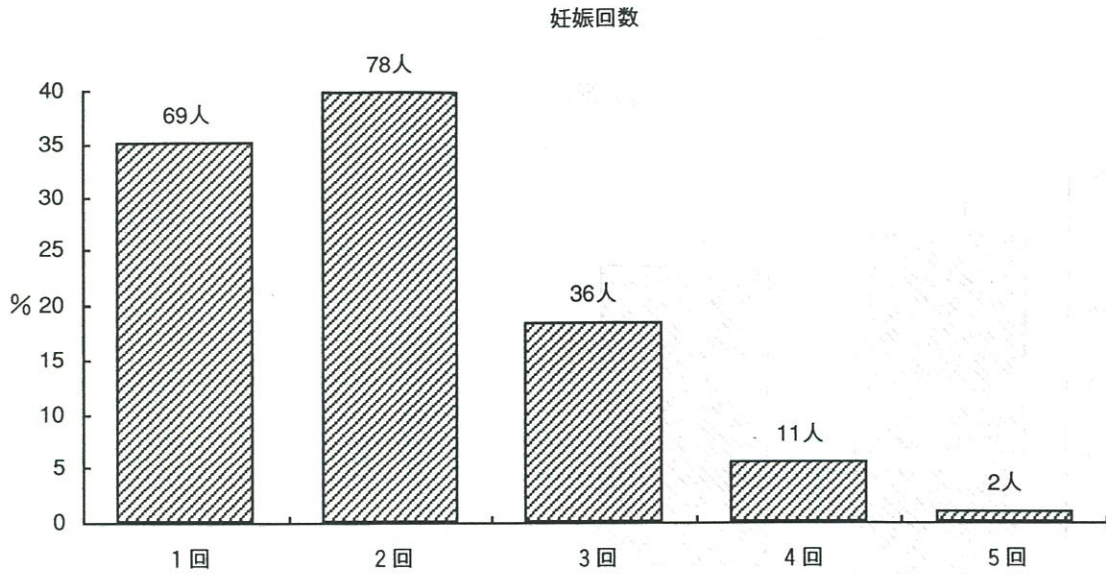
(2) 父親（回答者の夫）の年齢

回答者の夫の平均年齢は 31.5 ± 5.0 歳であり、30歳代が53.1%で最も多く、5歳間隔の年齢階級別では30～34歳が33.3%で最も多くなっていた。



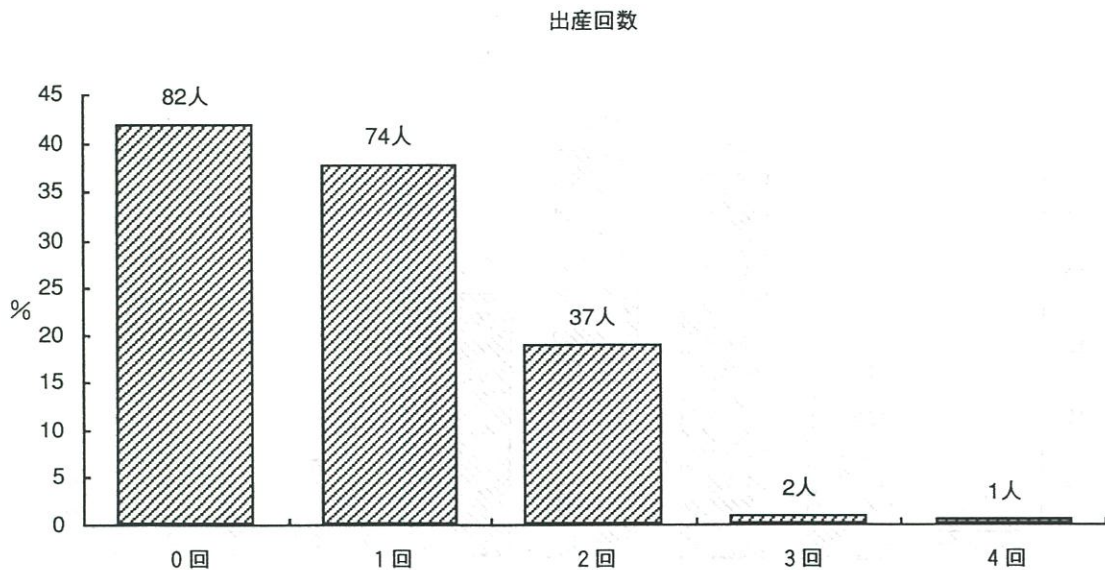
(3) 妊娠回数

妊娠回数は2回が39.8%で最も多くなっていた。



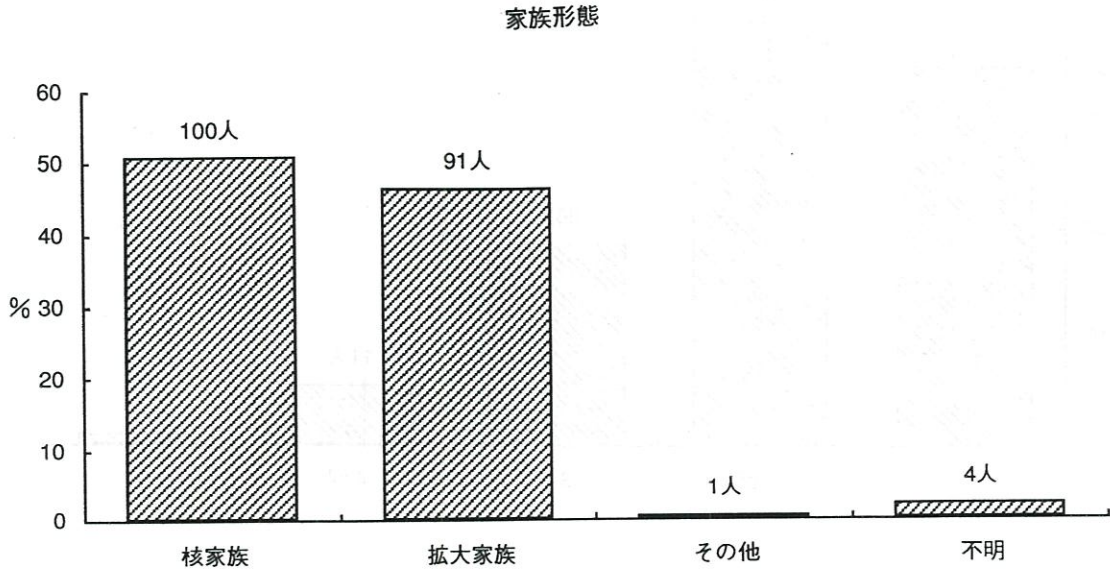
(4) 出産回数

出産回数は0回（すなわち今回が初めて）が41.8%と最も多く、次いで1回が37.8%となっていた。



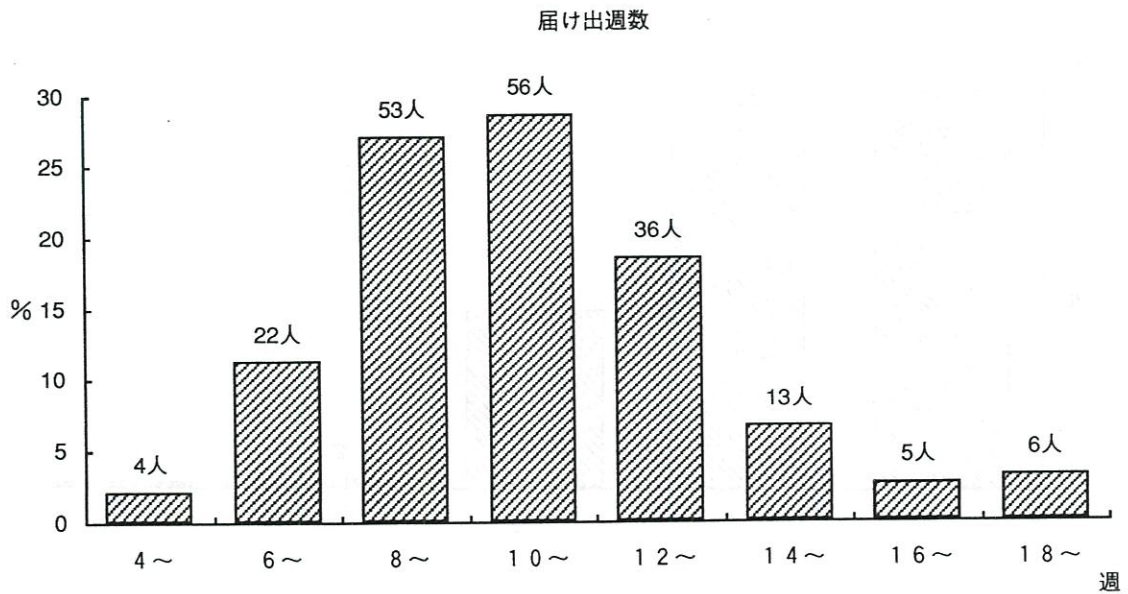
(5) 家族形態

核家族が51.0%と過半数であり、拡大家族は46.4%となっていた。



(6) 届出週数

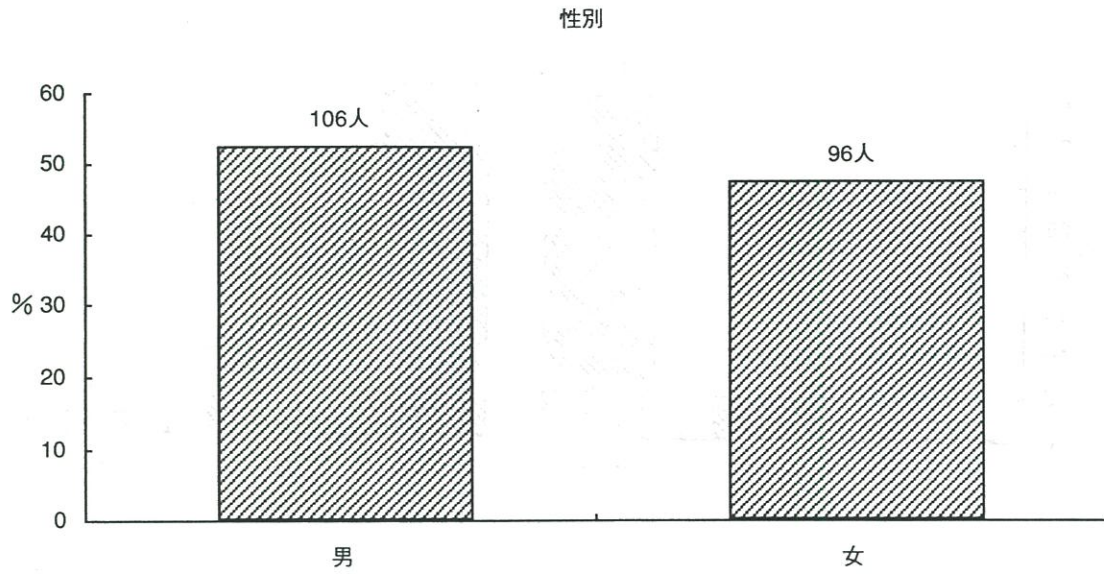
平均届出週数は10.4±3.0週であった。10～11週が28.7%と最も多く、18週以降は3.1%であった。



2. 1歳6ヵ月児健診時

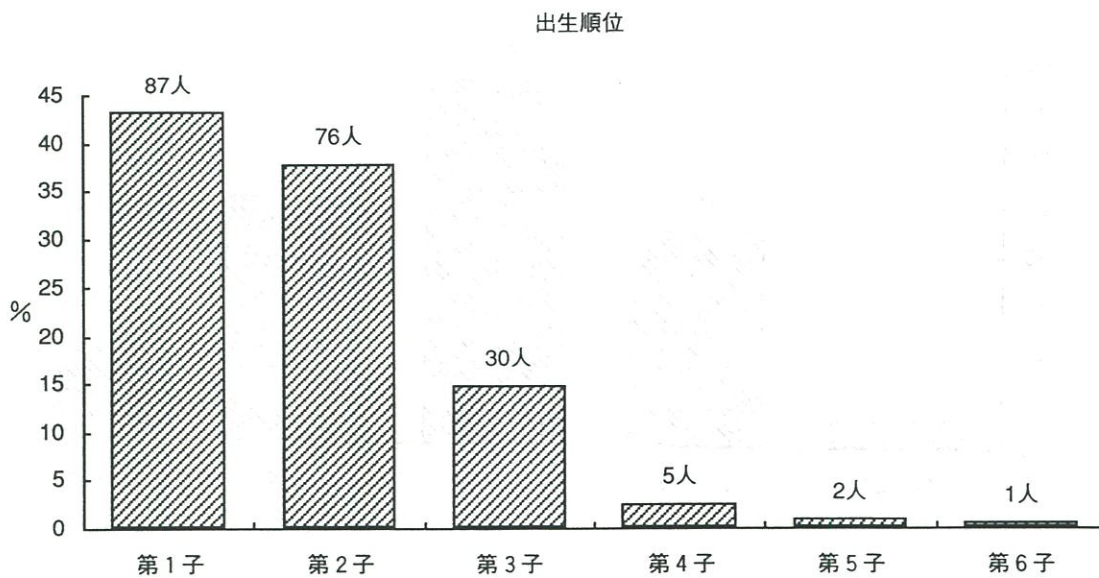
(1) 児の性別

男が52.5%、女が47.5%であった。



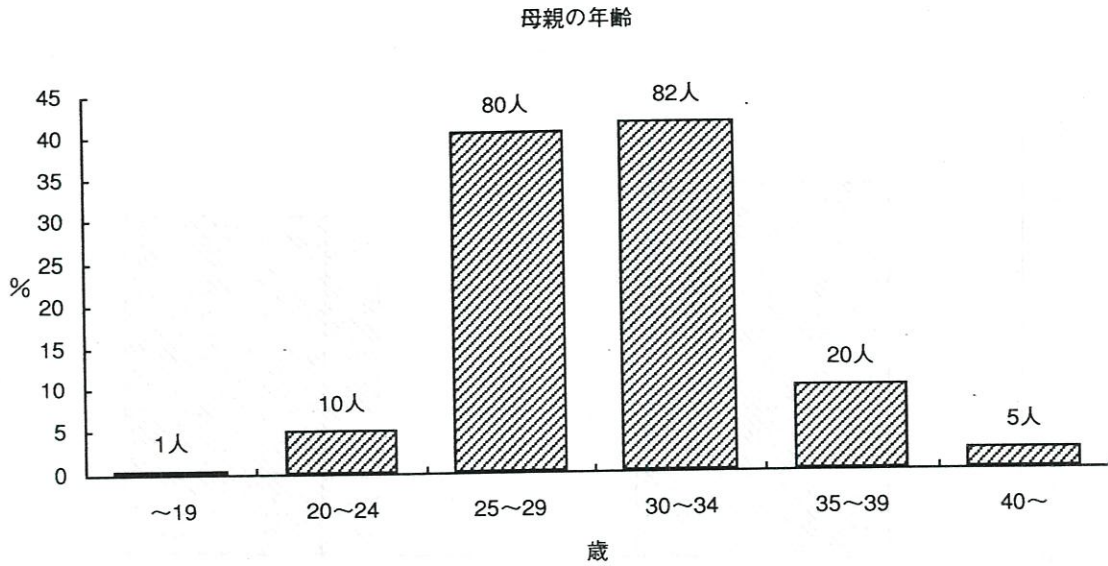
(2) 出生順位

第1子が43.3%と最も多く、第2子は37.8%となっていた。



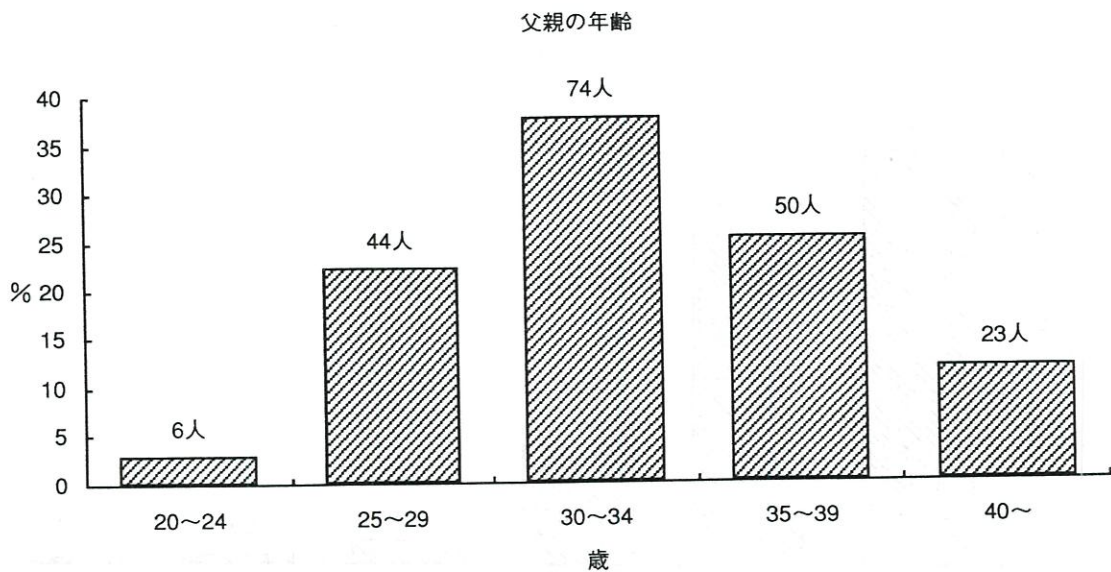
(3) 母親の年齢

母親の平均年齢は 30.3 ± 4.1 歳であり、30歳代が51.5%と最も多くなって
いた。5歳間隔の年齢階級別では30~34歳が41.4%で最も多いが、25~29歳
も40.4%ではほぼ同じであった。



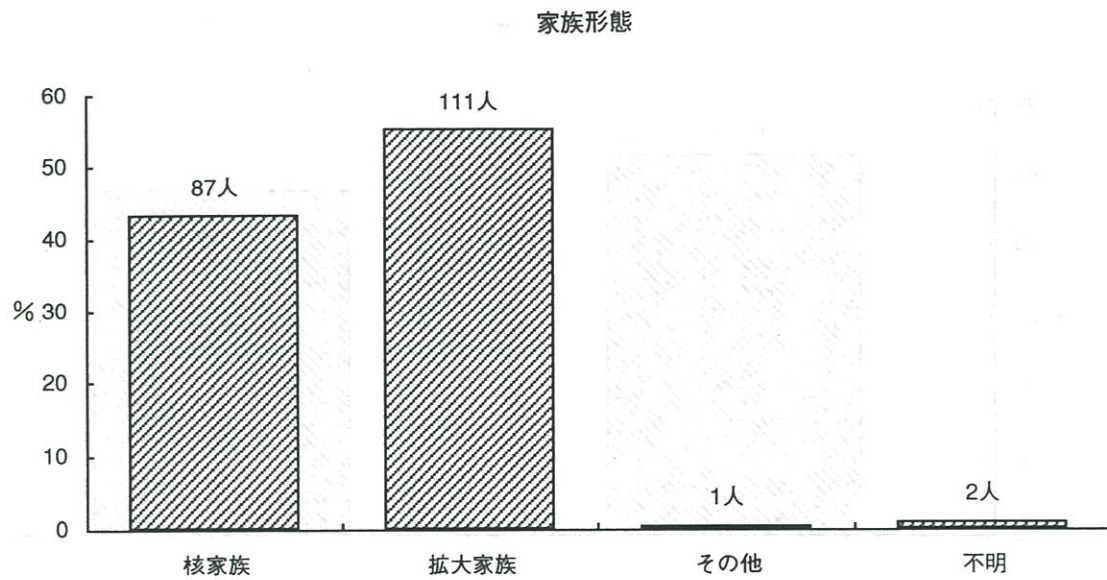
(4) 父親の年齢

父親の平均年齢は 33.2 ± 5.4 歳であり、30歳代が62.9%で最も多く、5歳
間隔の年齢階級別では30~34歳が37.6%と最も多くなっていた。



(5) 家族形態

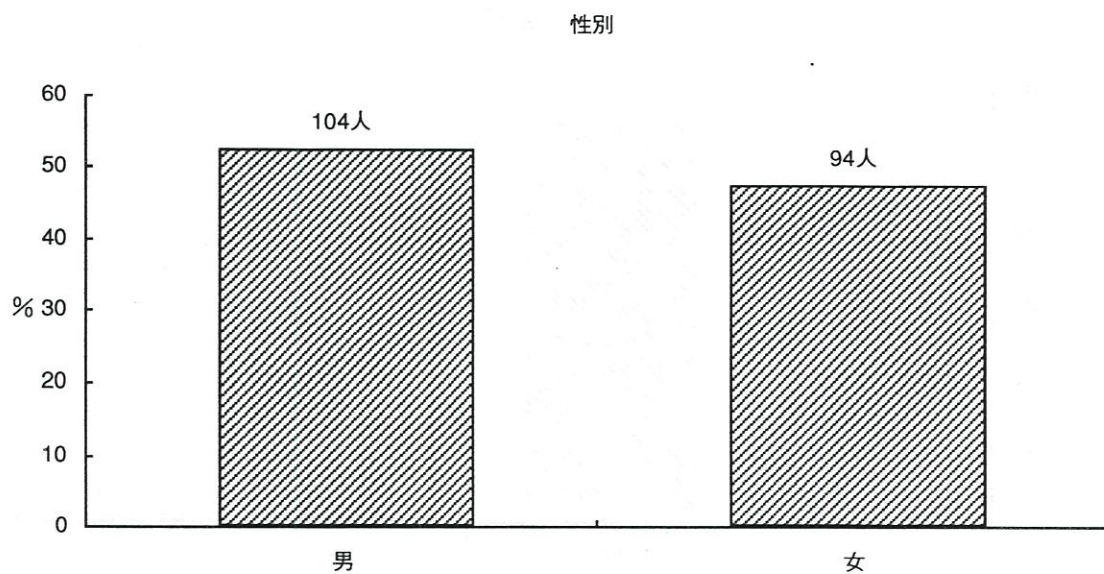
拡大家族が 55.2%、核家族が 43.3%となっていた。



3. 3歳児健診時

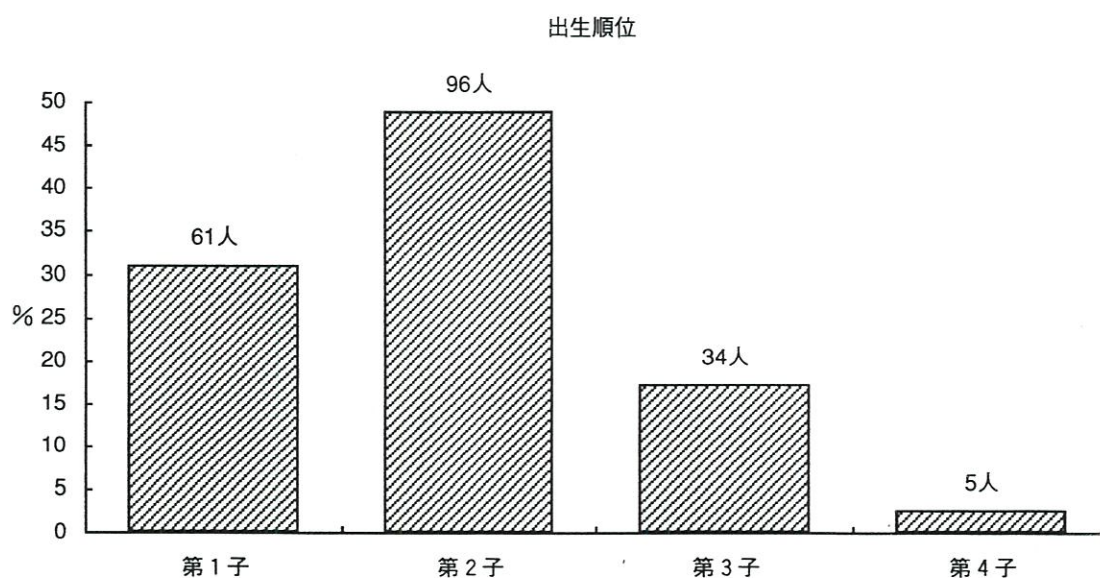
(1) 児の性別

男が52.5%、女が47.5%であった。



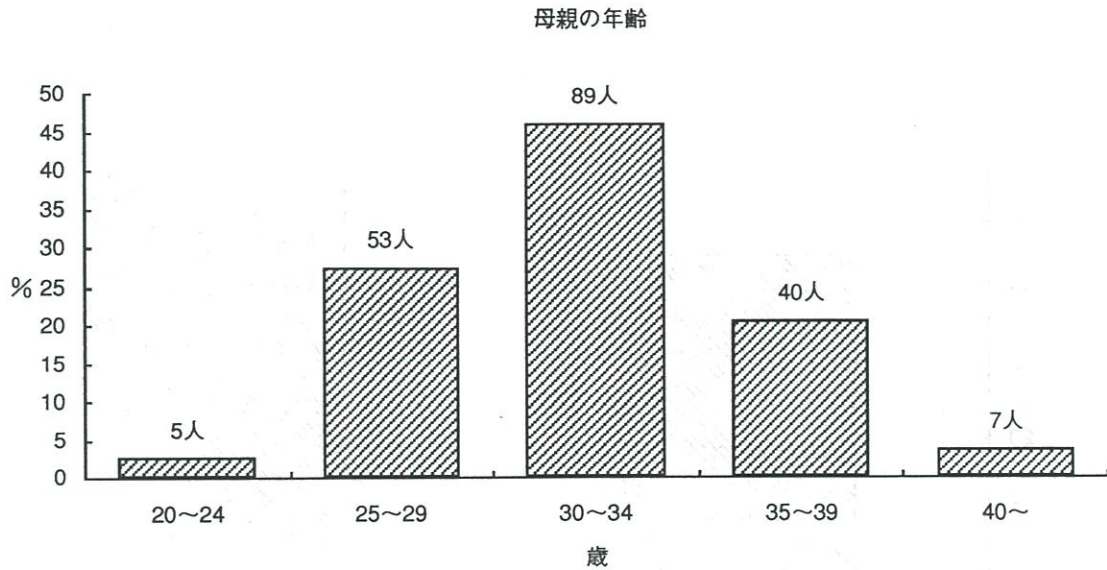
(2) 出生順位

第2子が49.0%と最も多く、次いで第1子が31.1%であった。



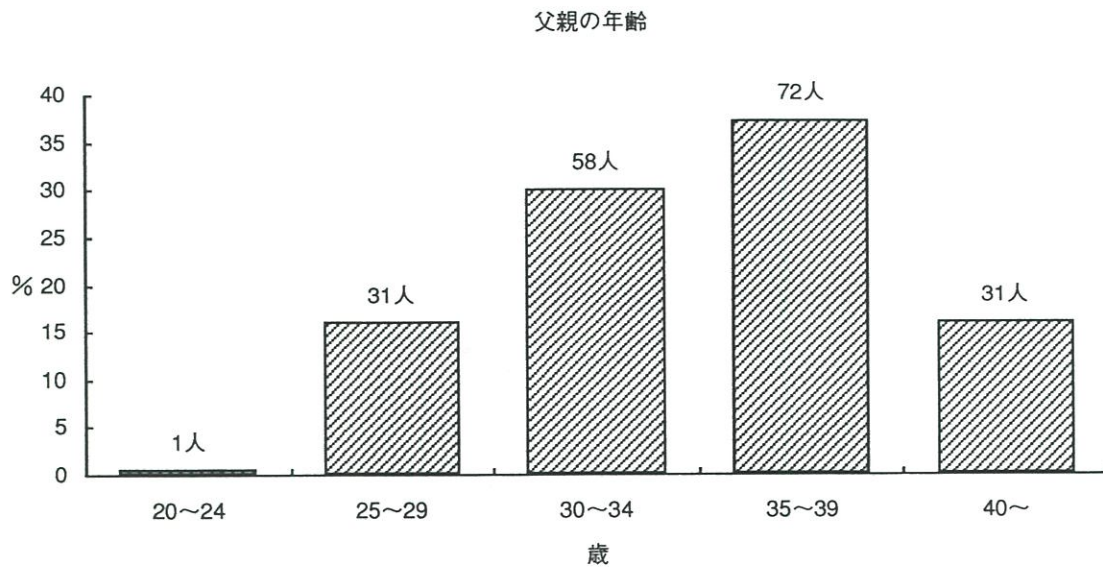
(3) 母親の年齢

母親の平均年齢は 31.9 ± 4.1 歳であり、30歳代が66.5%で最も多く、5歳間隔の年齢階級別では30～34歳が45.9%と最も多くなっていた。



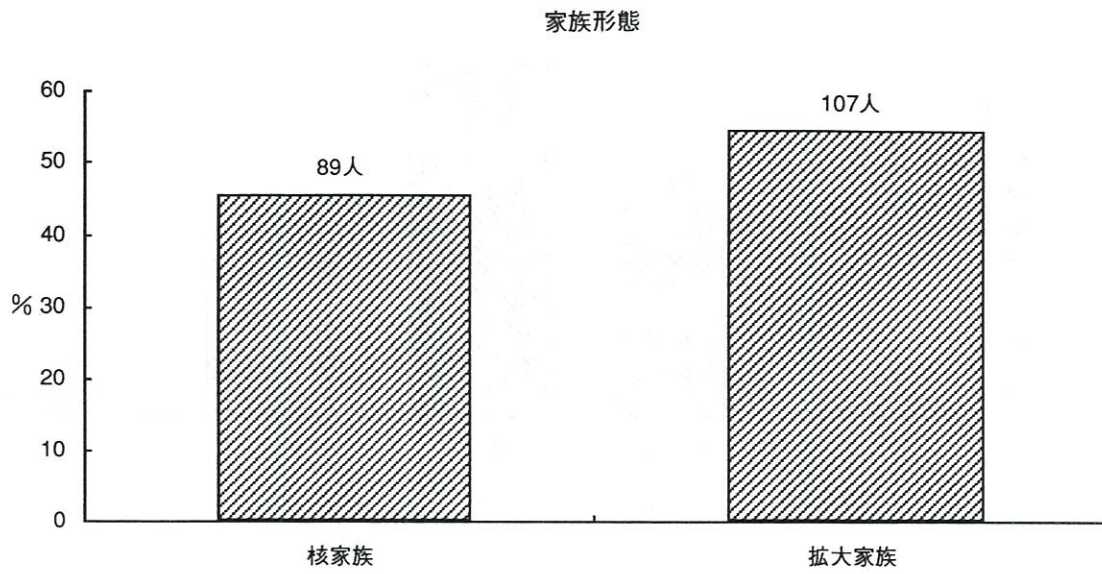
(4) 父親の年齢

父親の平均年齢は 34.7 ± 4.7 歳であり、30歳代が67.4%で最も多く、5歳間隔の年齢階級別では35～39歳が37.3%と最も多くなっていた。



(5) 家族形態

拡大家族が54.6%、核家族が45.4%となっていた。



Ⅲ． 調査結果および考察

Ⅲ - 1 . 母子健康手帳交付時

仕事について(Q1)は、約5割が専業主婦であった。常勤24.6%、パート12.6%であり、自営業(農業含む)は6.8%であった。仕事の内容(Q2)は、「事務職・専門職など」が64.6%であった。

妊娠とわかった時の気持(Q4)は母親、父親ともに「うれしかった」が母親で71.6%、父親では74.6%と圧倒的に多かった。母親で6.7%の人が「困ったと思った」と答えていた。約4割の人が計画的な妊娠であった(Q5)と答えている。

健康のために気をつけたいこととして(Q6)は、「体重の増加に気をつける」が37.6%、次いで「ストレスがたまらないようにする」が32.6%であった。

喫煙について(Q7)は、「全く吸わない」が77.7%で「妊娠を契機にやめた」人は9.8%あった。現在、吸っている人は6.7%であり、本数を減らしたいと思っていると答えていた。本人が喫煙する割合は少ないが夫は67.9%が吸っており、妊娠を契機にやめた人は1.0%と少ないが、間接喫煙によっても未熟児が生れる割合が高いとする報告があるので注意が必要と思われる。本数は約4割の人が1日平均20本吸っていた。また、22.3%の家庭では夫以外に同居の家族の中に喫煙する人がいると答えている。

飲酒について(Q11)は、「全く飲まない」が53.5%であり、「妊娠を契機にやめた」人が26.7%あった。種類は「ビール」が78.9%と最も多く、量は「1杯未満(ビールは大ビン1本未満)」が59.1%であった。

食生活について(Q14)みると、野菜を食べるようにしている人は92.3%、また、栄養のバランスを考えている人が54.4%、塩分をひかえめにする人が53.3%の順で多かった。無農薬・添加物などを意識しないで選ぶ人より意識する人の方が多かった。朝食は85.3%の人が「毎日食べる」と答えていた。間食は「1日1回」が55.0%と最も多く、1日1回以上間食をしている割合は77.2%であった。

食品について(Q15)みると、殆ど毎日食べるものは「米飯」が94.7%、「淡色野菜」(66.0%)、「牛乳・乳製品」(59.5%)、「みそ汁」(57.4%)、「果物類」(56.6%)の順だった。殆ど食べないものは、「清涼飲料水」が38.8%と最も多く、「つけもの」(16.4%)、「菓子類」(16.4%)、「パン」(15.3%)、「砂糖」(14.8%)の順で

あった。総じてみると、野菜・果物類をよく摂っており、また動物性蛋白質も肉類よりは魚介類を多く摂る傾向がうかがわれ、バランスはとれているといっている。

妊娠前に葉を飲んでいたのである人の割合（Q18）は、16.0%であった。

運動については、中学・高校時代にクラブに入りスポーツをしていた人（Q19）が、65.3%と過半数であった。しかし、妊娠前にスポーツを「月に1回未満」又は「全くやらない」と答えた人は77.0%と多かった。全体の46.5%の人が1日15分未満しか歩いていない。また、65.8%の人が1日30分未満しか歩いていない。「少し不足」の人をあわせると運動不足と思っていた人は87.2%いた。

趣味について（Q22）は、「映画・ビデオ鑑賞」（35.4%）、「音楽」（34.9%）、次いで「ドライブ」（28.1%）、「読書」（25.5%）、「料理」（23.4%）、「編み物」（21.9%）となっている。

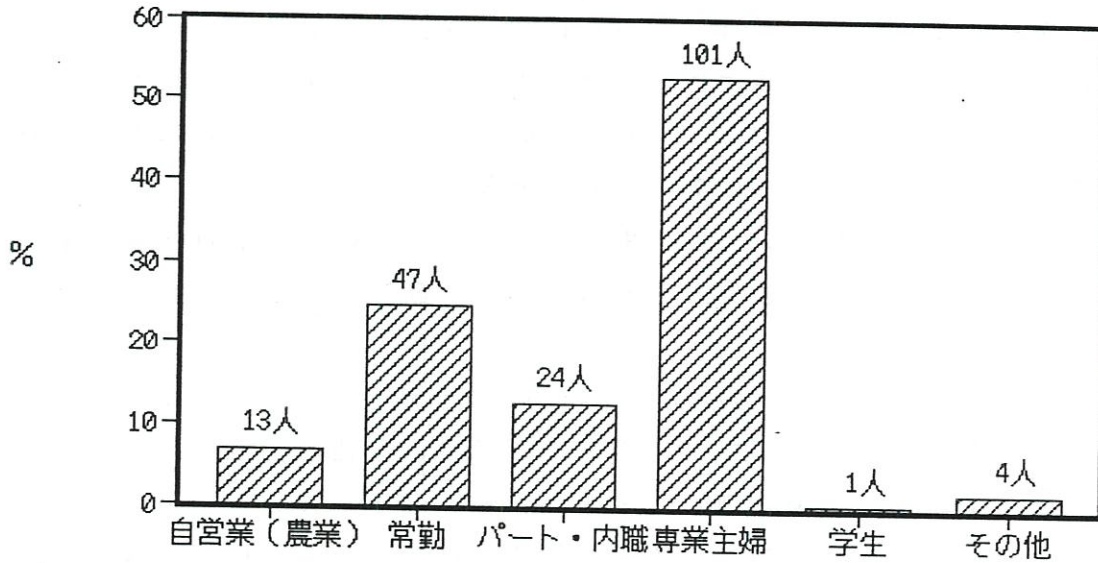
「いつも」もしくは「時々」ストレスを感じている人の割合（Q25）は、75.5%であり、ストレスを感じる内容（Q26）では、「家庭での人間関係」が最も多く、「職場での人間関係」「自分自身の健康問題」「仕事の内容・地位など」と続く。

身近に血圧の高い人がいる（Q29）と答えた人は、48.2%であった。

Q 1. あなたが従事している仕事を次の中からお選び下さい。

1. 自営業（農業含む） 2. 常勤 3. パート・内職 4. 専業主婦
5. 学 生 6. その他（ ）

Q 1. 仕事

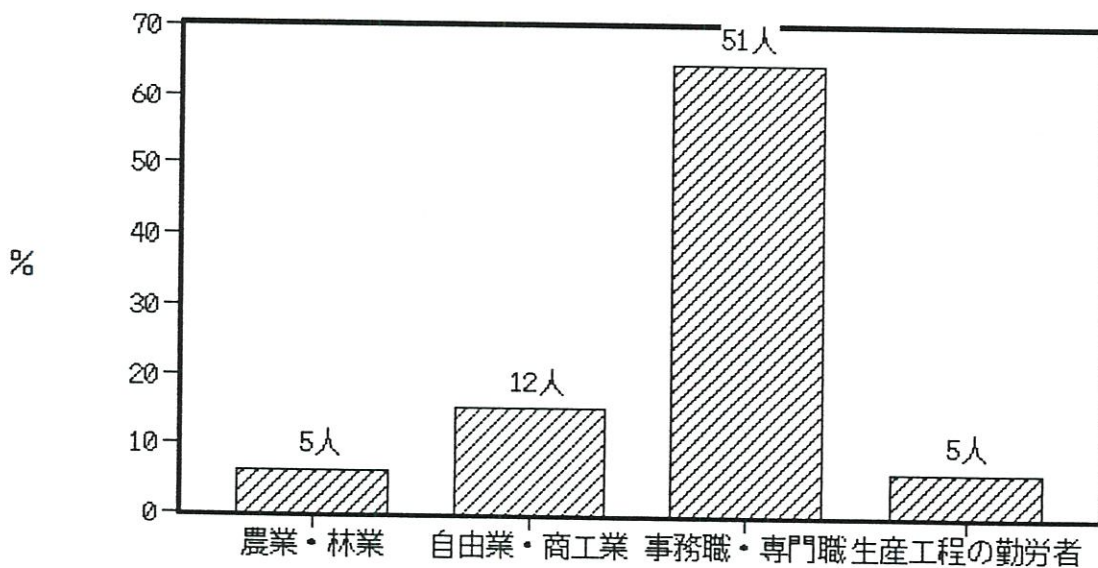


Q 2. 上の質問で1～3と答えた方は、主な仕事をこの中からひとつ選んでください。

- (自営・家族従業) 1. 農業・林業およびその家族従事者
2. 自由業・商工業・サービス業等個人経営者およびその家族従事者

- (勤 務) 3. 官公庁・大中企業等の課長以上の給与生活者
4. 事務職・専門職・サービス業の勤労者、公務員、教員など
5. 生産工程の勤労者・および運輸・労務・保安職業の勤労者
6. その他（ ）

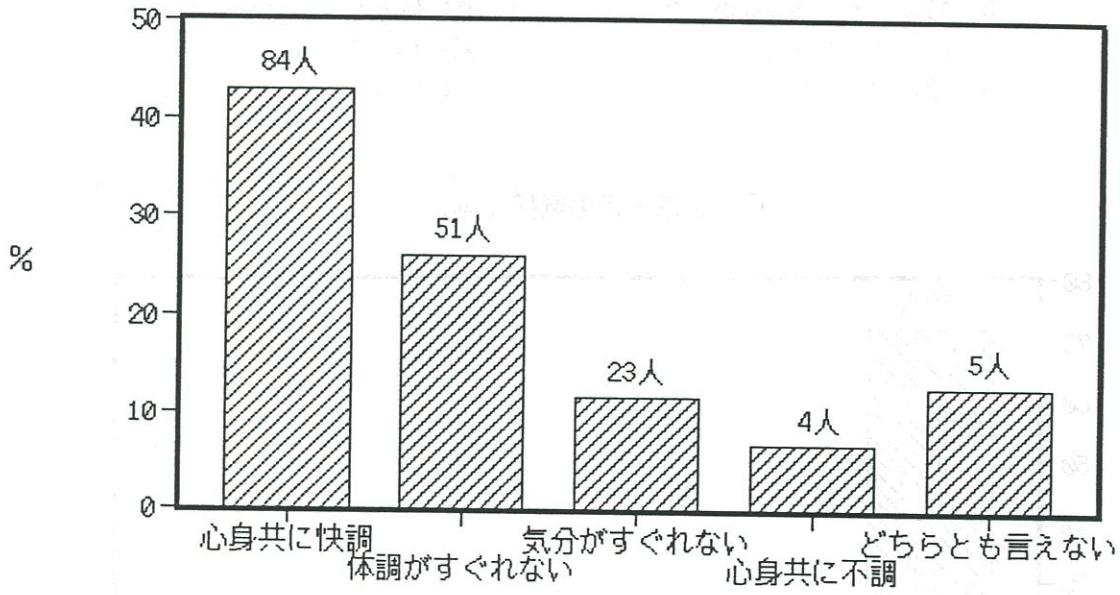
Q 2. 仕事



Q 3. 現在の体調はいかがですか。

1. 心身ともに快調である 2. 体調がすぐれない 3. 気分がすぐれない
4. 心身共に余り調子が良くない 5. 特にどちらとも言えない

Q3. 体調



Q 4. 妊娠とわかった時の気持はどんなでしたか。

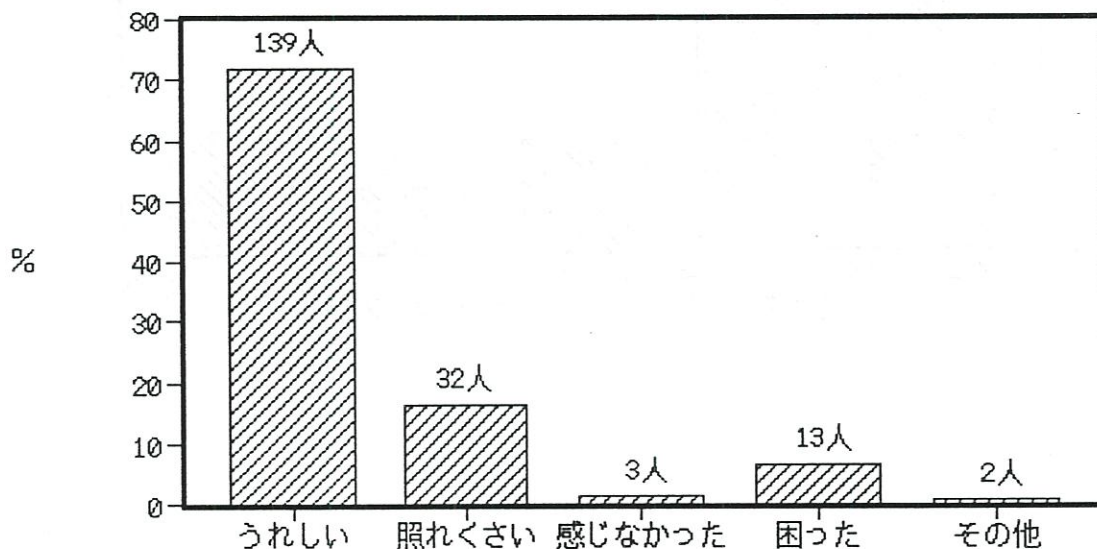
SQ1. あなた自身

SQ2. ご主人

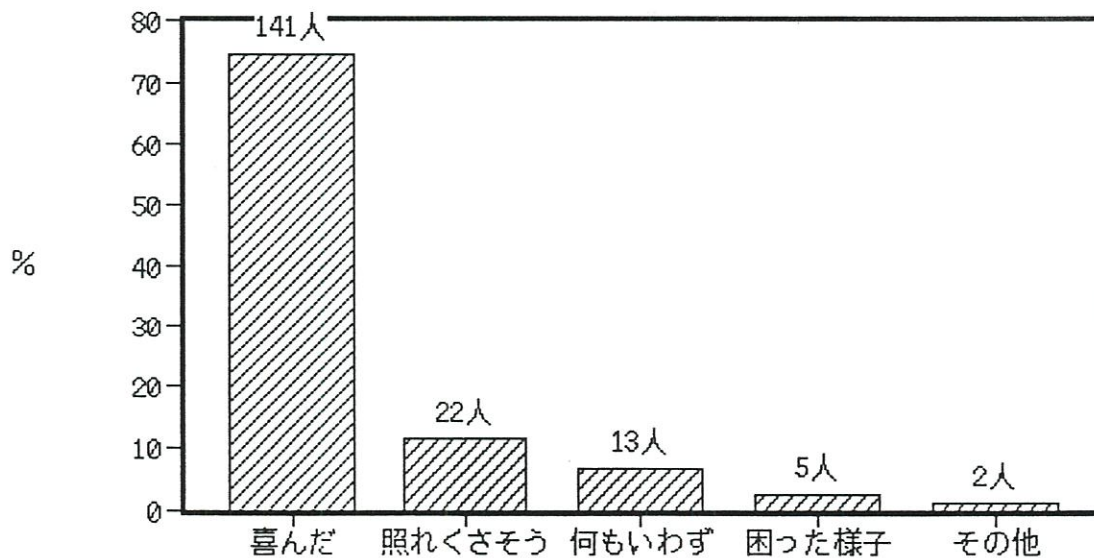
- ↓
1. うれしかった
 2. なんとなく照れくさかった
 3. 特に何とも感じなかった
 4. 困ったと思った
 5. その他 ()

- ↓
1. 喜んだ
 2. 照れくさそうだった
 3. 特に何とも言わなかった
 4. 困った様子だった
 5. その他 ()

Q 4. 妊娠時の気持 (本人)



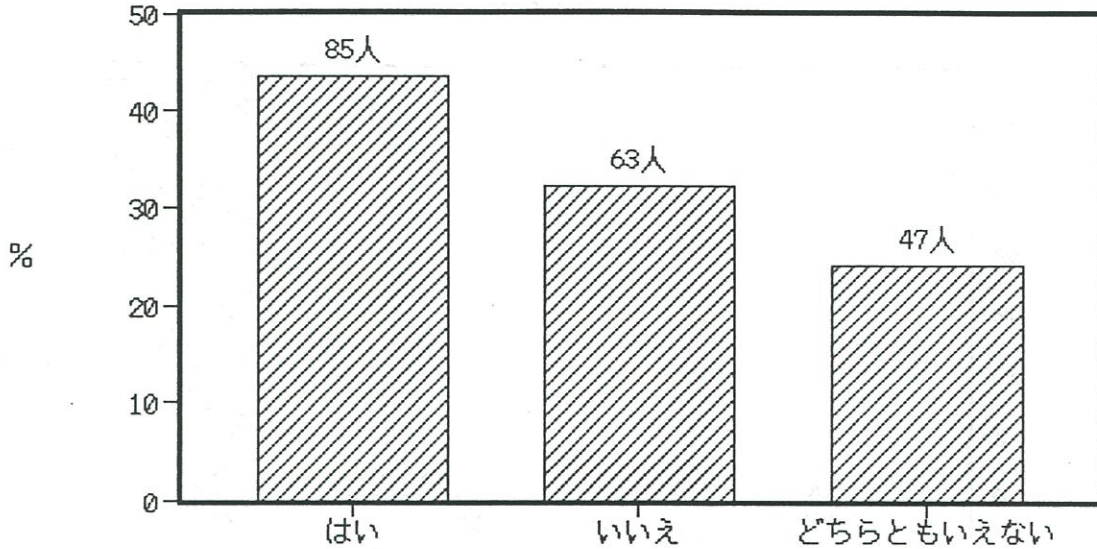
Q 4. 妊娠時の気持 (夫)



Q 5. 今回の妊娠は計画的な妊娠ですか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

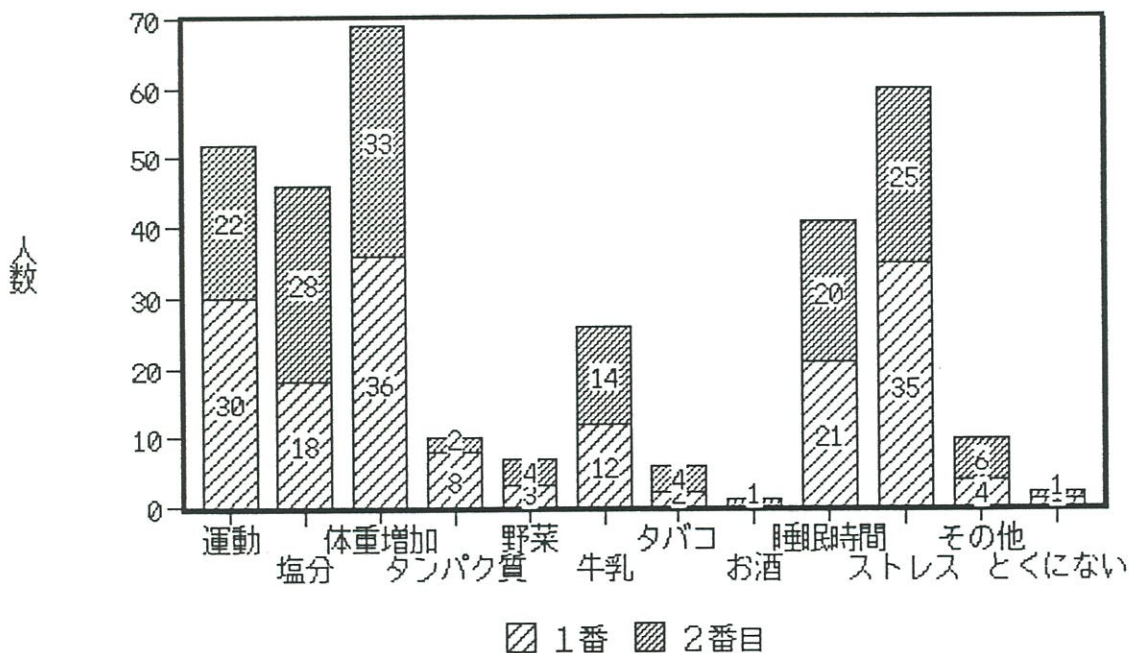
Q 5. 妊娠



Q 6. 健康のために妊娠中、どのような点に気をつければよいと思いますか。一番気をつけたいものに◎、二番目に気をつけたいものに○をつけてください。

1. 適度な運動をする 2. 塩分をひかえる 3. 体重増加に気をつける
4. タンパク質を多くとる 5. 野菜をもっと食べる
6. 牛乳を飲む 7. タバコをひかえる 8. お酒をひかえる
9. 睡眠時間を十分にとる 10. ストレスがたまらないようにする
11. その他 ()
12. とくにない

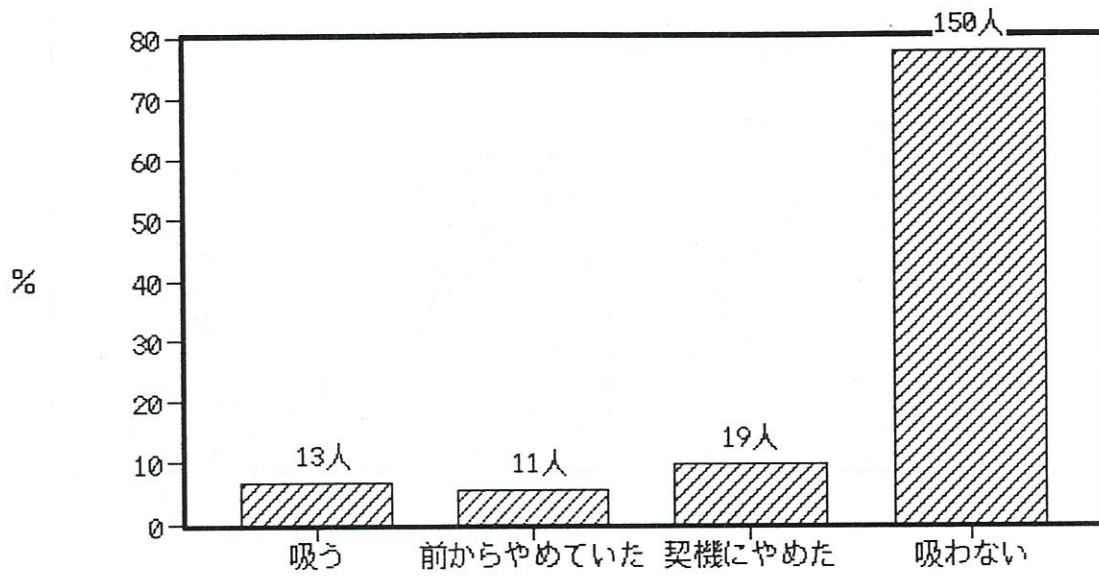
Q 6. 気をつけたいこと



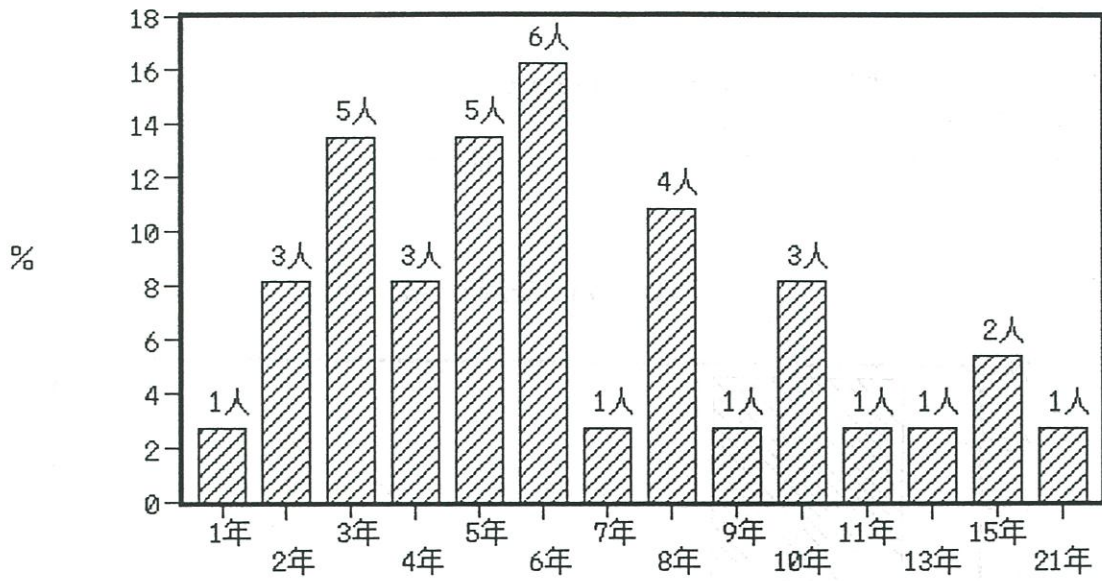
Q7. あなたはタバコを吸いますか。

1. 吸う（一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸っている）
2. 妊娠する前からやめていた（以前一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸った）
3. 妊娠を契機にやめた（以前一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸った）
4. 以前から全く吸わない

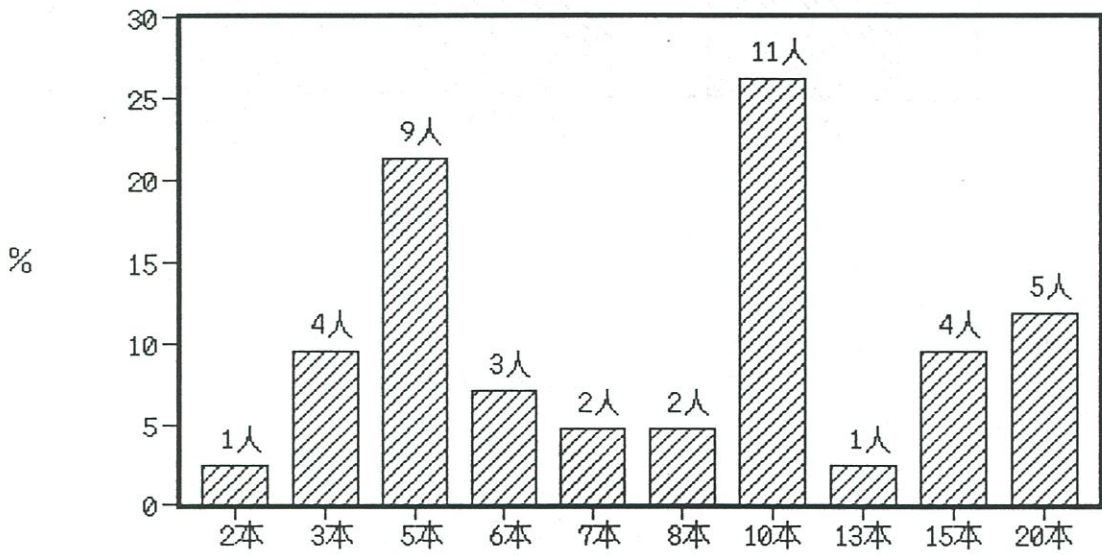
Q7. タバコ



Q7. 年数



Q7. 本数

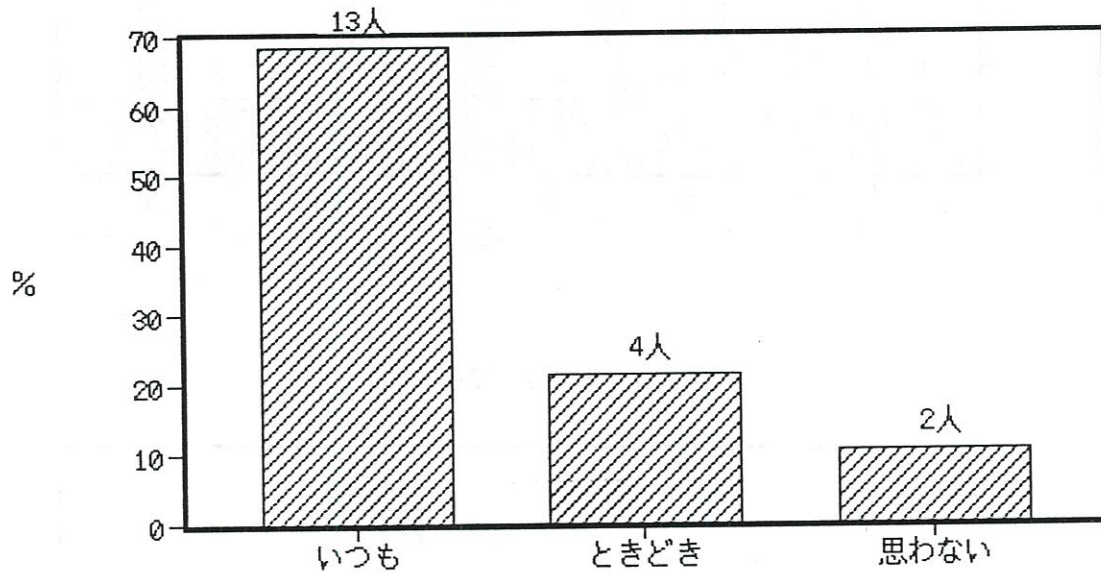


Q 8. あなたはタバコの本数を減らしたいと思っていますか。

(タバコを吸う方のみお答えください)

1. いつも思っている 2. ときどき思う 3. 思わない

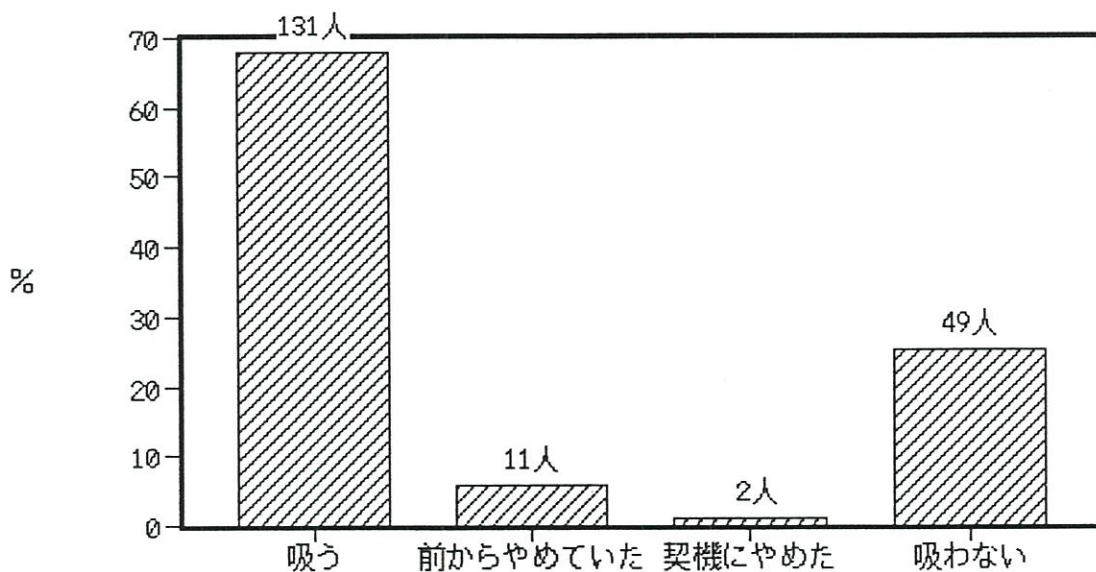
Q 8. タバコを減らしたいか



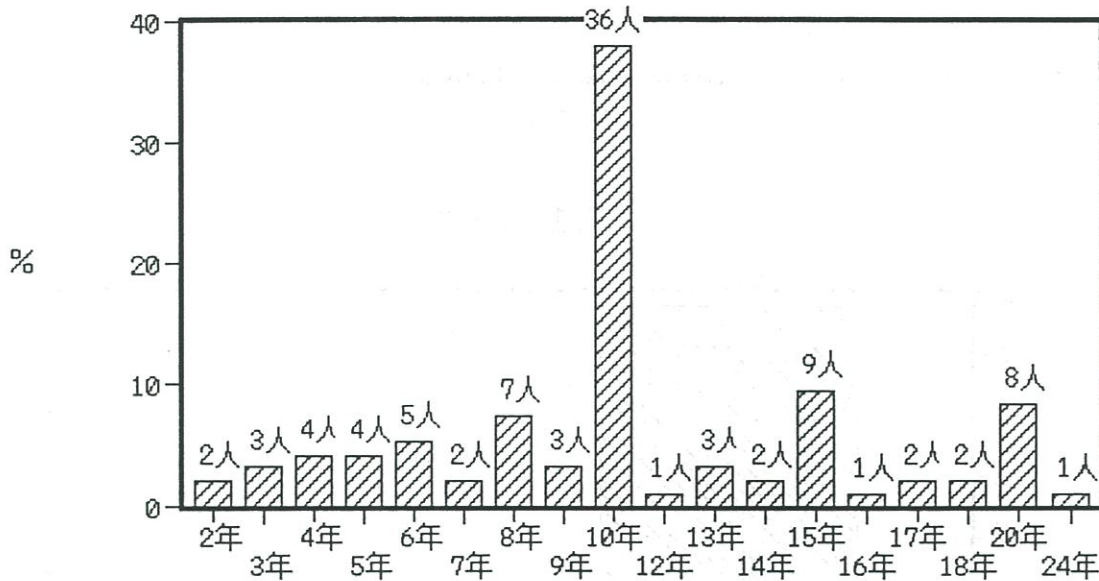
Q 9. あなたのご主人はタバコを吸いますか。

1. 吸う (一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸っている)
2. 妊娠する前からやめていた (以前一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸った)
3. 妊娠を契機にやめた (以前一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸った)
4. 以前から全く吸わない

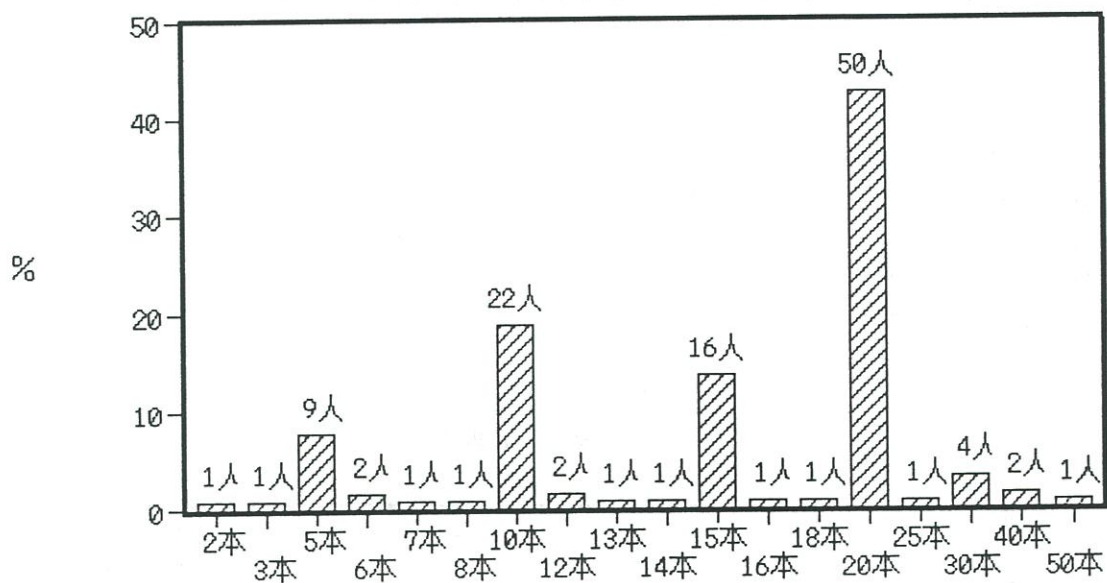
Q 9. タバコ (主人)



Q9. タバコ年数(主人)



Q9. タバコ本数(主人)



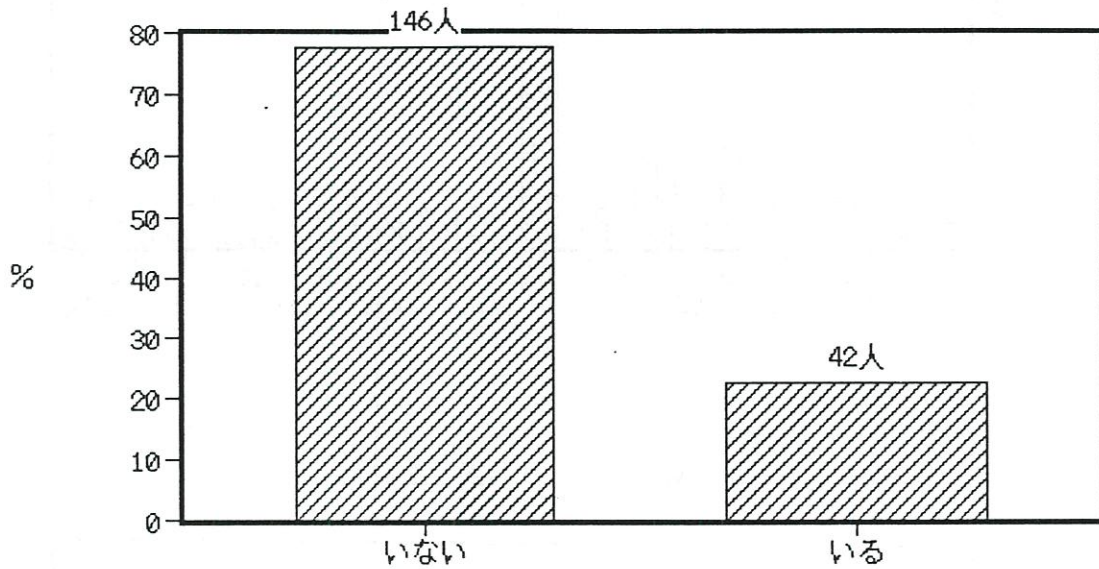
Q10. ご主人以外の同居のご家族の中で、喫煙されるかたはいますか。

1. いない

2. いる (だれ? :

)

Q10. 喫煙



Q11. あなたはお酒を飲みますか。

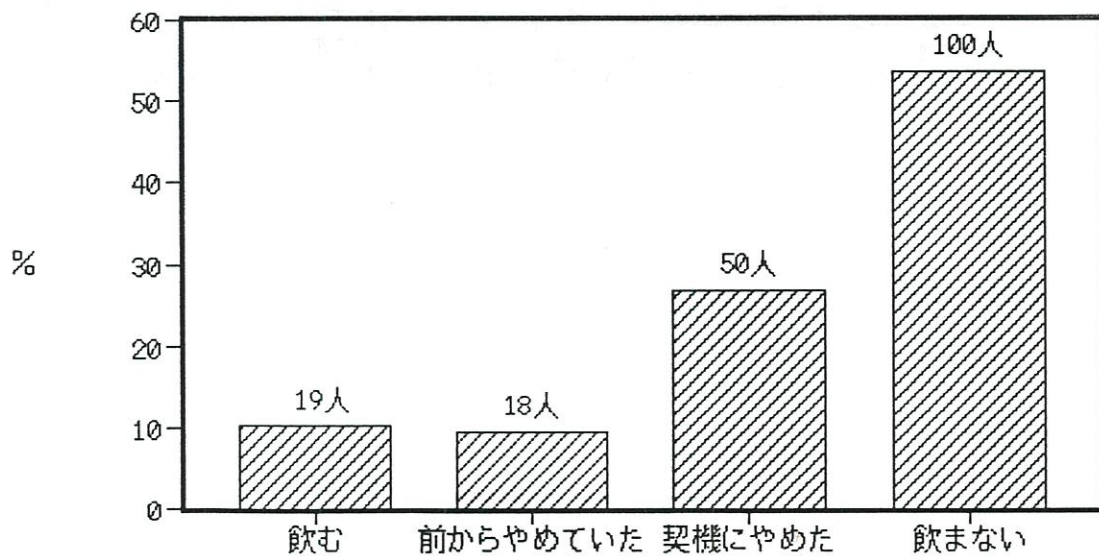
1. 飲む (月平均 ____ 日、 ____ 年間飲んでいる)

2. 妊娠する前からやめていた (以前、月平均 ____ 日、 ____ 年間飲んでいた)

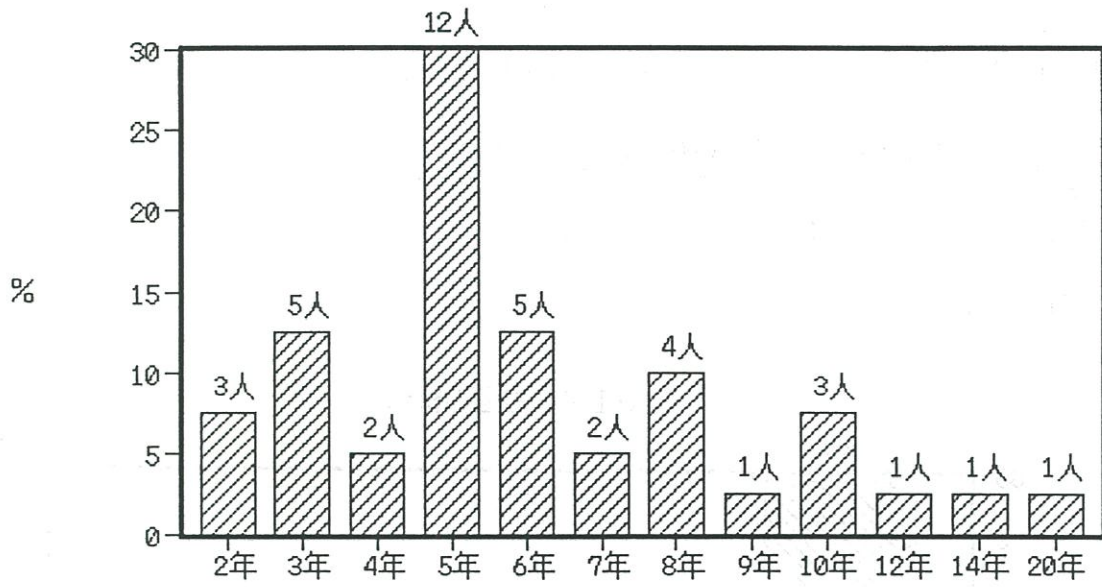
3. 妊娠を契機にやめた (以前、月平均 ____ 日、 ____ 年間飲んでいた)

4. 以前から全く飲まない

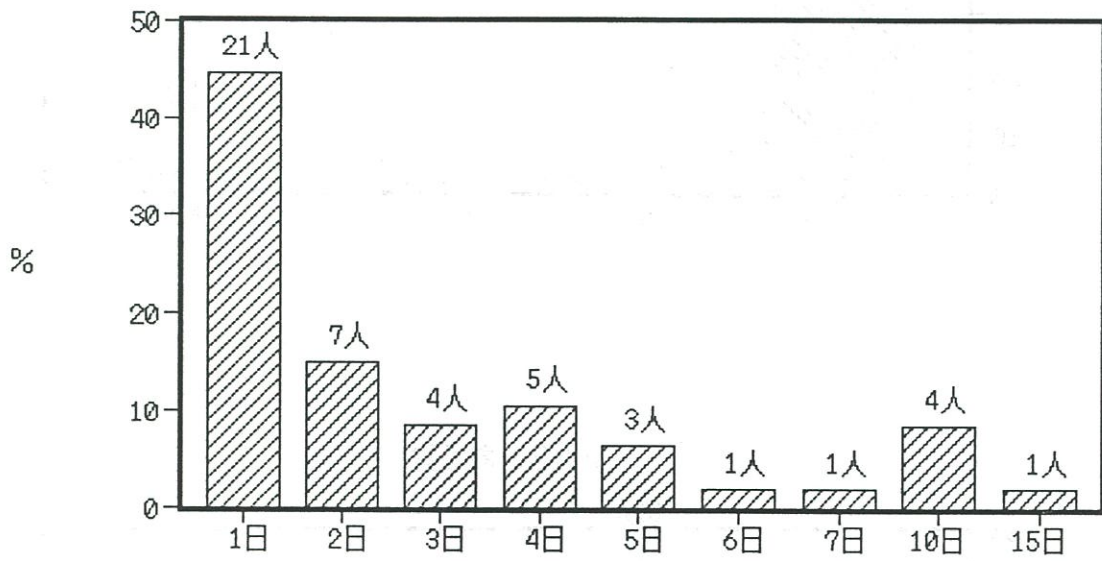
Q11. 飲酒



Q11. 飲酒年数



Q11. 飲酒日数

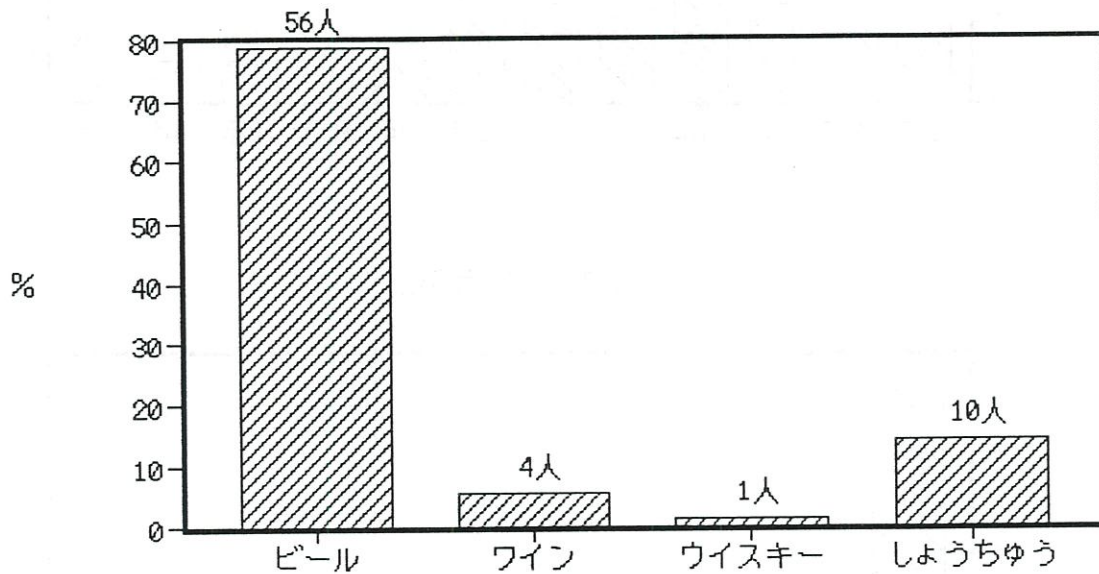


(次のQ12～Q13は、少しでもアルコールを飲む方はお答えください。)

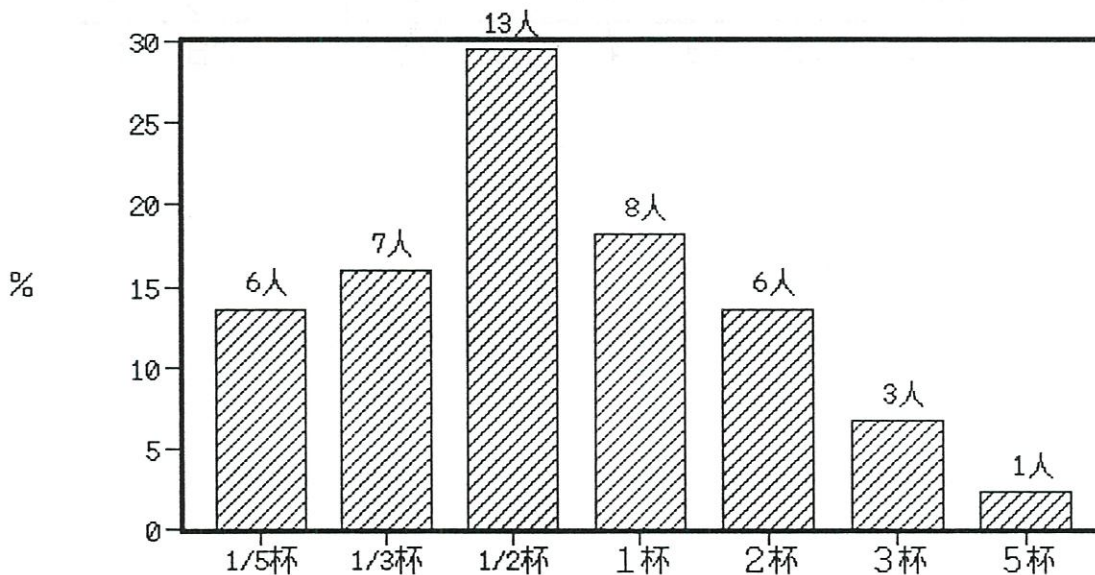
Q12. 飲むお酒の種類は何ですか、一番多いものひとつに○をつけて、一回に飲むお酒の量を記入してください。

1. ビール (大びん _____ 本)
2. 日本酒 (_____ 合)
3. ワイン (_____ 合)
4. ウイスキー・ブランデー (水割り _____ 杯)
5. しょうちゅう (水割り等 _____ 杯)
6. その他 (_____)

Q12. お酒の種類



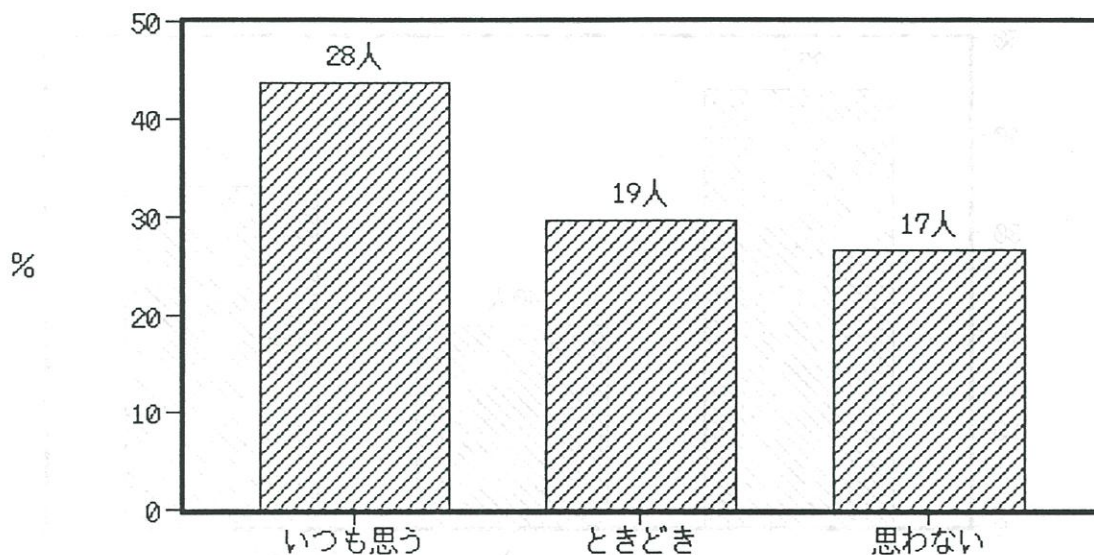
Q12. お酒量



Q13. あなたは、お酒をひかえたり、やめようと思っていますか。

1. いつも思っている 2. ときどき思う 3. 思わない

Q13. お酒をやめようと思うか

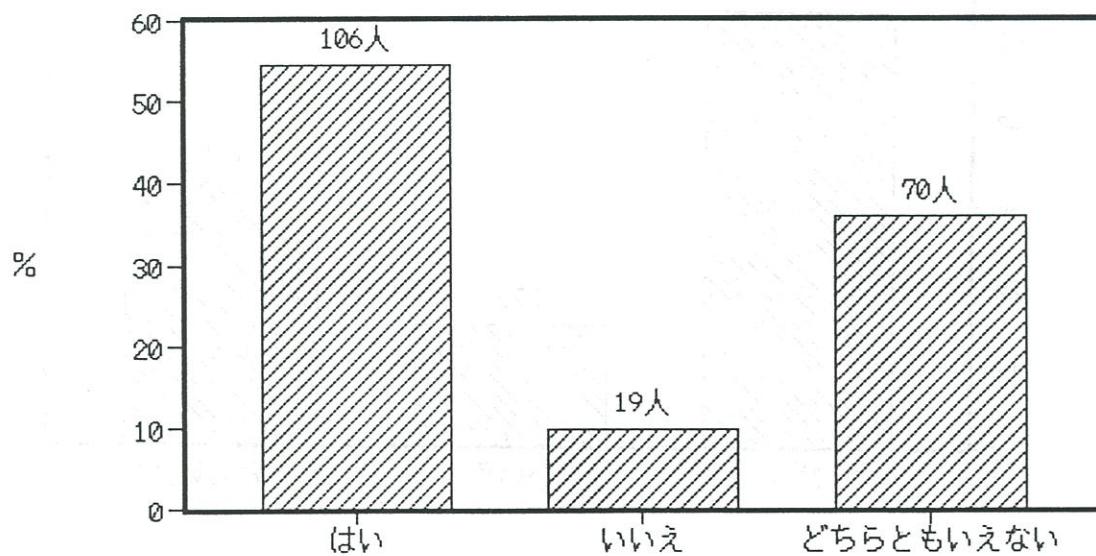


Q14. あなたの妊娠前の食事についてうかがいます。

SQ1. 栄養のバランスを考えていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

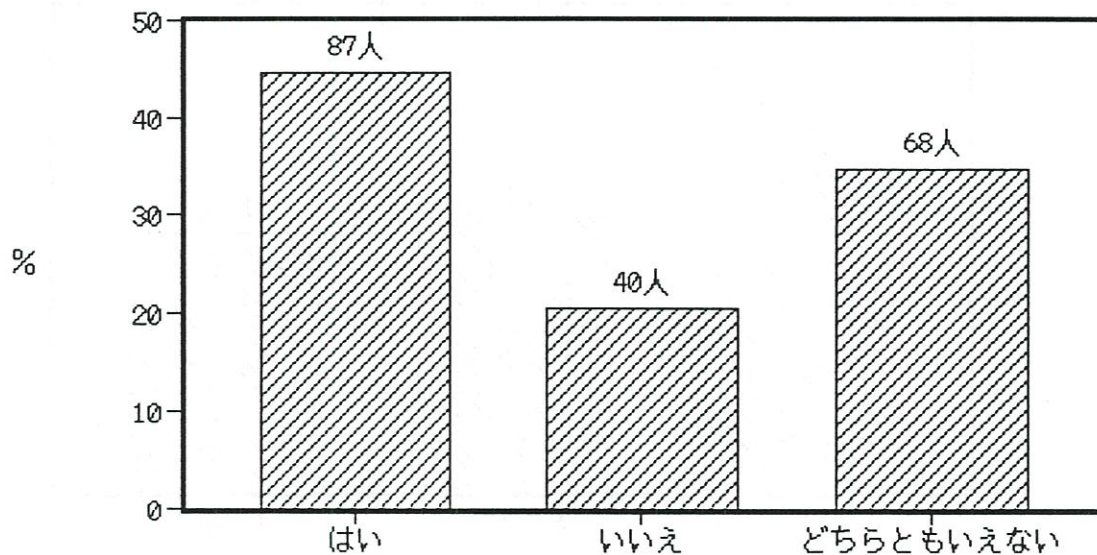
Q14SQ1. 栄養バランス



SQ2. カロリーをとりすぎないようにしていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

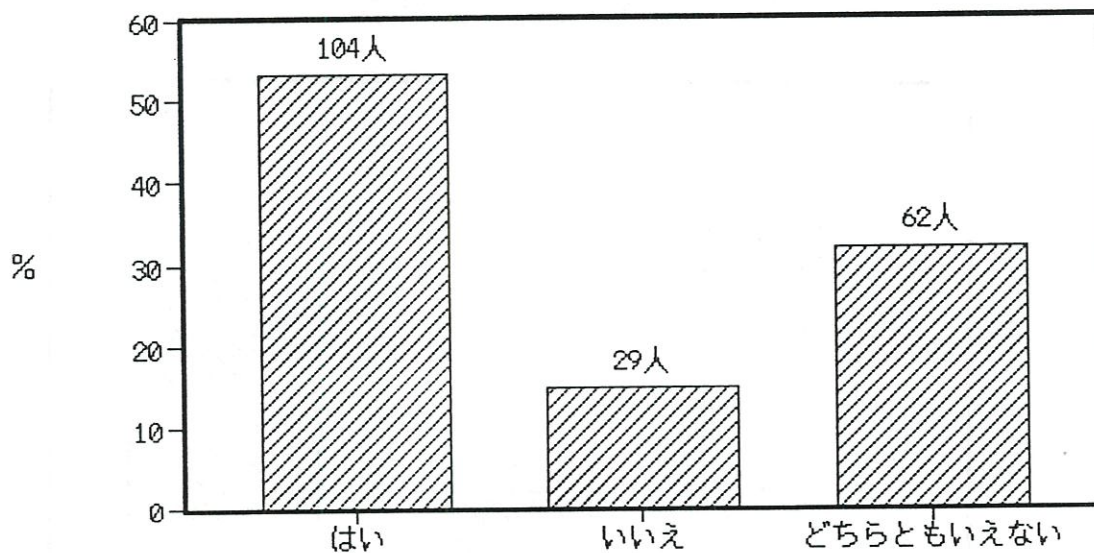
Q14SQ2. カロリー



SQ3. 塩分はできるだけひかえめにしていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

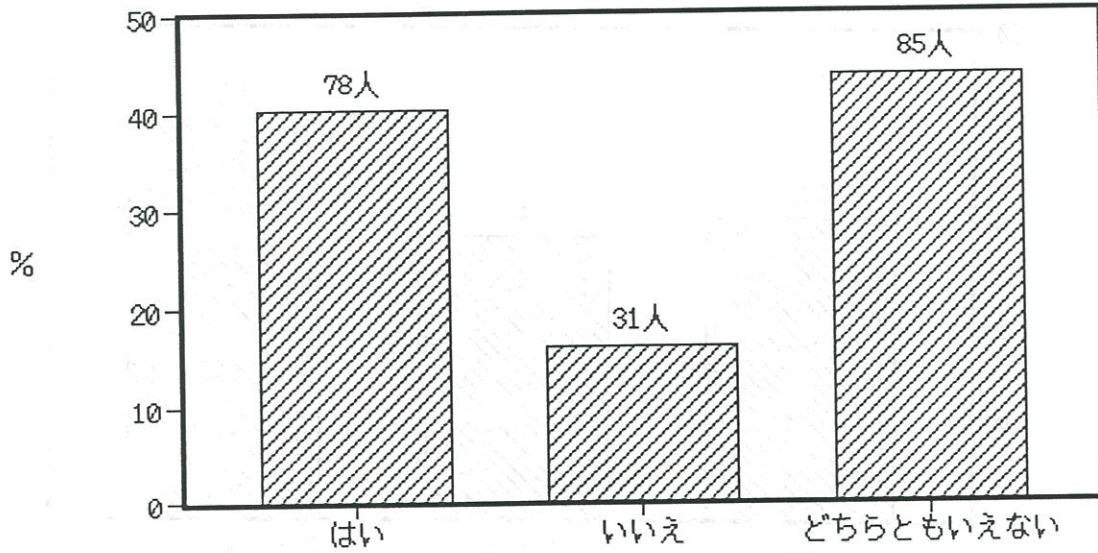
Q14SQ3. 塩分



SQ4. 動物性脂肪をできるだけひかえめにしていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

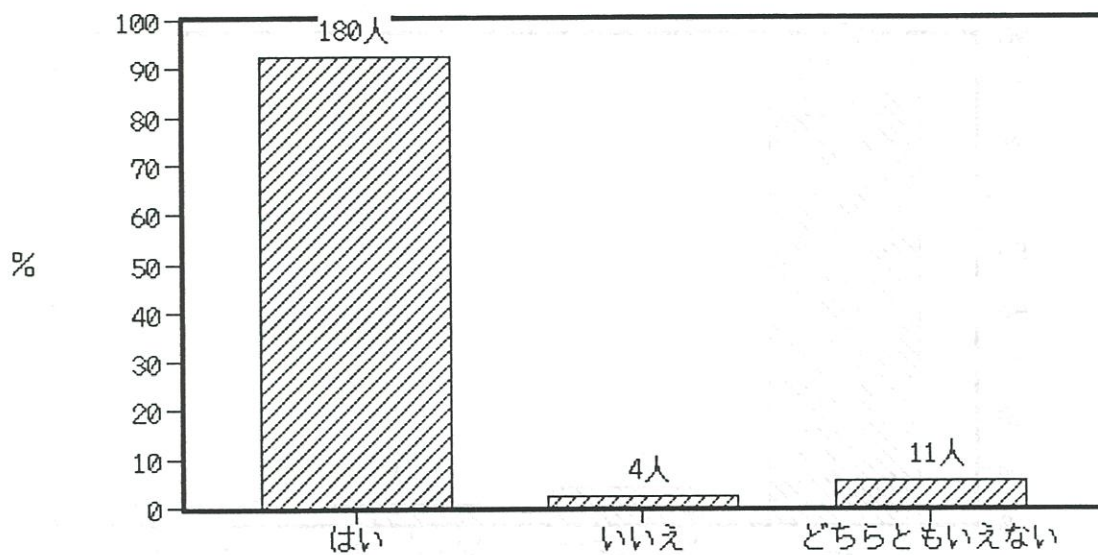
Q14SQ4. 動物性脂肪



SQ5. 野菜をたべるようにしていましたか。

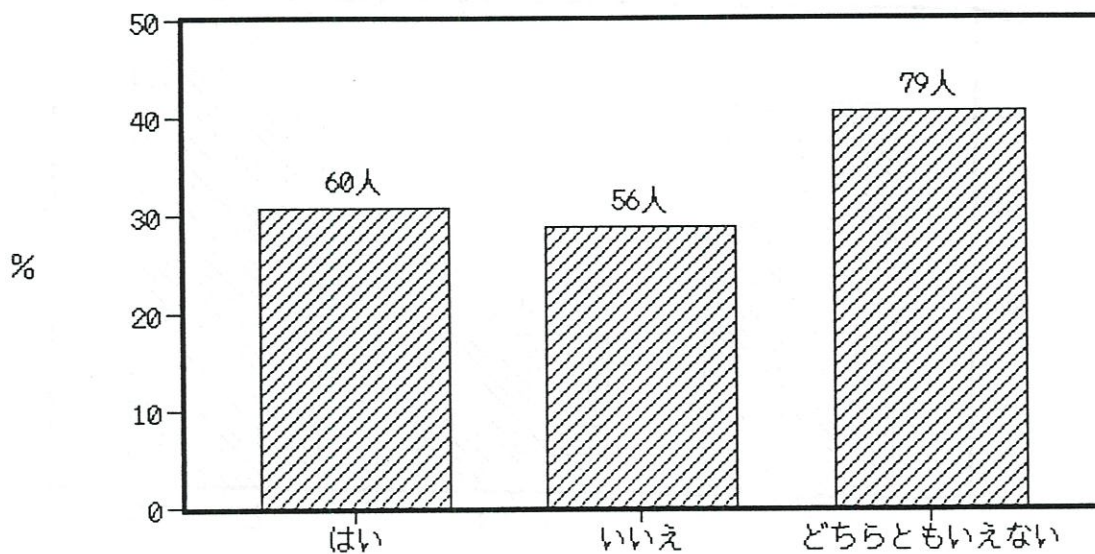
1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

Q14SQ5. 野菜



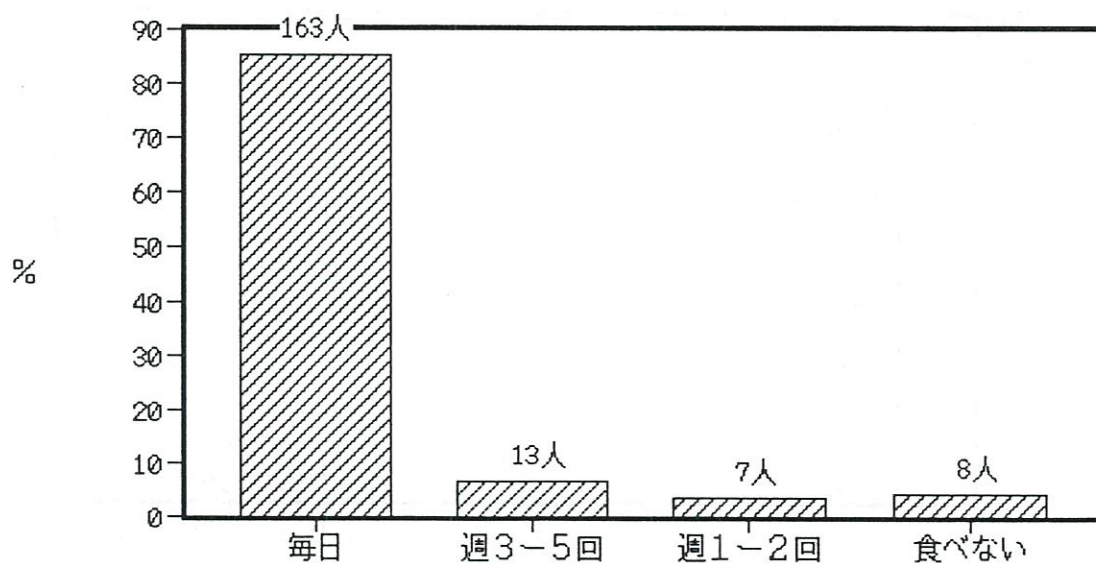
- SQ6. 無農薬・添加物など意識して食品を選んでいましたか。
 1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

Q14SQ6. 無農薬



- SQ7. 朝食を食べていましたか。
 1. 毎日食べる 2. 週3～5回 3. 週1～2回 4. 食べない

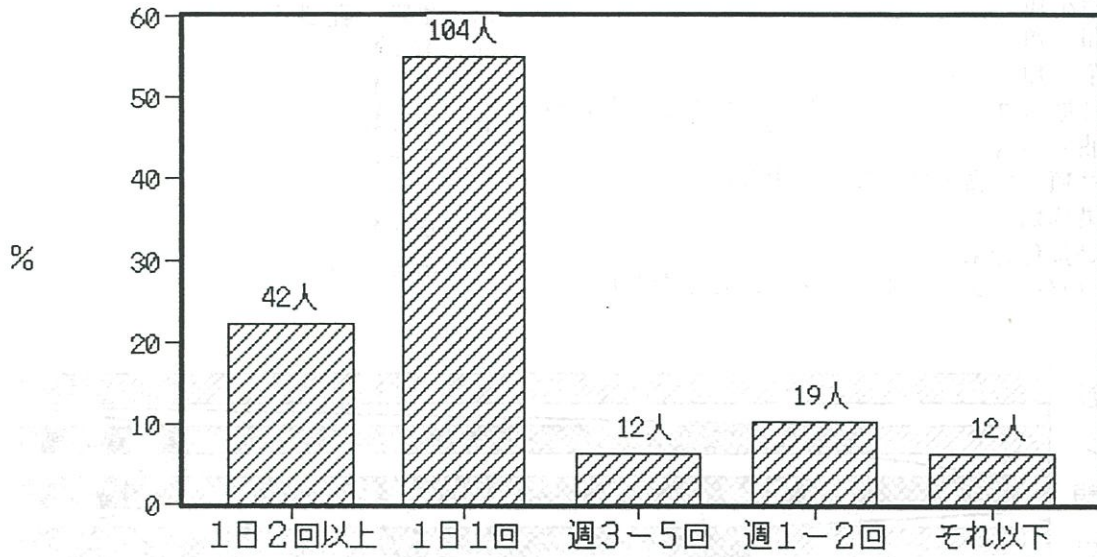
Q14SQ7. 朝食



SQ8. 間食の頻度はどれくらいでしたか。(夜食は含まない)

1. 1日2回以上
2. 1日1回位
3. 週3~5回
4. 週1~2回
5. それ以下の頻度

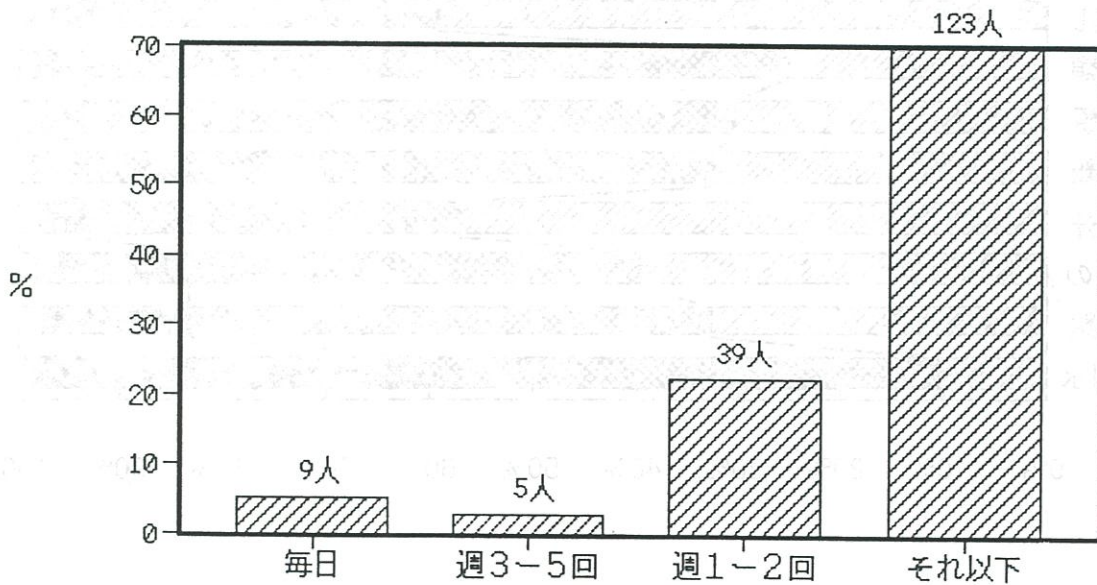
Q14SQ8. 間食



SQ9. 夜食の頻度はどれくらいでしたか。

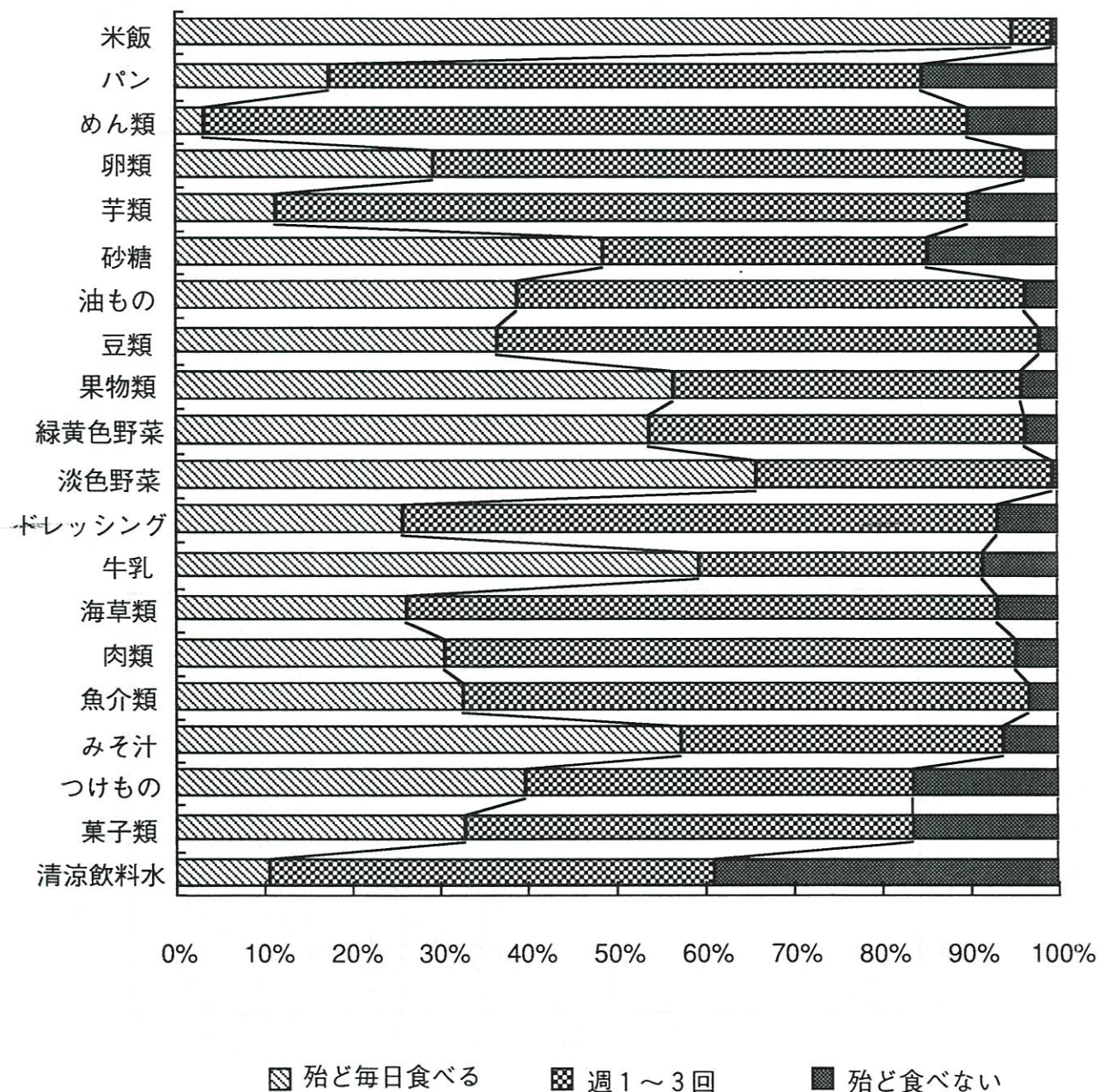
1. 毎日
2. 週3~5回
3. 週1~2回
4. それ以下の頻度

Q14SQ9. 夜食



Q15. 妊娠前、以下に挙げる食品について、普通一週間にどのくらい食べていたかお答えください。

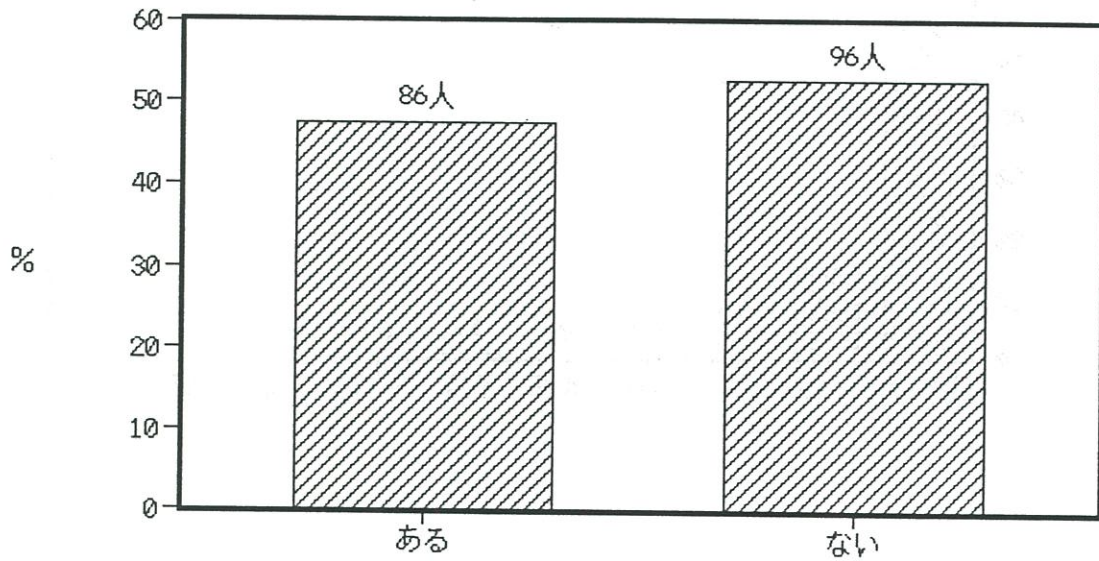
- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| a. 米 飯 | k. 淡色野菜
(きゅうり・キャベツ・白菜など) |
| b. パ ン | l. ドレッシング・マヨネーズ |
| c. めん類 | m. 牛乳・乳製品 |
| d. 卵 類 | n. 海草類 |
| e. 芋 類 | o. 肉 類 |
| f. 砂糖 (コーヒー・紅茶等に入れるものを含む) | p. 魚介類 |
| g. 油もの | q. みそ汁 |
| h. 豆類 (豆腐・納豆などを含む) | r. つけもの |
| i. 果物類 | s. 菓子類 |
| j. 緑黄色野菜
(ピーマン・にんじん・かぼちゃなど) | t. 清涼飲料水 |



Q16. 妊娠を契機にあなたが食事について実行しはじめたことはありますか。

1. ある ()
2. ない ()

Q16. 実行し始めたこと

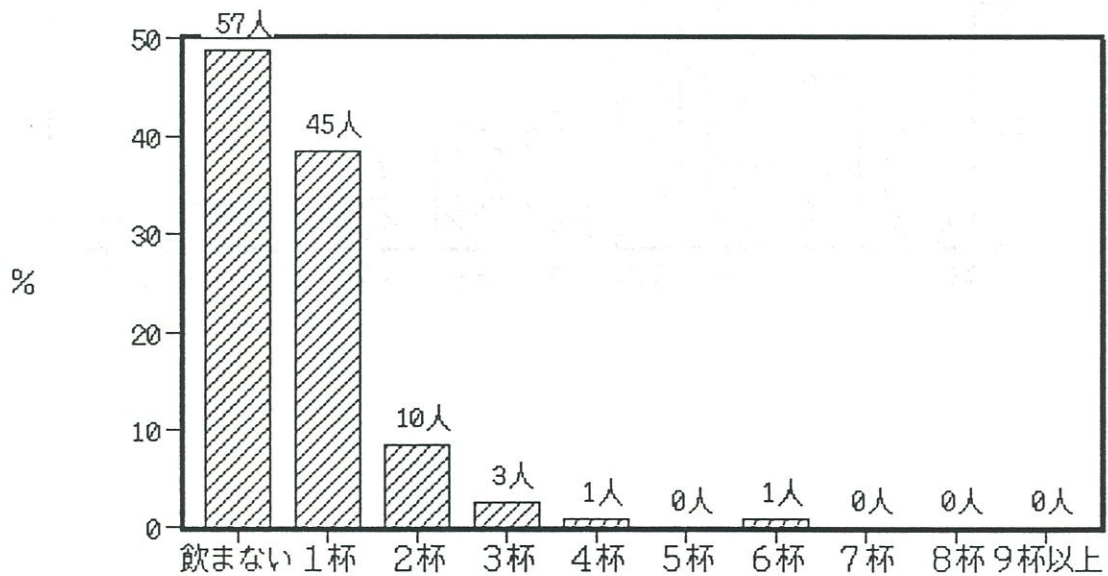


Q17. コーヒー・紅茶・日本茶をどのくらい飲みますか。

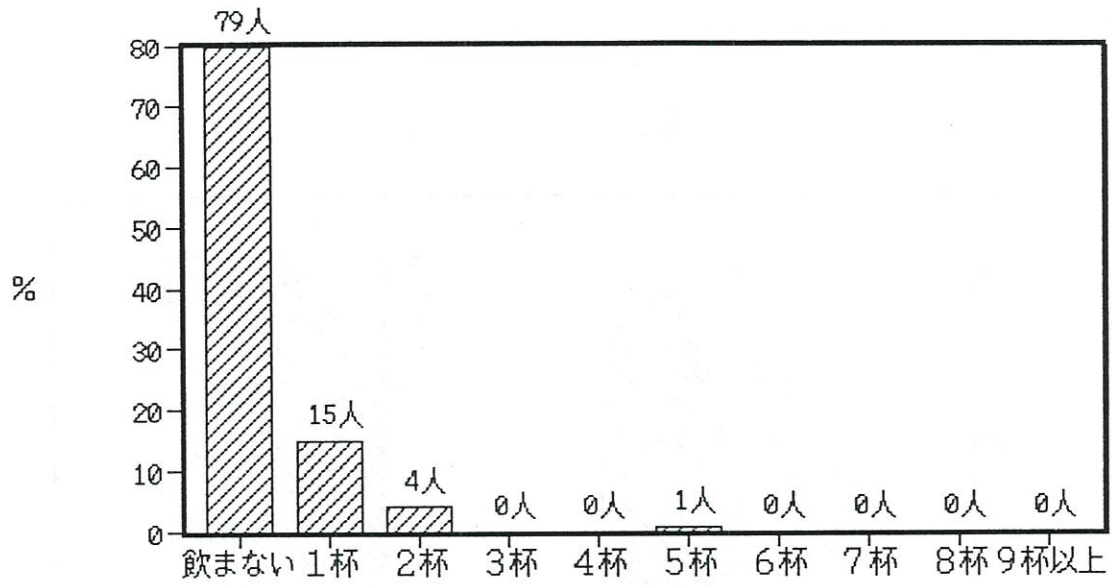
() のなかにお答え下さい。

1. 一日5杯以上
 2. 一日4杯まで
 3. 飲まない
- コーヒー () 紅茶 () 日本茶 ()

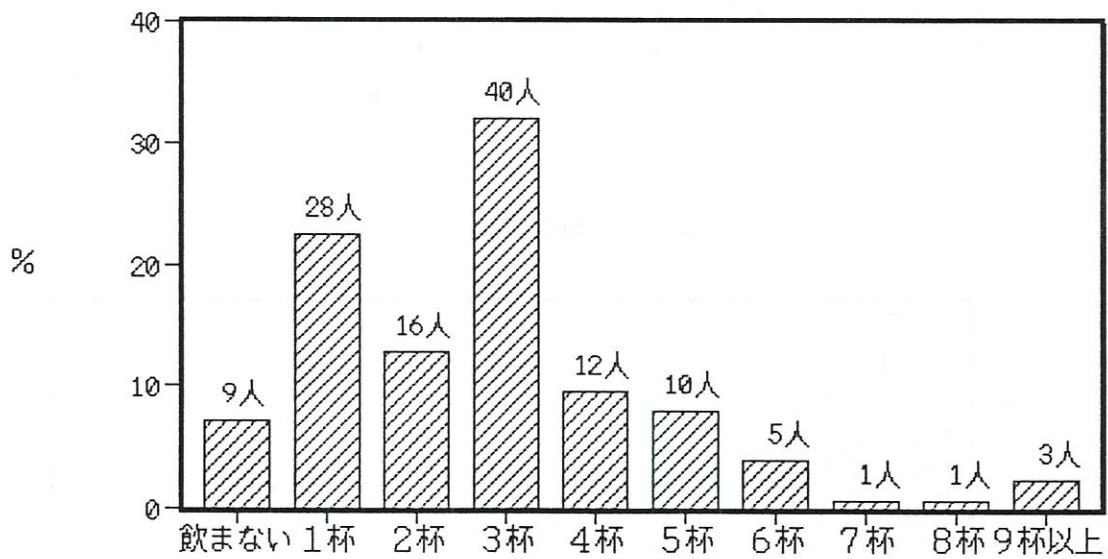
Q17. 飲み物(コーヒー)



Q17. 飲み物（紅茶）



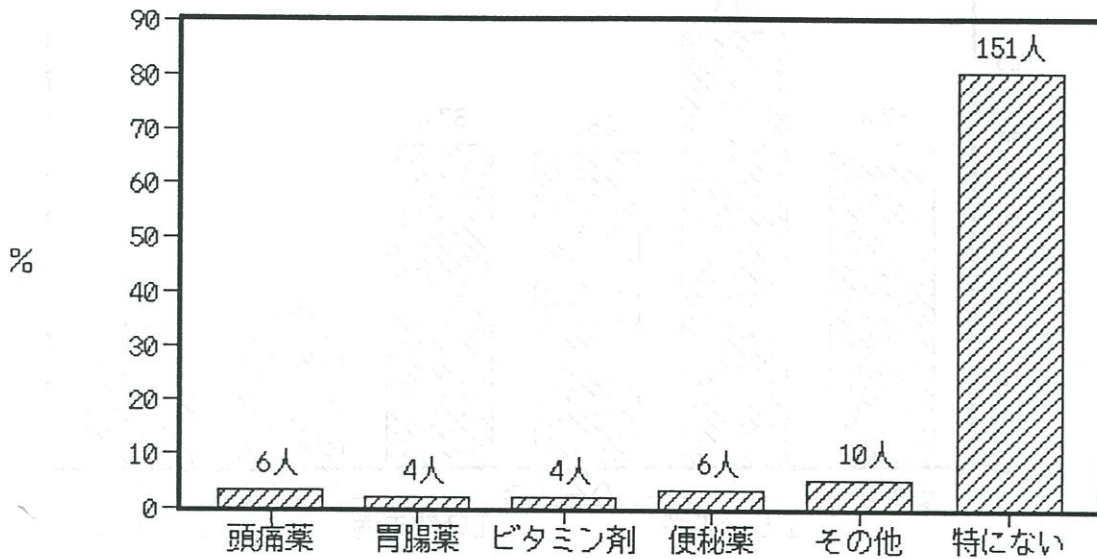
Q17. 飲み物（日本茶）



Q18. 妊娠前から服用していた薬があったら○をつけてください。

- 1. 頭痛薬・鎮痛剤 2. 胃腸薬 3. ビタミン剤
- 4. 便秘薬 5. その他 ()
- 6. とくにない

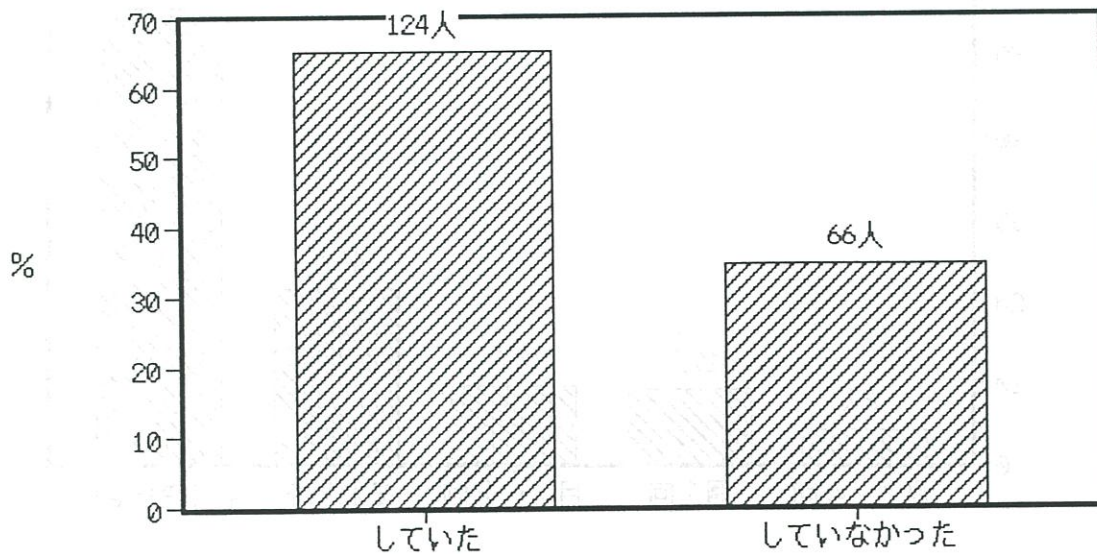
Q18. 薬



Q19. あなたは中学・高校時代にクラブに入りスポーツをしていましたか。

- 1. していた (何に? :)
- 2. していなかった

Q19. スポーツ

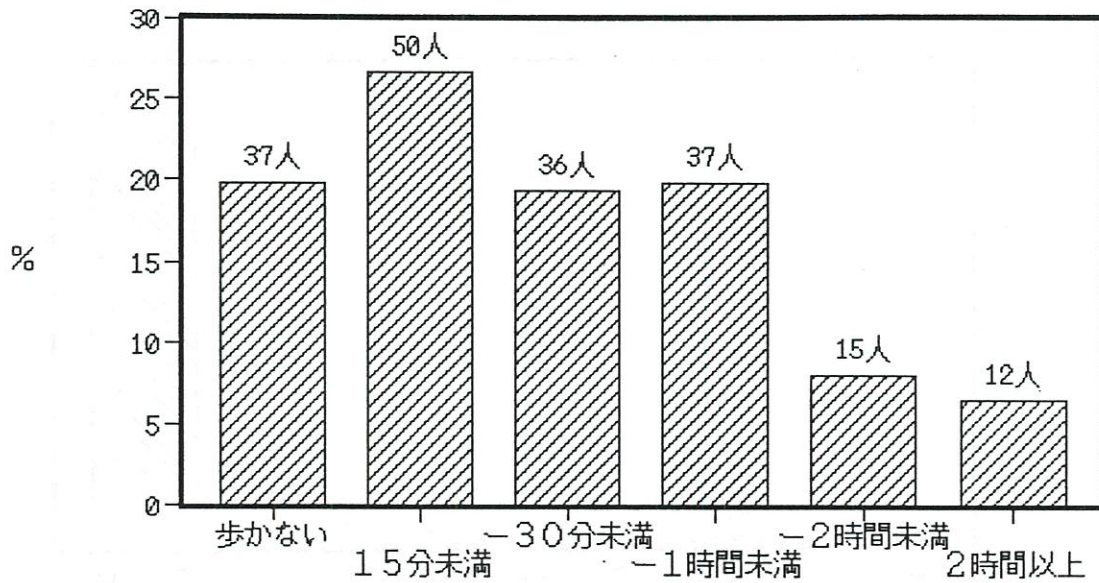


Q20. 妊娠前、あなたは一日に戸外をどのくらい歩きましたか。

(平日についてお答えください)

1. ほとんど歩かない 2. 15分未満 3. 15分～30分未満
 4. 30分～1時間未満 5. 1時間～2時間未満 6. 2時間以上

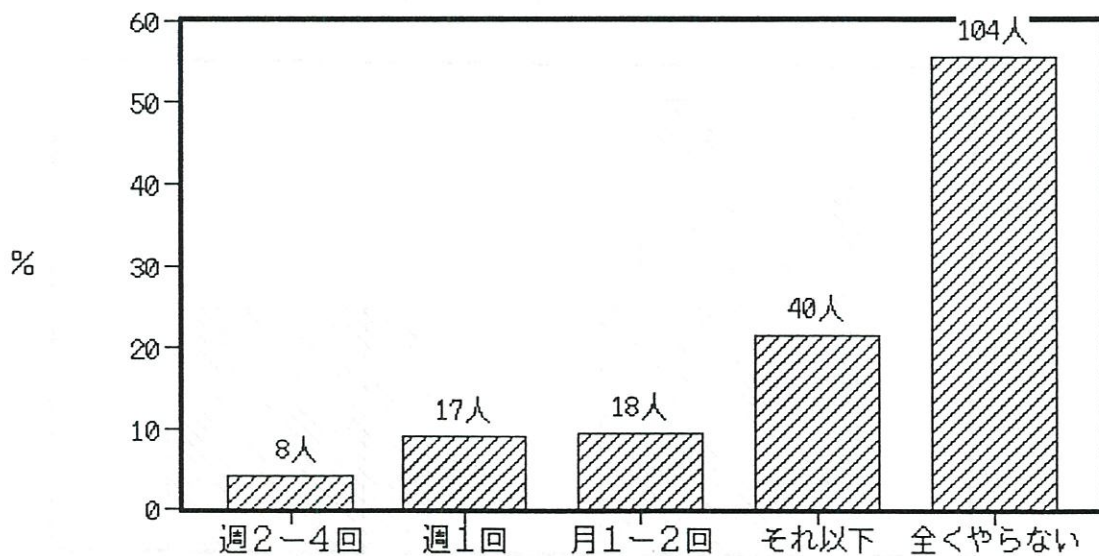
Q20. 歩く



Q21. 妊娠前、あなたは、スポーツ（野球・バレーボール・ソフト・卓球・水泳・ゴルフ・その他）をどれくらいやっていましたか。

1. 週5回以上 2. 週2～4回 3. 週1回
 4. 月1～2回 5. それ以下の頻度 4. 全くやらない

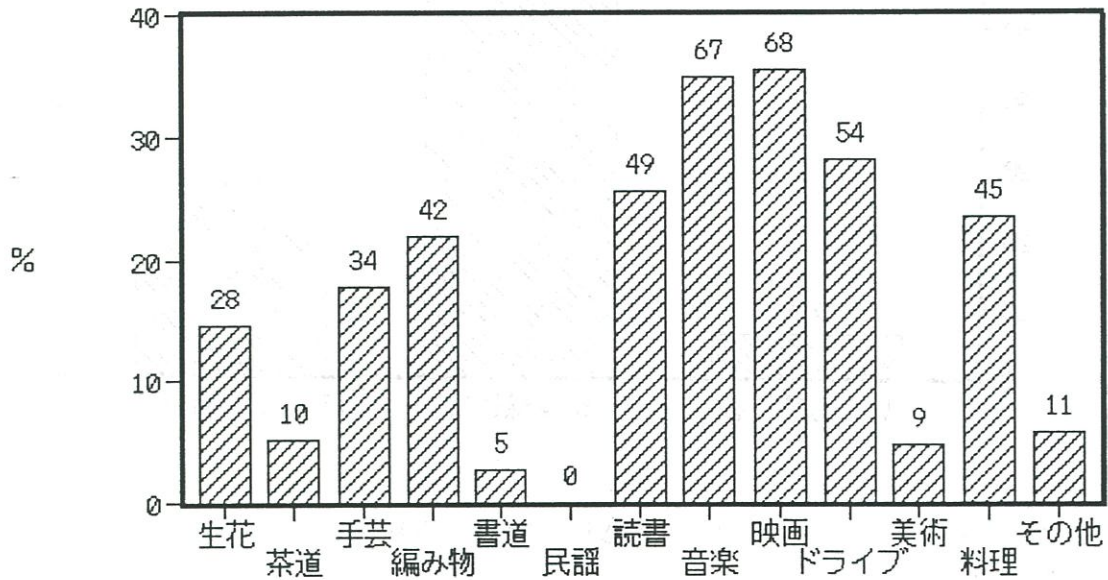
Q21. スポーツ



Q22. 妊娠前、あなたは、スポーツ以外にどのような趣味をもっていましたか、いくつでも○をつけてください。

1. 生花 2. 茶道 3. 手芸 4. 編み物 5. 書道
 6. 民謡 7. 読書 8. 音楽 9. 映画・ビデオ鑑賞
 10. ドライブ 11. 美術 12. 料理・菓子作り 13. その他 ()

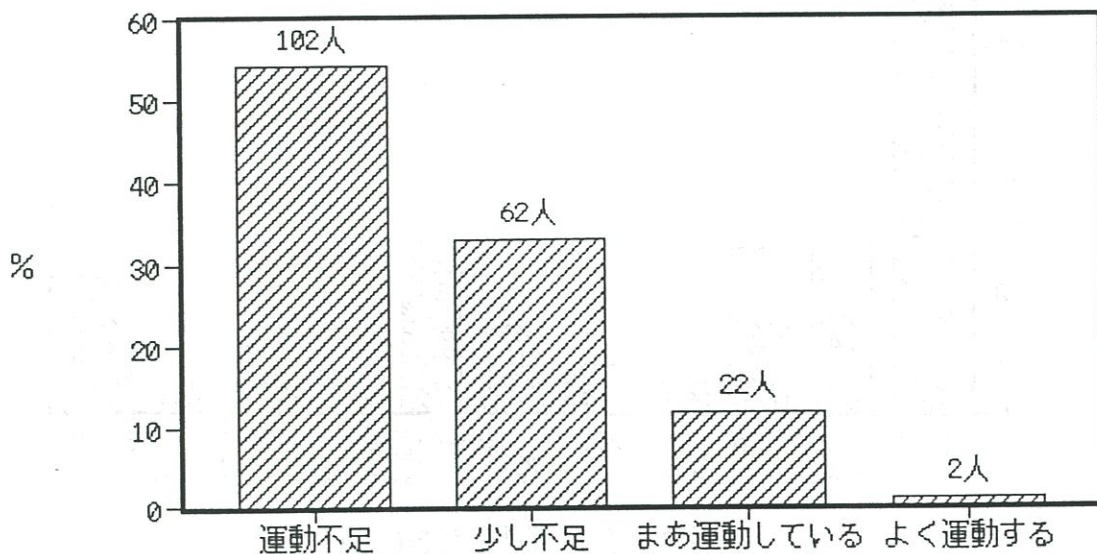
Q22. 趣味
数字は人数



Q23. 妊娠前、あなたは運動不足だと思っていましたか。

1. 運動不足であった 2. 少し運動不足であった
 3. まあ運動している方であった 4. よく運動していた

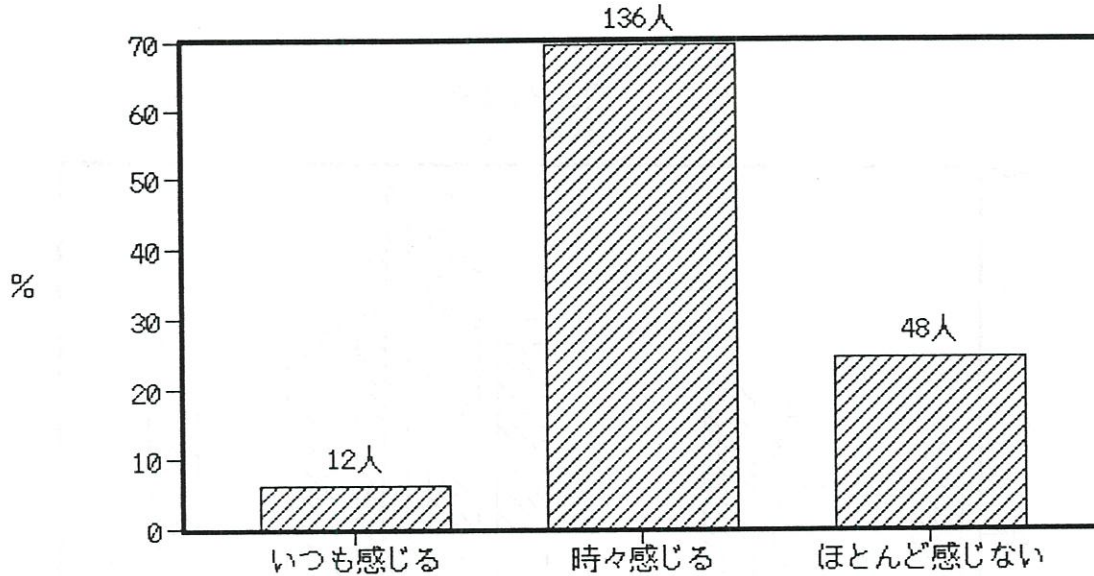
Q23. 運動不足ですか



Q25. ストレスを感じたことがありますか。

1. いつも感じていた
2. 時々感じていた
3. ほとんど感じなかった

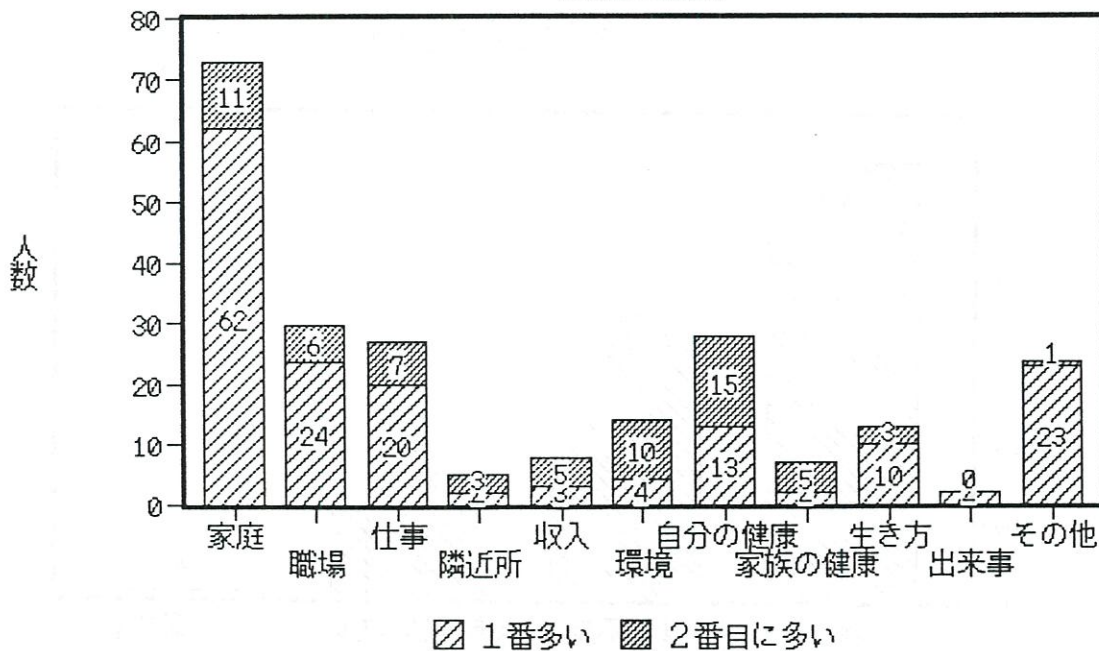
Q25. ストレス



Q26. どのような時にイライラしたりストレスを感じますか、一番多いものに◎、二番目に多いものに○をつけてください。

1. 家庭での人間関係
2. 職場での人間関係
3. 仕事の内容・地位など
4. 隣近所との人間関係
5. 収入
6. 住居とそのまわりの環境
7. 自分自身の健康問題
8. 家族・知人の健康問題
9. 自分自身の生き方・将来のこと
10. 世の中のできごと
11. その他 ()

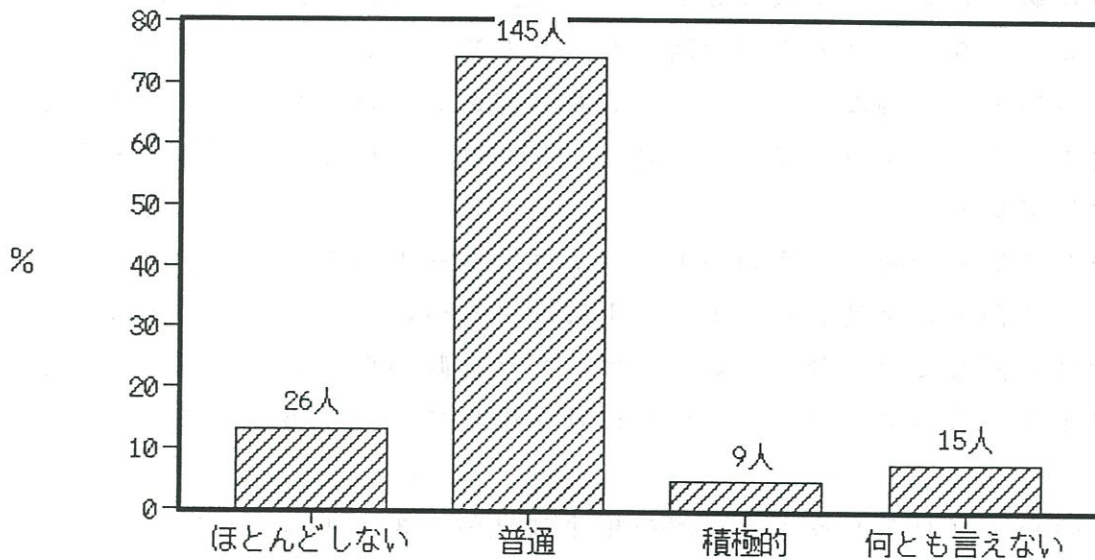
Q26. ストレスを感じる時
(縦軸は実数)



Q28. 近所づきあいはどのようにしていますか。

1. ほとんどしない
2. 普通程度にする
3. 積極的にする
4. 何ともいえない

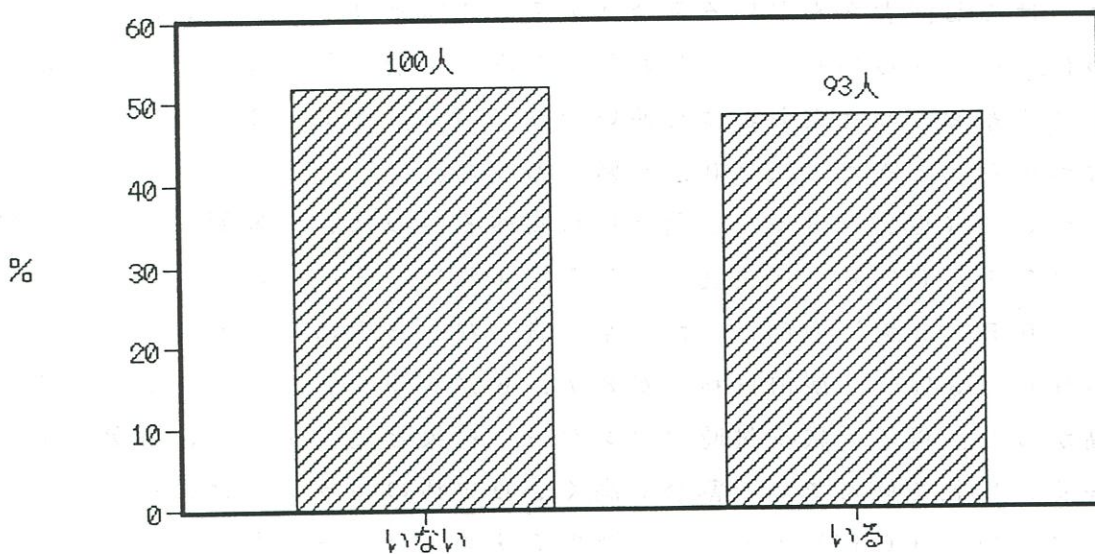
Q28. 近所づきあい



Q29. あなた方御夫婦、あなたの御両親、ご主人の御両親の中に血圧の高い方はいますか。

1. いない
2. いる (該当する人に○をつけてください)
 本人 夫 実父 実母 義父 義母
 本人のきょうだい 夫のきょうだい

Q29. 血圧



Ⅲ - 2 . 1 歳 6 ヶ 月 児 健 診 時

妊娠中に病気にかかった人(Q1)は、9.4%であり、産後のひだちについても(Q2)85.1%の人が順調であったと答えていた。

育児について現在悩んでいること(Q3)がある人は、35.7%で、その内容は「食事のこと」が最も多く、次いで「しつけについて」、「発育・発達のこと」と続いている。

勤務をしている母親は、常勤が19.7%、パートが7.1%となっていた。勤務している割合は常勤、パートとも手帳交付時の結果よりも少なくなっていた。

保育園に通園している割合(Q5)は、まだ年齢が低いためと考えられるが16.8%と低くなっていたが、その動機は「働いているため」がほとんどであった。

遊びについて(Q7)みると、遊び相手は兄弟23.4%、母親20.8%であり、母親と戸外で遊んだり散歩したりする割合も「時々する」を含めると92.4%と高くなっていた。遊んでいる様子は「動き回っていることが多い」子が96.4%と圧倒的に多かった。遊ぶ場所は「戸外・室内の両方」と答えた人が72.9%であった。

”おんぶ”と”だっこ”について(Q8)は、「よくする」と答えた割合は”おんぶ”は25.1%に対し、”だっこ”は57.5%であった。また、”おんぶ”をほとんどしないという人が16.6%であったのに対し、”だっこ”をほとんどしないと答えた人は1.0%だった。

「おばあちゃん子」(Q9)の割合は30.8%であった。

かかりつけのお医者さんがいる割合は77.2%と高くなっていた。

おむつについて(Q11)は、「紙おむつのみ」が最も多くなっており55.8%、次いで「布おむつと紙おむつを使い分けている」41.2%となっていたが、「布おむつのみ」と答えた人は0.5%であった。

食事について(Q12)みると、殆ど毎日食べるものは、「米飯」が97.3%、「野菜」(77.8%)、「牛乳」(75.4%)、「汁もの」(71.7%)、「果物」(65.9%)の順だった。殆ど食べないものは、「インスタントラーメン」が90.3%、「炭酸飲料」が87.6%と多く、「粉ミルク」も75.3%と高かった。母子手帳交付時のアンケート結果と同じように、野菜・果物の摂取が多く、牛乳を飲んでいる割合も高く、食生活のバランスはよいといえる。

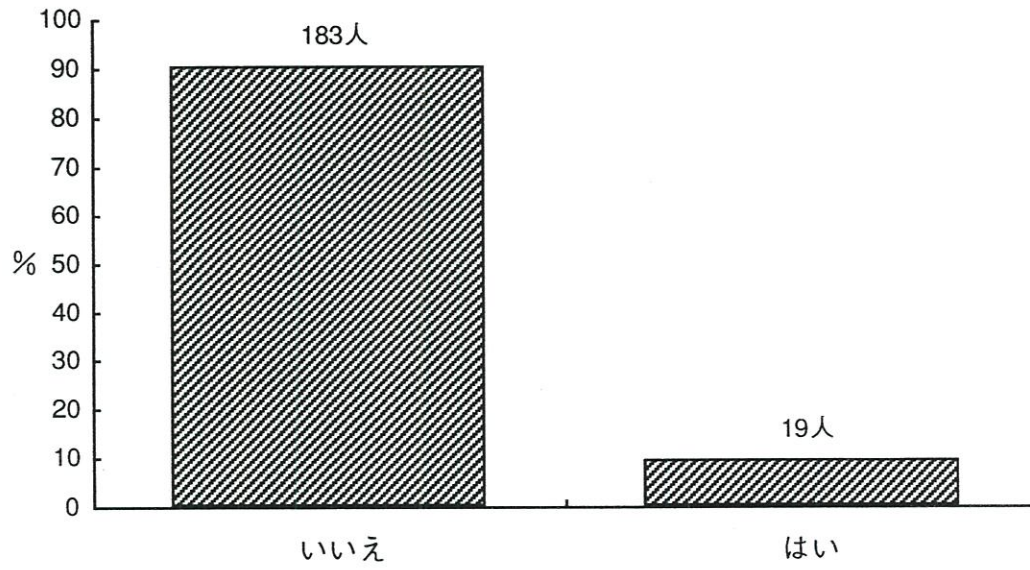
おやつについて(Q13)みると、「時間を決めて与える」が46.2%と多く、

回数は1日2回が63.2%で最も多かった。

「時々する」の人を含めると97.3%の人が夫と子供のことについて話をしており、一緒に遊んだり相手になったりとよく子供と接している父親は57.5%と過半数だった。

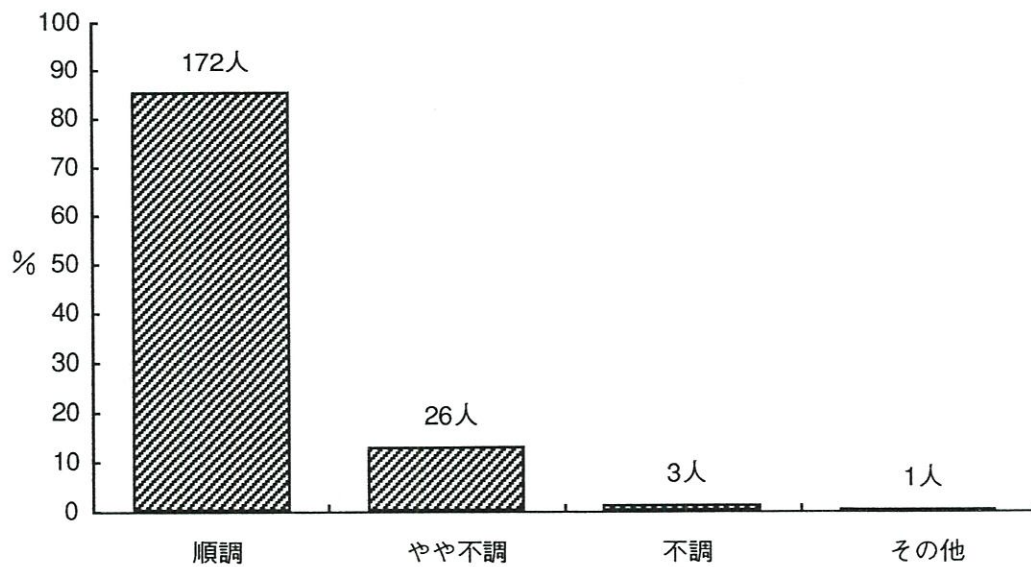
Q 1. 妊娠中に何か病気にかかりましたか。

1. いいえ
2. はい



Q 2. 産後のひだちはいかがでしたか？

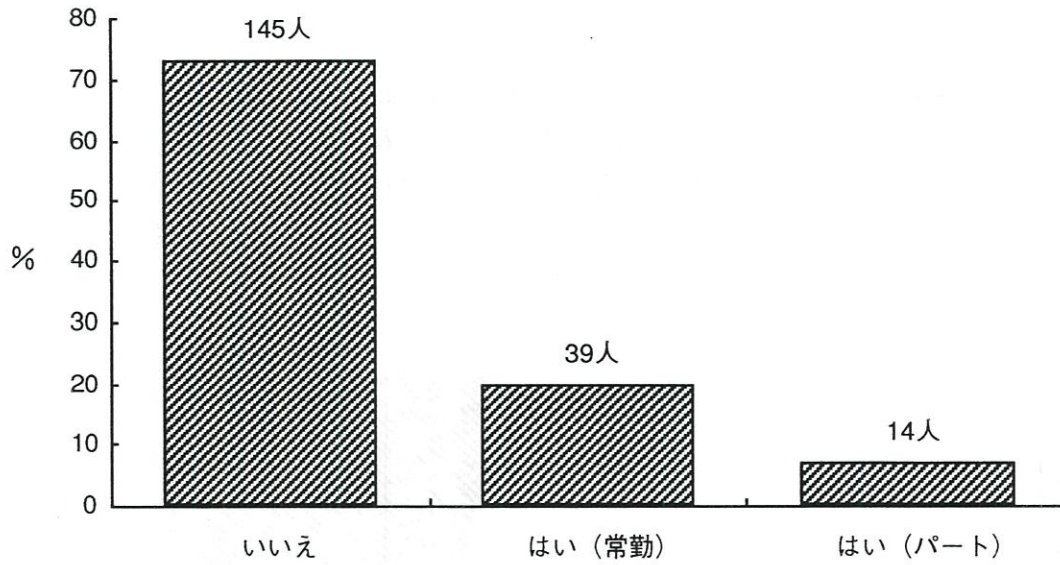
1. 順調だった
2. やや不調だった
3. 不調だった
4. その他



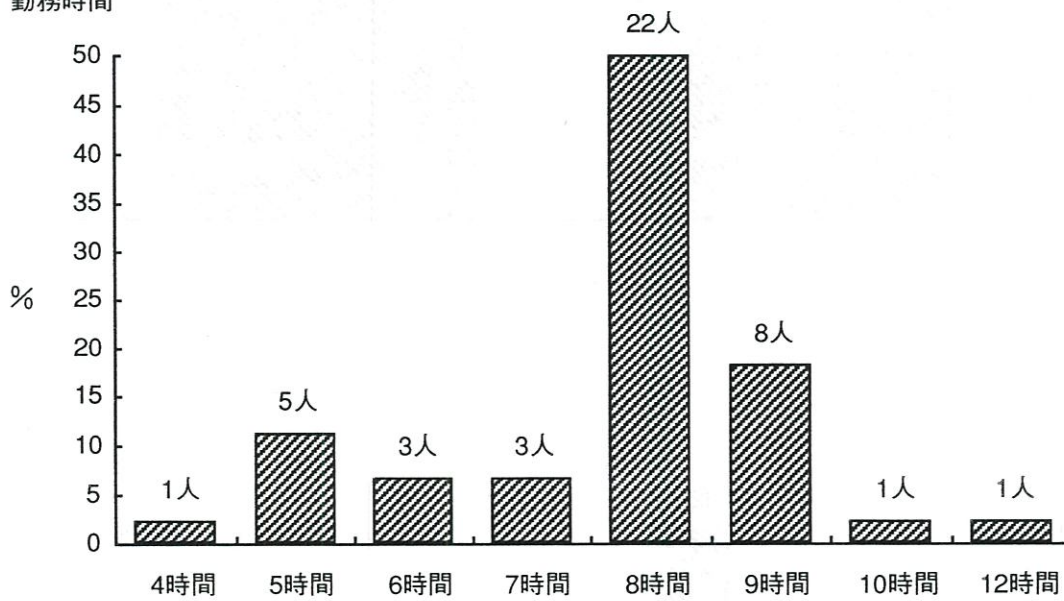
Q 4. お母様は現在お勤めをしていますか。

1. いいえ 2. はい (常勤) 3. はい (パート)

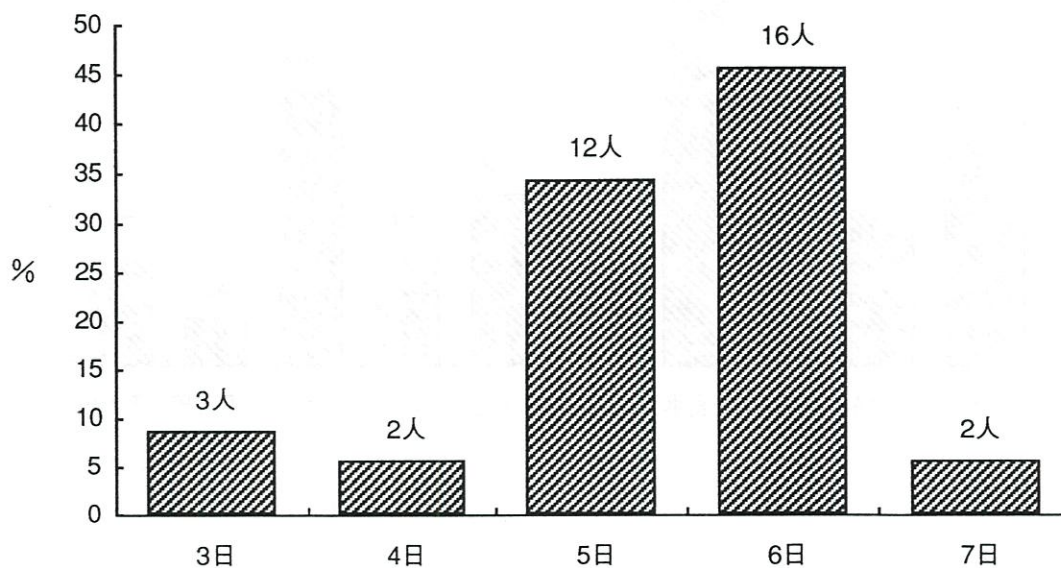
→ 2. または 3. の方 → 1日 () 時間 週 () 日



勤務時間



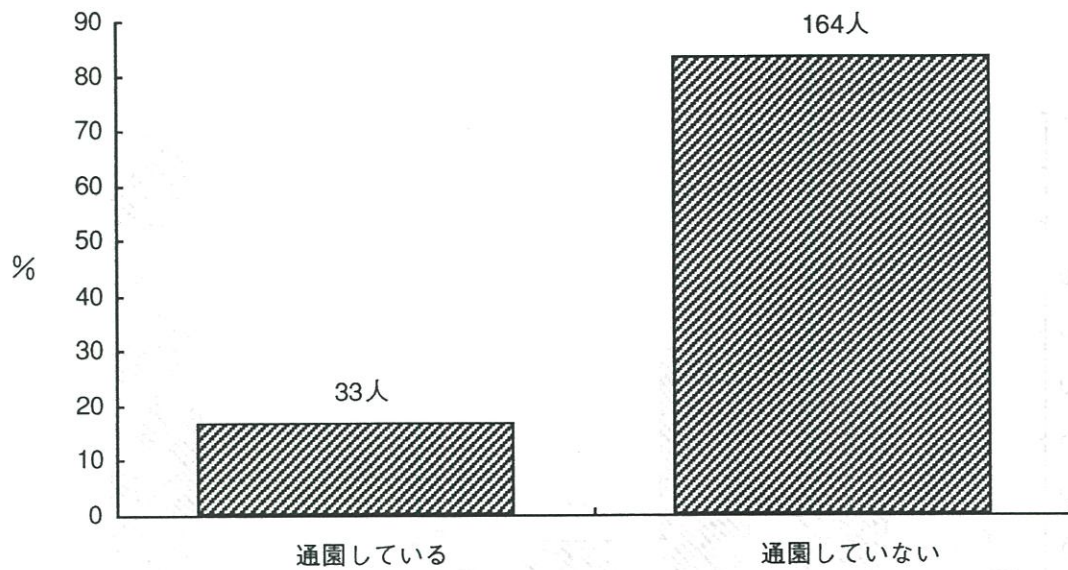
勤務日数



Q 5. お子様は保育所に通園していますか。

1. 通園している

2. 通園していない



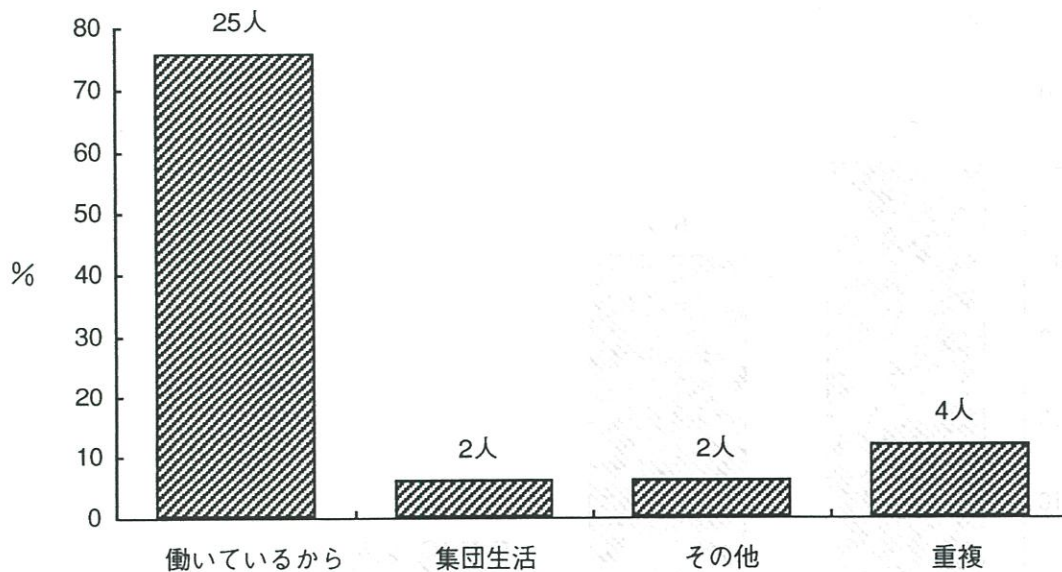
Q 6. (前問で1. と答えた方のみ) お子様をあずけるようにした動機は何ですか。

1. 働いているから

2. 集団生活になれさせたかったから

3. 周囲に友達がいないから

4. その他 ()

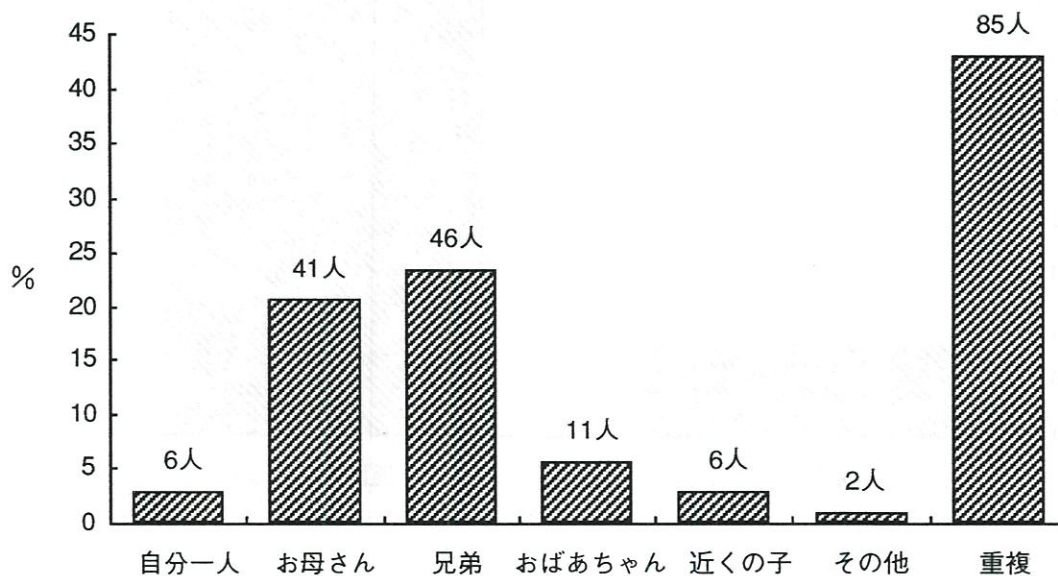


Q7. お子様の遊びについてうかがいます。

(保育園にいらっしゃるお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

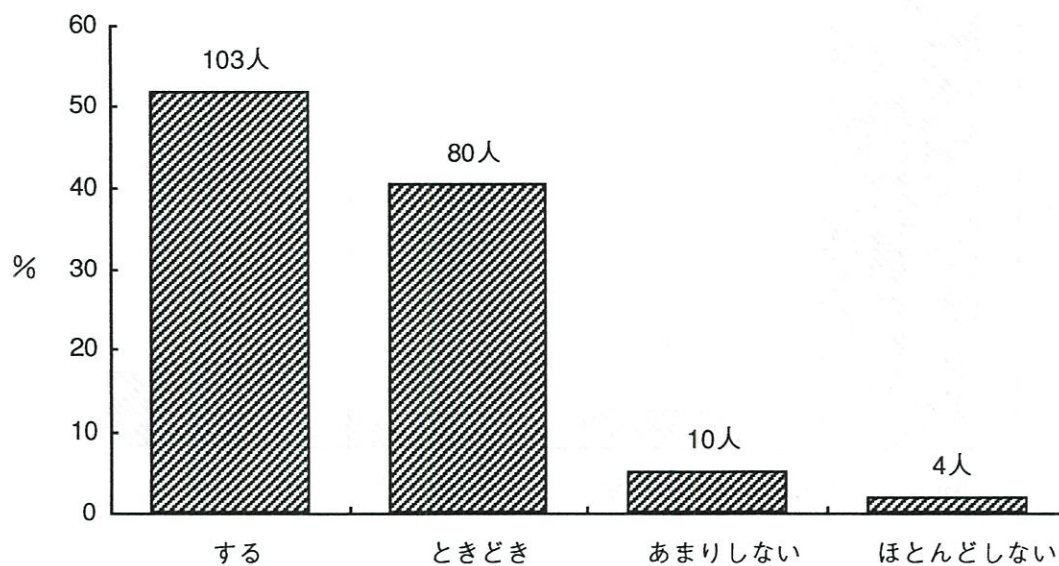
SQ1. 誰とよく遊びますか。

- 1. 自分一人で
- 2. お母さんと
- 3. お父さんと
- 4. 兄弟と
- 5. おばあちゃんと
- 6. おじいちゃんと
- 7. 近くの同年代の子供と
- 8. その他



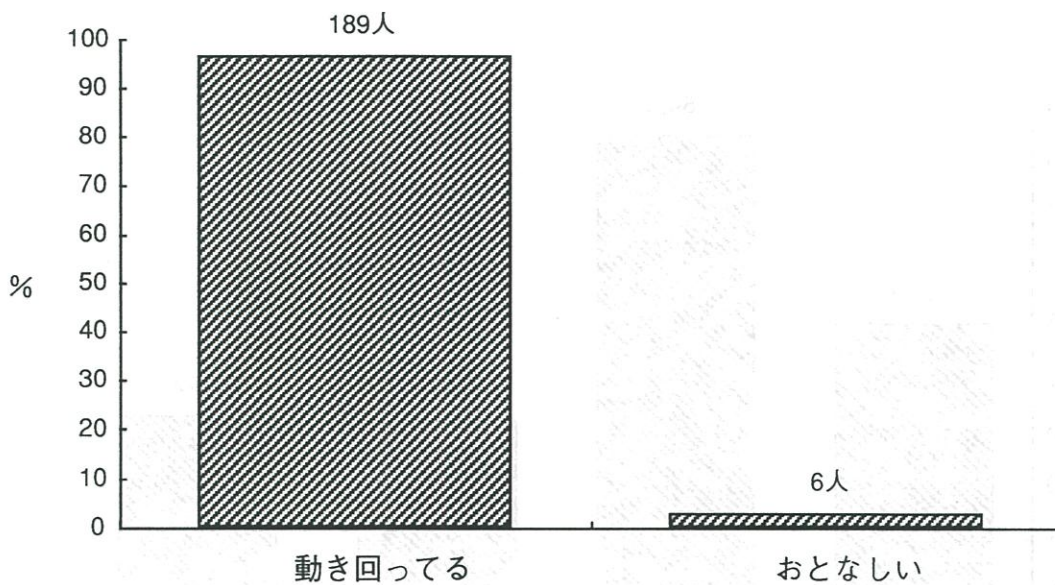
SQ2. お母様はお子様と一緒に戸外で遊んだり散歩したりしますか。

- 1. ほとんどする
- 2. ときどきする
- 3. あまりしない
- 4. ほとんどしない



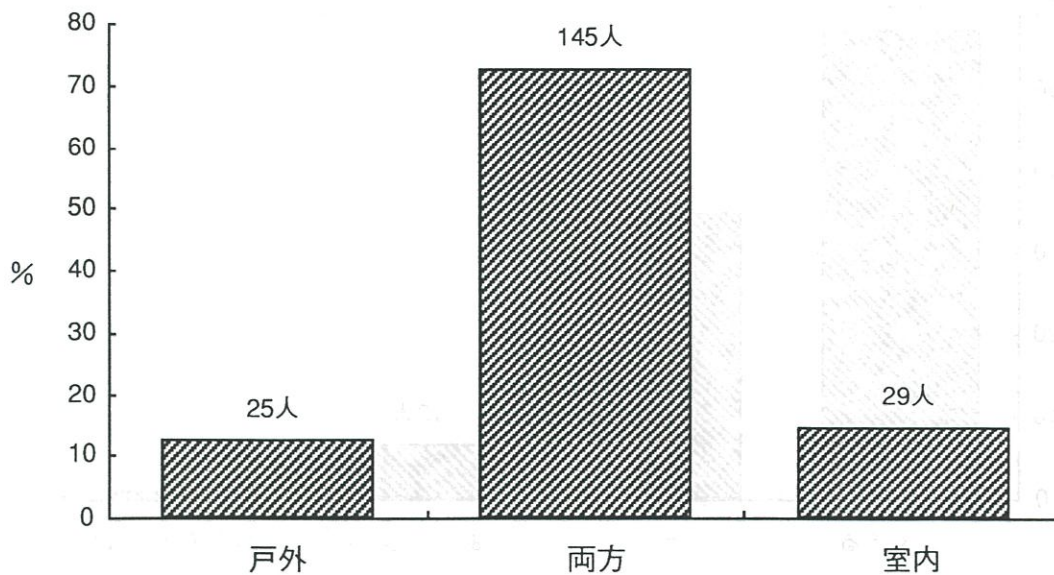
SQ3. お子様はふだん動き回っていることが多いですか、おとなしく遊んでいることが多いですか。

1. 動き回っていることが多い
2. おとなしく遊んでいることが多い



SQ4. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

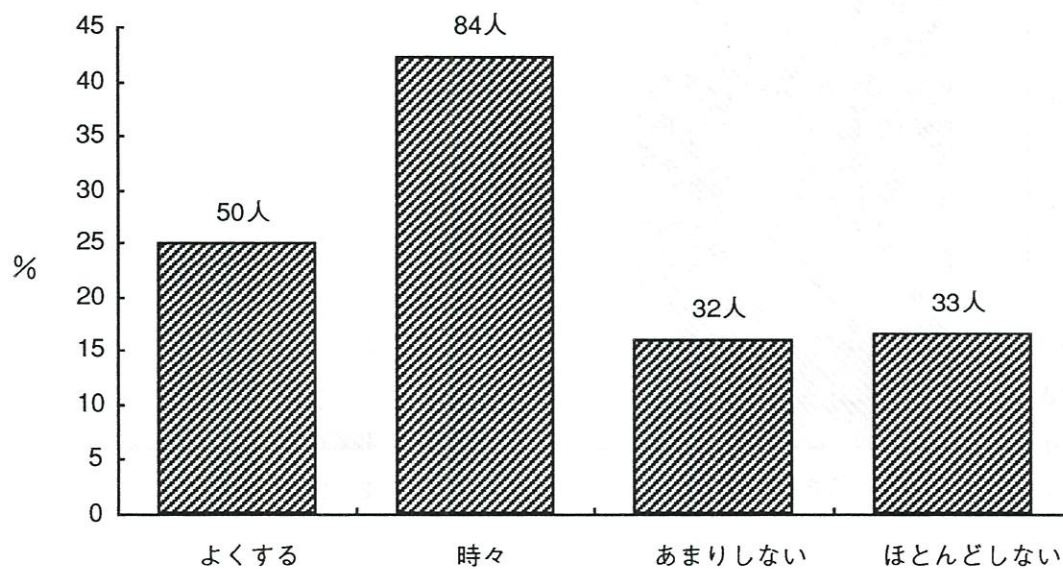
1. 戸外で遊ぶことが多い
2. 戸外・室内両方であそぶ
3. 室内で遊ぶことが多い



Q 8. お子様をおんぶしたり、だっこしたりしますか。

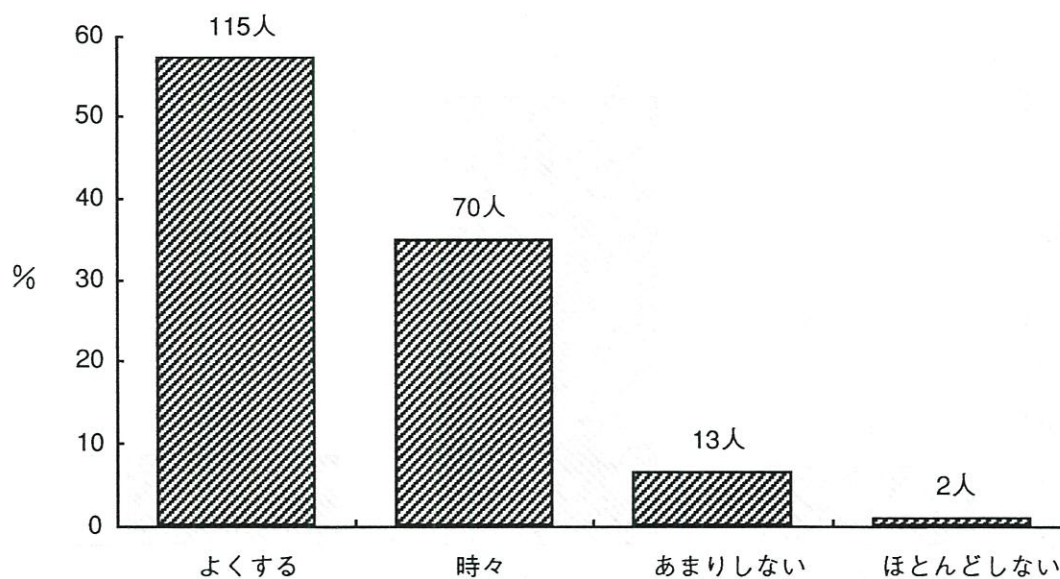
SQ1. おんぶ

1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない
4. ほとんどしない



SQ2. だっこ

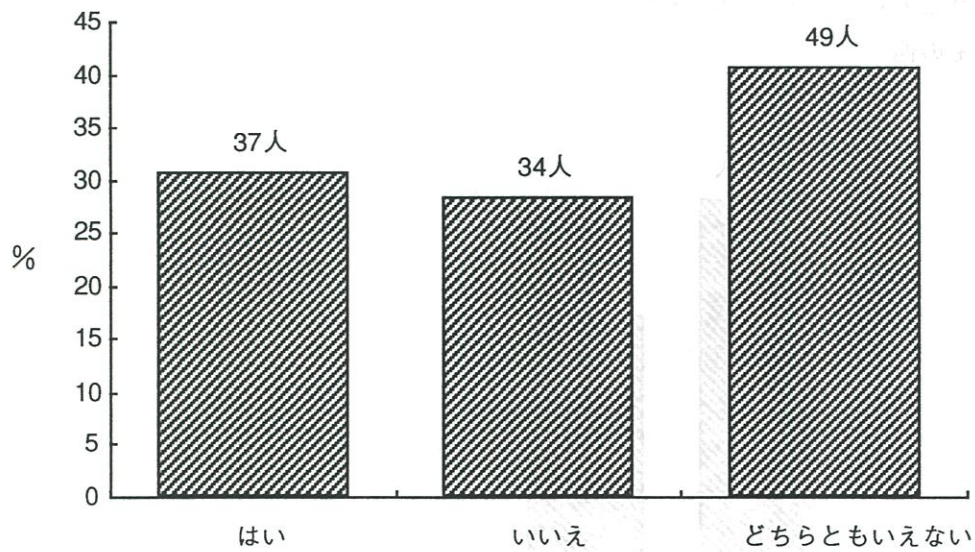
1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない
4. ほとんどしない



Q9. (祖父母と同居の方のみお答え下さい。)

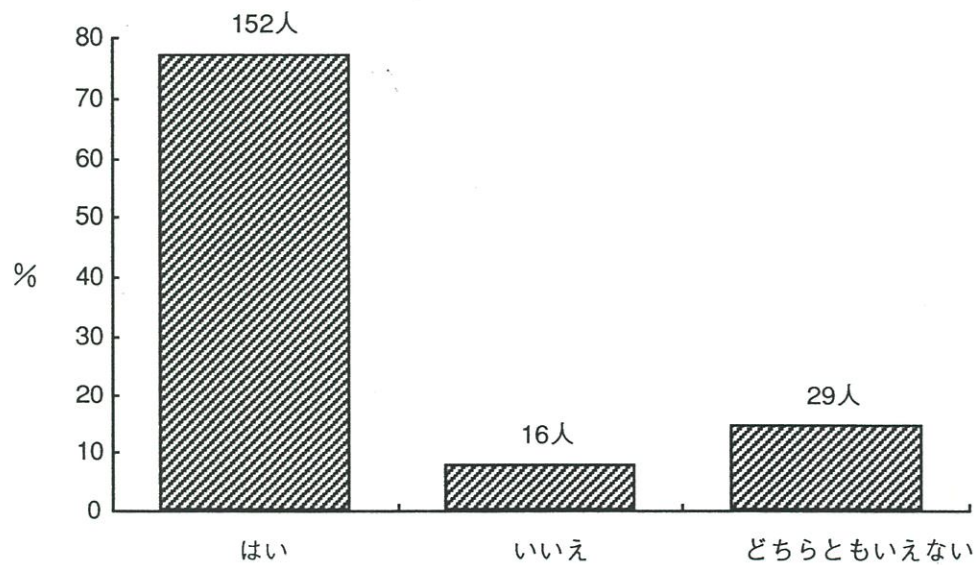
お子様は、" おばあちゃん子 (またはおじいちゃん子) "ですか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



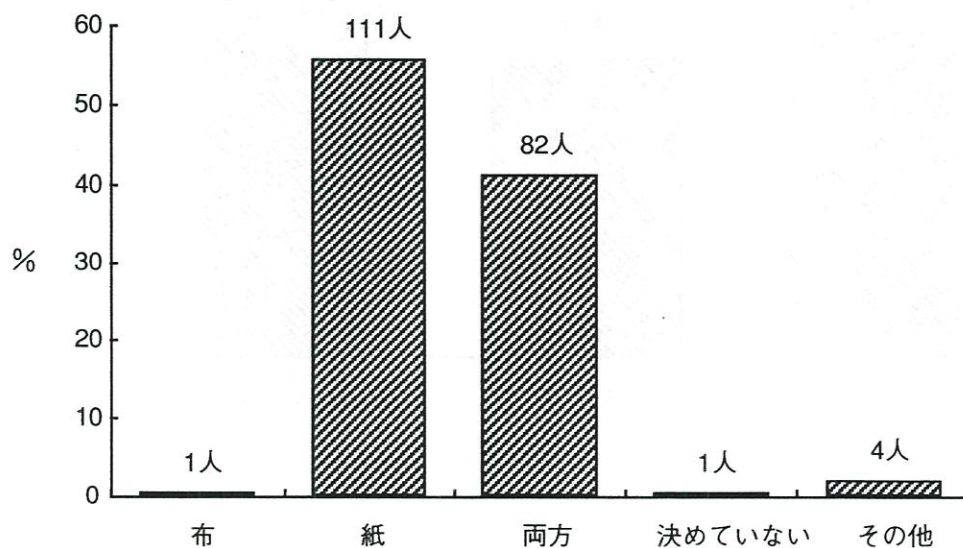
Q10. (お子様のための) かかりつけのお医者さんがいますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない/わからない



Q11. お子様は、現在どんなおむつをつけていますか。

1. 布おむつのみ
2. 紙おむつのみ
3. 日中は布おむつ、夜間・外出時は紙おむつというように両方使い分けている
4. 特にどちらとも決めていない
5. その他



Q12. お子様の食事について、該当する番号に○印をして下さい。

米 飯

パ ン

めん類

インスタントラーメン

いも類

卵

牛 乳

チ ーズ

肉 類

魚 類

豆・大豆（とうふ・納豆などを含む）

野 菜

果 物

海草類

塩からいもの(つくだに・漬け物等)

油料理（フライ・油炒めなど）

汁もの（みそ汁・すましなど）

塩味の菓子（ポテトチップなど）

甘い菓子（砂糖を多く含むもの）

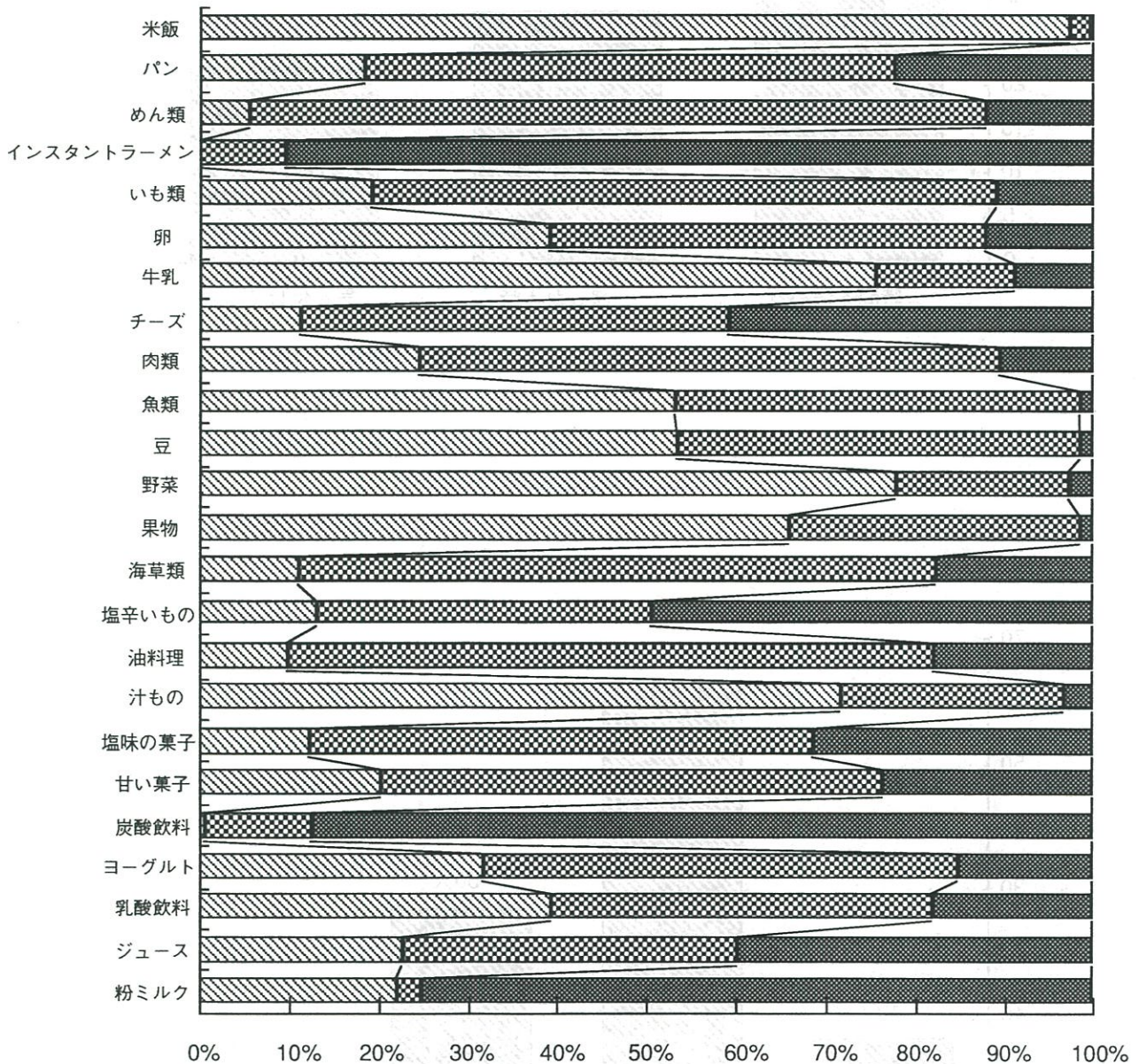
炭酸飲料（コーラなど）

ヨーグルト

乳酸飲料（ヤクルトなど）

市販のジュース

粉ミルク

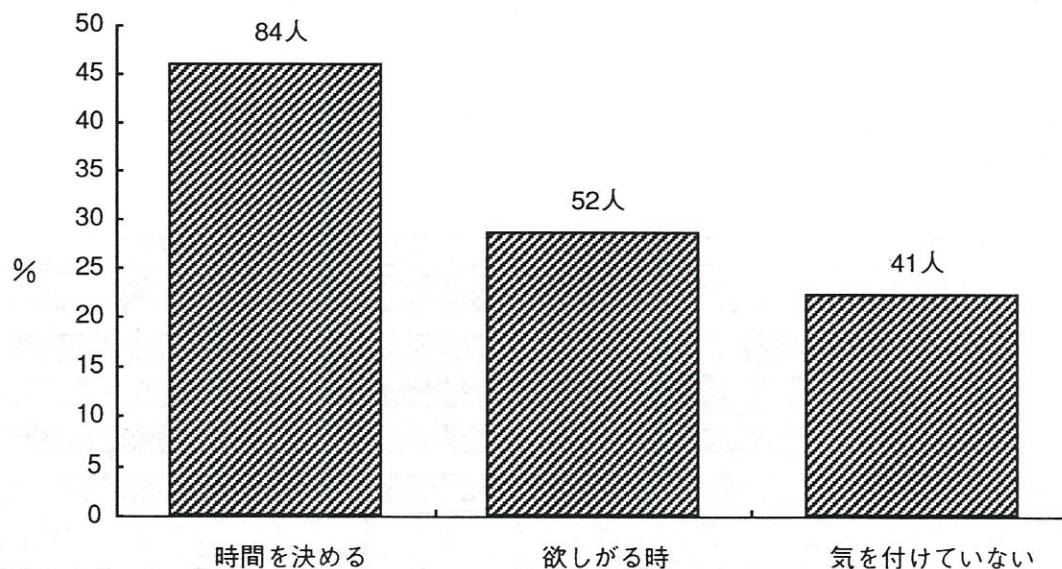


▨ 殆ど毎日 ▩ 週3回位 ■ 殆どとらない

Q13. お子様のおやつについてうかがいます。

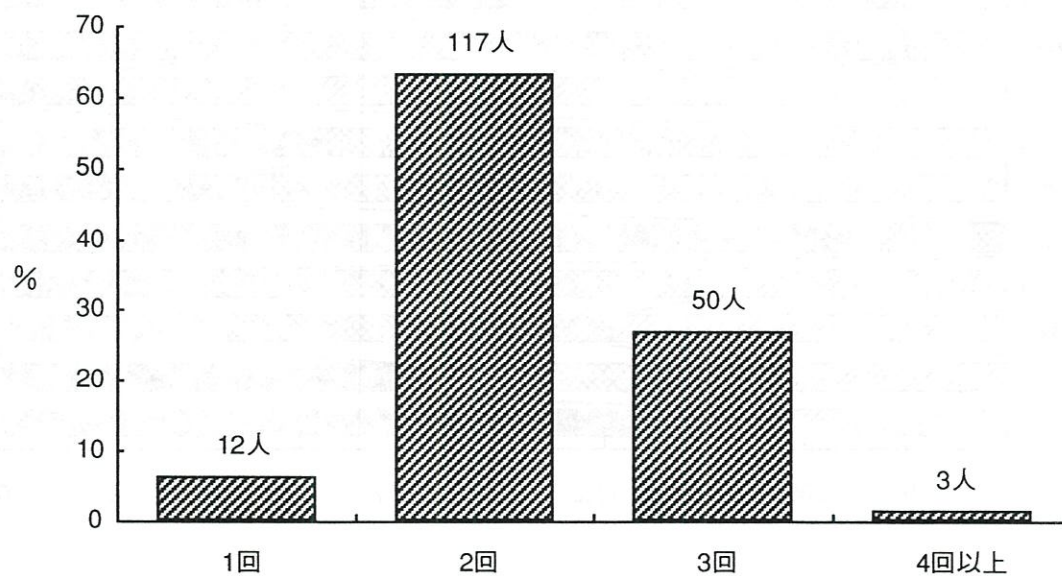
SQ1. おやつをどのようにして与えますか。

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



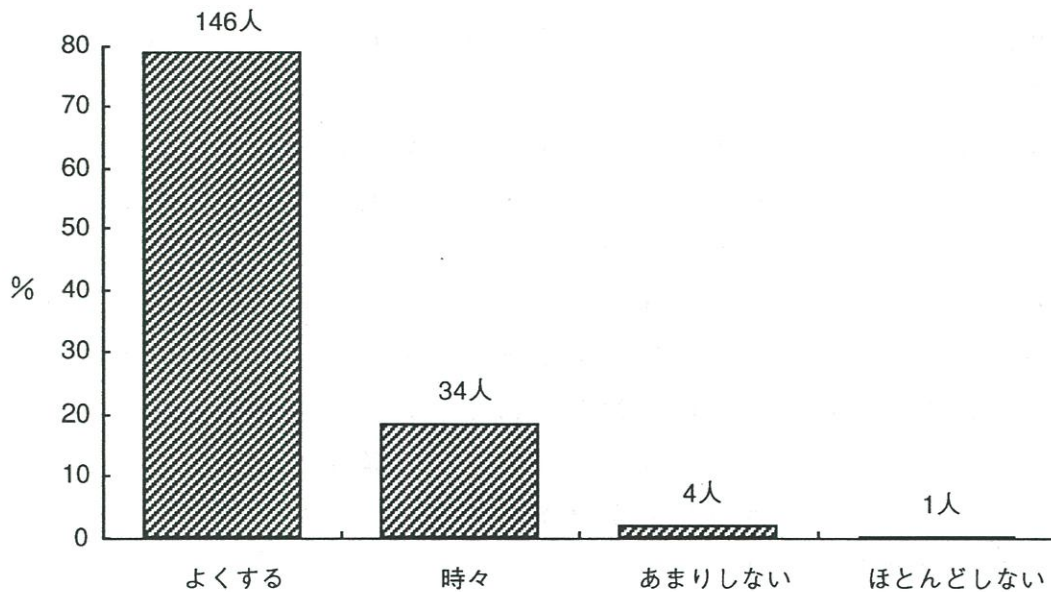
SQ2. おやつは1日何回ですか。

1. 1回
2. 2回
3. 3回
4. 4回以上
5. なし



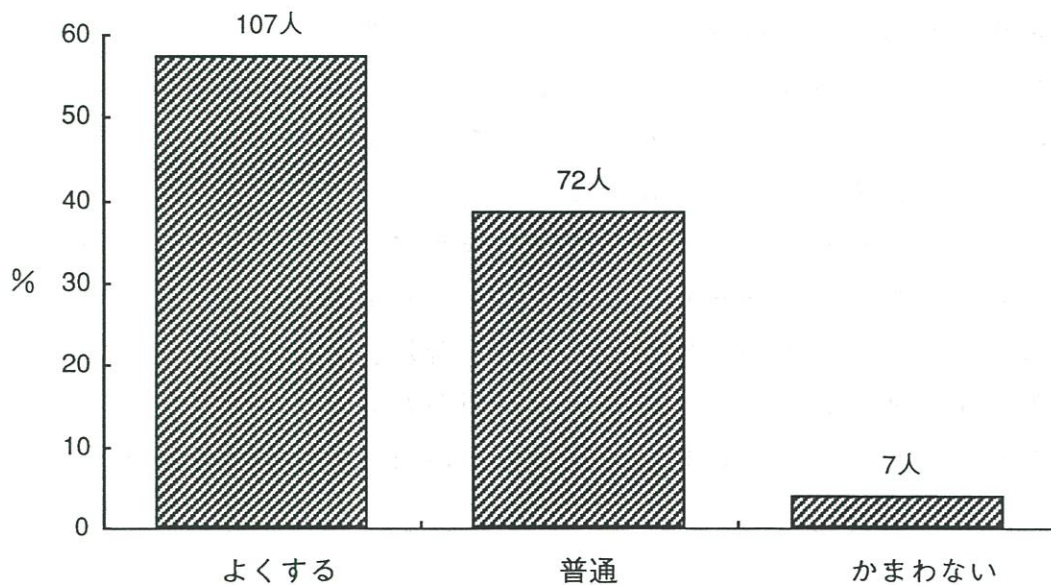
Q15. ご主人とお子様のことについて話をしますか。

1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない
4. ほとんどしない 5. なんともいえない



Q16. ご主人はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである



III - 3 . 3 歳 児 健 診 時

育児について現在悩んでいること（Q1）がある人は、44.6%であった。

保育園に通園している割合（Q2）は、39.4%であり、「これからさせたい」が58.6%であった。通園させている動機（Q3）は、「働いているから」が63.7%と最も多くなっていた。

遊びについて（Q4）みると、遊び相手は「兄弟」が最も多く、次いで「母親」、「近くの同年代の子」となっている。1・6健診時と比べ、兄弟、同年代の子と遊ぶケースが多くなってきた。母親と戸外で遊んだり散歩したりする割合は「時々する」を含めると87.3%であり、遊んでいる様子は、「動き回っていることが多い」子が85.1%、遊ぶ場所は「戸外・室内の両方」が74.6%だった。これは1・6健診時と同じ傾向である。好きな遊びは、「砂場遊び」52.5%、「積み木・ブロック」33.8%、「三輪車」33.8%、「水遊び」31.3%の順であった。近所にお友達がいるかどうかは「少ない」、「まったくいない」をあわせると70.4%であった。69.1%の子が友達とよく遊んでいる。

これまでにけが、事故で医療機関にかかったことがあるのは12.1%であった。

おむつをしている子は「夜だけしている」子も含めると51.0%と過半数であった。

食事について（Q8）みると、殆ど毎日食べるものは「米飯」が98.5%、「牛乳」（77.2%）、「野菜」（69.2%）、「果物」（65.8%）、「汁もの」（63.8%）の順だった。殆ど食べないものは「インスタントラーメン」が80.0%、「炭酸飲料」が75.4%と多く、これは1・6健診時と同じだった。食事を1日3回とっている割合は90.9%であり、食べないことの多いのは朝食であった。家族そろって食事をする家が84.3%で、子どもだけで食事をすると答えた人は0.5%であった。

おやつについて（Q9）みると、「時間を決めて与える」が51.3%で最も多かった。回数は1日2回が60.2%で、1・6健診時と同じくらいであった。

テレビは95.5%の子が「好き」または「普通」と答え、見る時間は1日1～2時間が34.8%、次いで1日2～3時間が33.8%であった。

「時々する」人を含めると、95.4%の人が夫と子供のことについて話をし

ており、一緒に遊んだり相手になったりとよく子供と接している父親は54.3%と過半数であった。

子供の日常生活についての設問(Q14)では、「できない」と「ほとんどできない」とを加えた「できない割合」の最も高かったのは、「うがい」12.7%、次いで「後片付け」10.0%、「衣服の着脱」9.2%、となっていた。「何とかできる」を含めれば大部分のものが日常生活での習慣をよくやっているようであった。

子供とゆったりとした気分で接するという人は26.3%であった。また子供の世話を面倒に感じる日がまったくないと答えた人が22.3%あった。子供の要求を我慢させると答えて人は22.3%であった。よその子のことが気になるが個人差があると思っている人は68.2%であった。子供をつれて祖父母、親戚、友人のところによくでかける人は45.2%であるのに対し、買物や用たし等によく連れていく人は73.2%と多かった。母親にベタベタとまとわりつき離れない子は14.1%、他の家族がいれば母親がいなくても平気な子が90.9%であった。

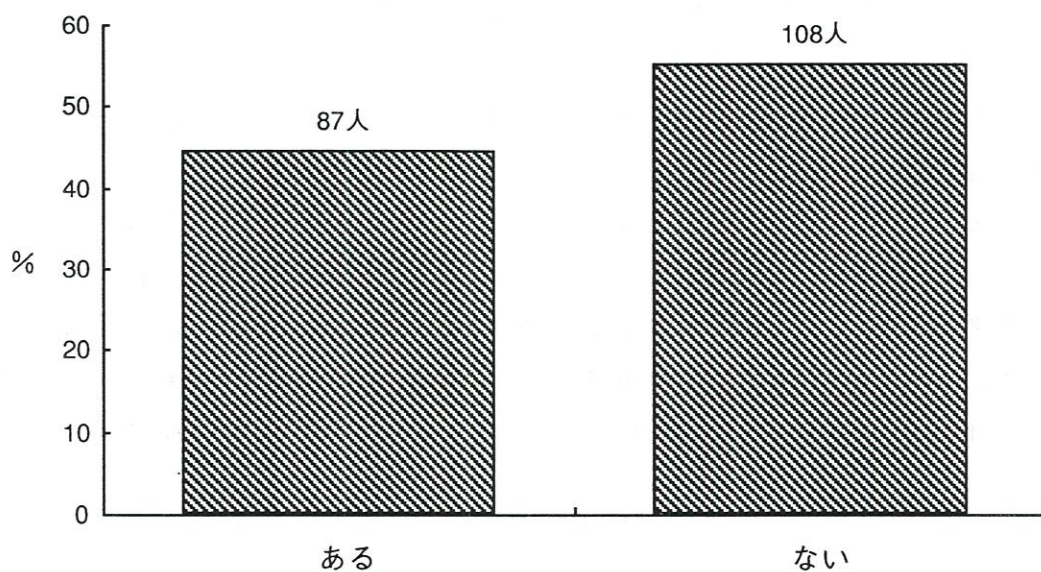
Q1. 現在育児の事で悩んでいることがありますか。

1. ある

2. ない

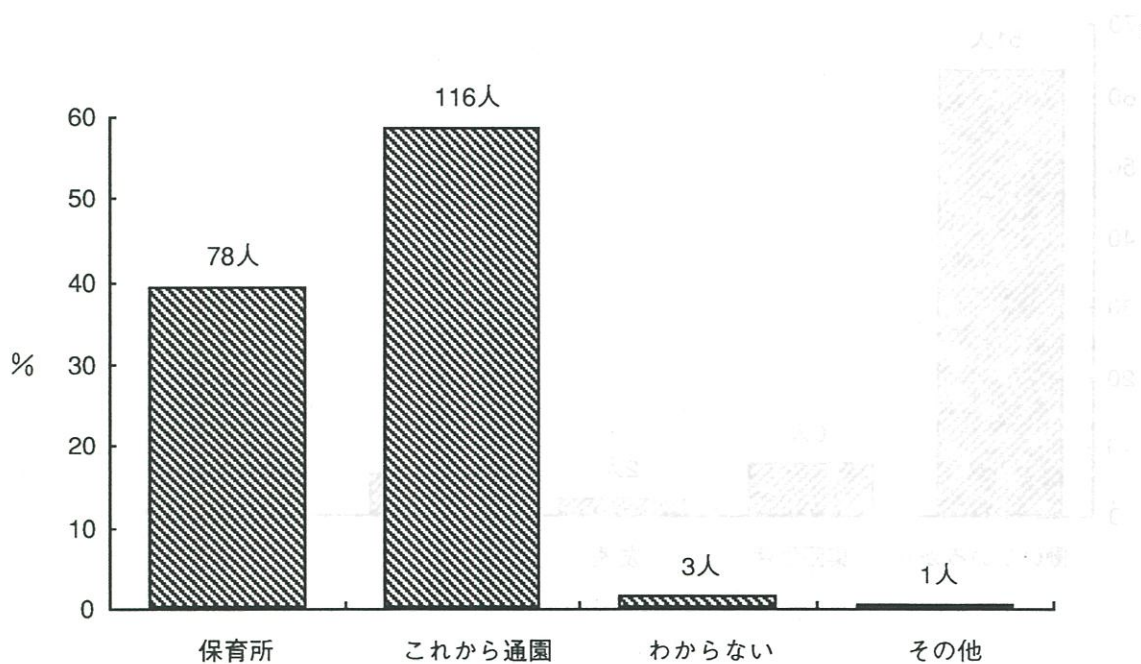
↓

- ①発育・発達のこと ②性格のこと ③病気・事故のこと ④食事のこと
⑤睡眠のこと ⑥お友達のこと ⑦保育園・幼稚園の入園のこと ⑧しつけ
⑨祖父母との育児方針 ⑩その他

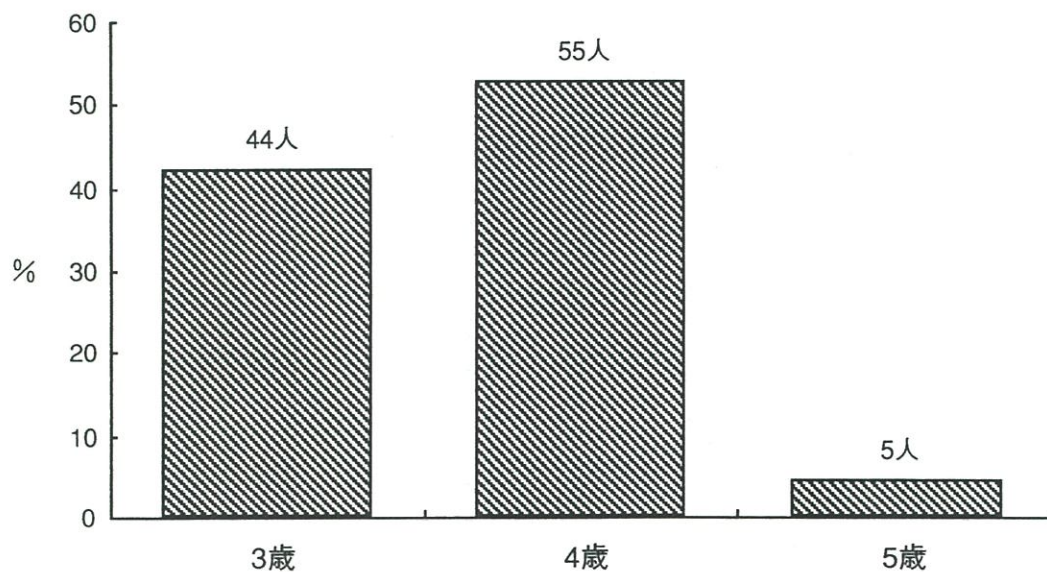


Q2. お子様は保育所または幼稚園に通園していますか。

1. 保育所に通園している
2. 幼稚園に通園している
3. 通園していないが、これから通園させたい（ 歳から）
4. ずっと通園させないつもりである
5. わからない／なんともいえない
6. その他

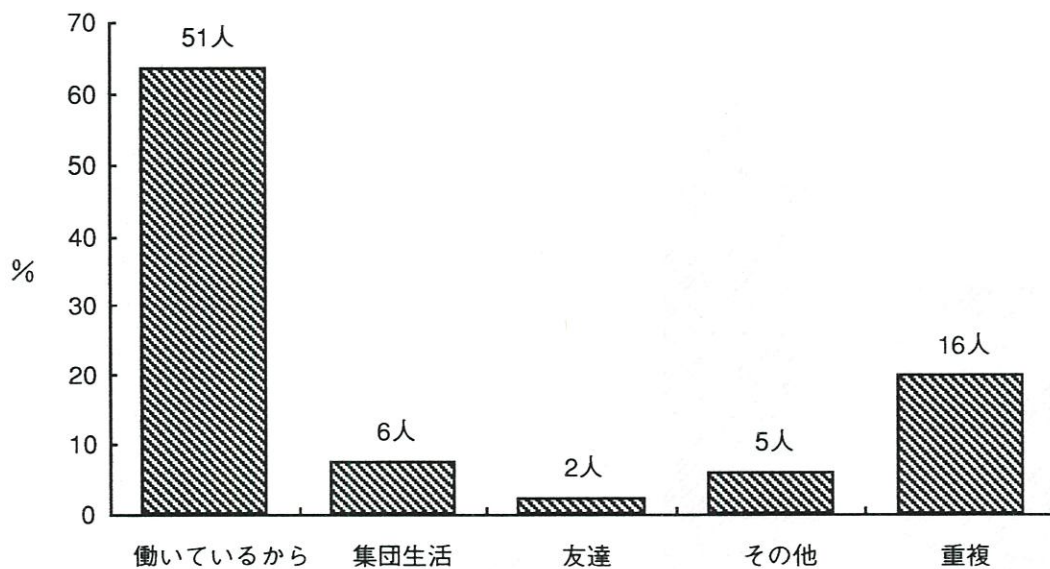


通園させたい年齢



Q3. (前問で1. または2. と答えた方のみ) お子様をあずけるようにした動機は何ですか。

1. 働いているから
2. 集団生活になれさせたかったから
3. 周囲に友達がいないから
4. その他

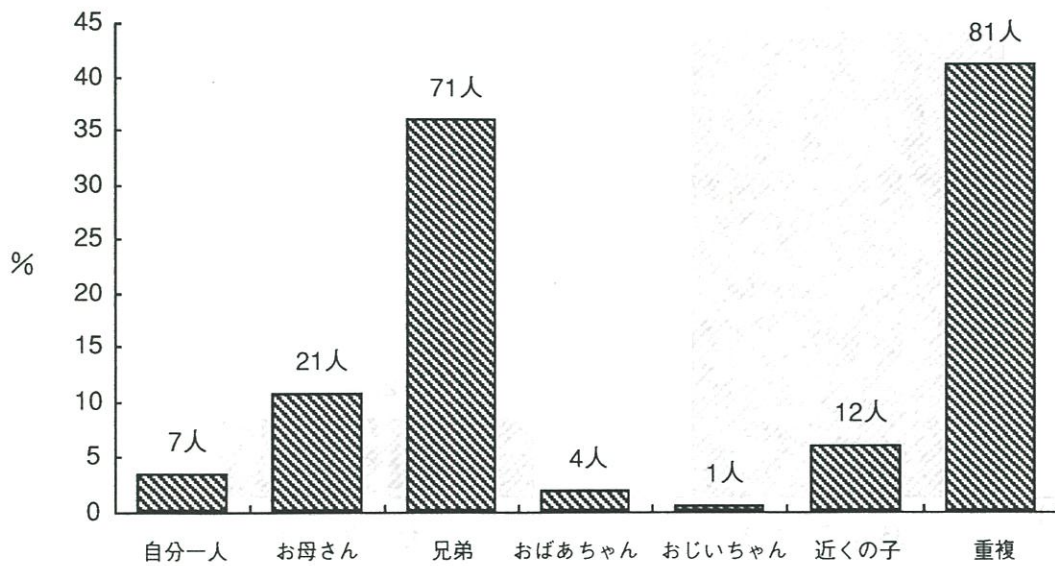


Q 4. お子様の遊びについてうかがいます。

(保育園にいらっしゃるお子様は、園以外の場合についてご記入下さい。)

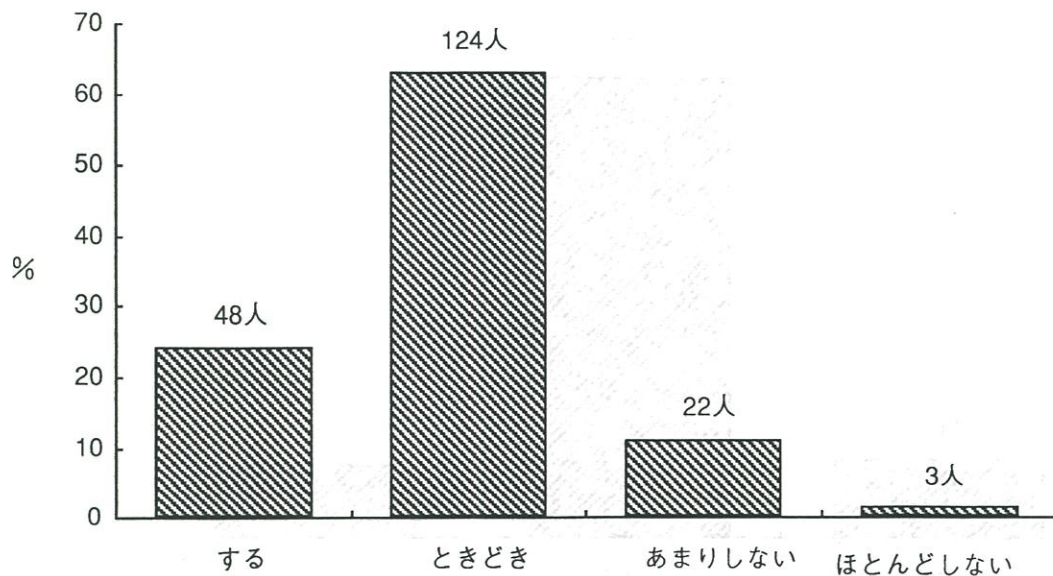
SQ1. 誰とよく遊びますか。

1. 自分一人で
2. お母さんと
3. お父さんと
4. 兄弟と
5. おばあちゃんと
6. おじいちゃんと
7. 近くの同年代の子供と
8. その他



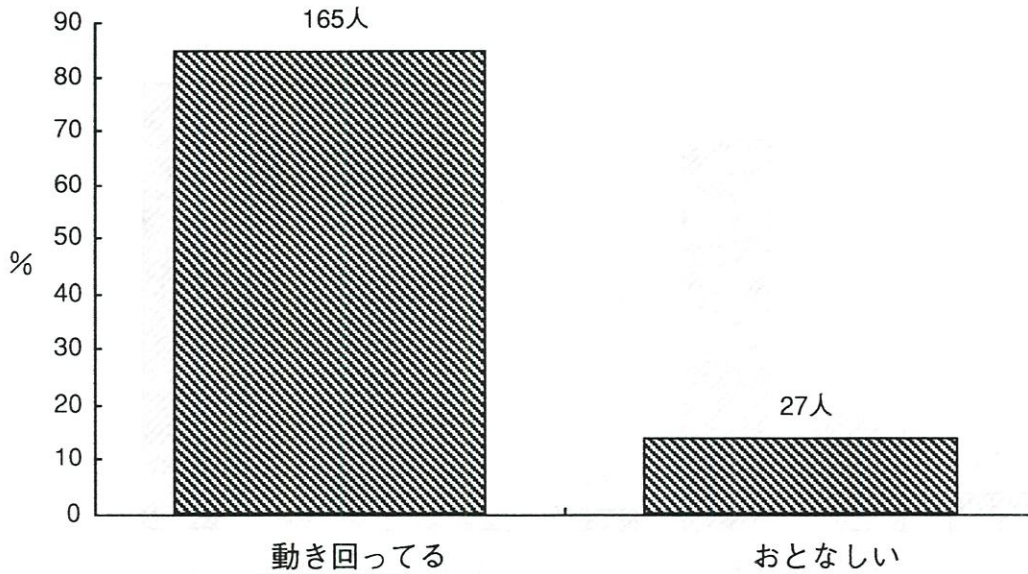
SQ2. お母様はお子様と一緒に戸外で遊んだり散歩したりしますか。

1. ほとんどする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. ほとんどしない



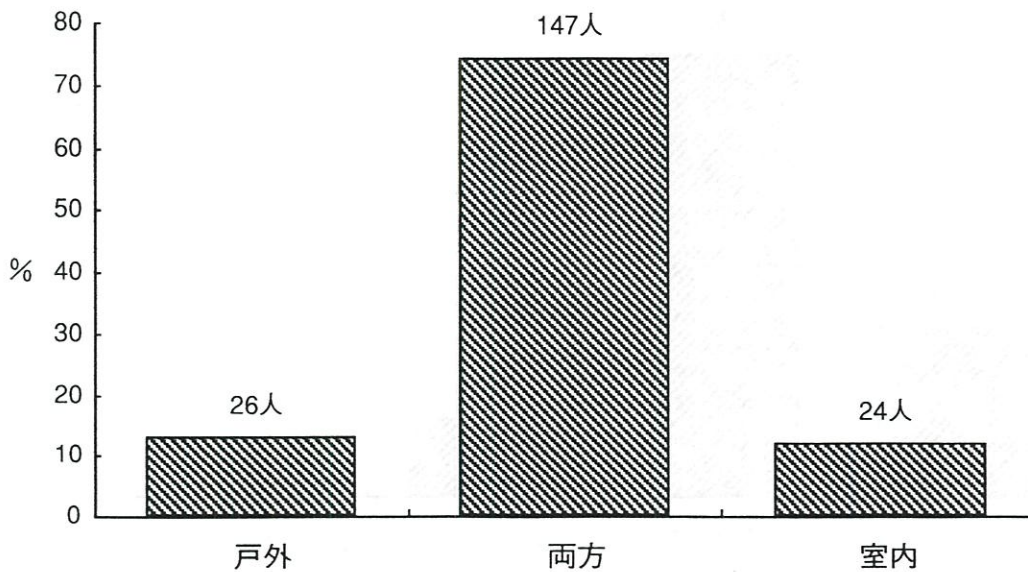
SQ3. お子様はふだん動き回っていることが多いですか、おとなしく遊んでいることが多いですか。

1. 動き回っていることが多い
2. おとなしく遊んでいることが多い



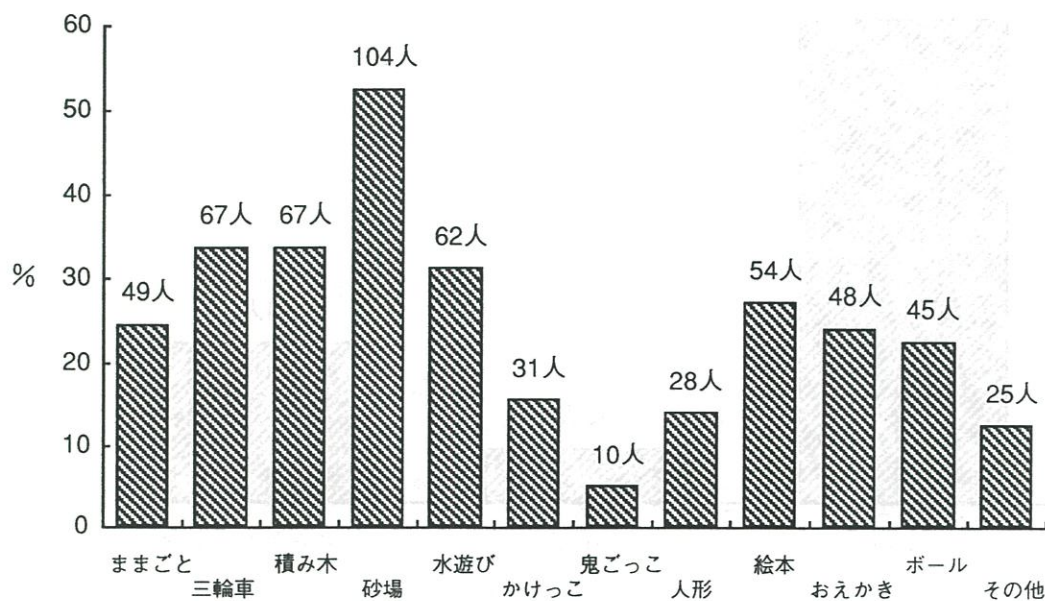
SQ4. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

1. 戸外で遊ぶことが多い
2. 戸外・室内両方であそぶ
3. 室内で遊ぶことが多い



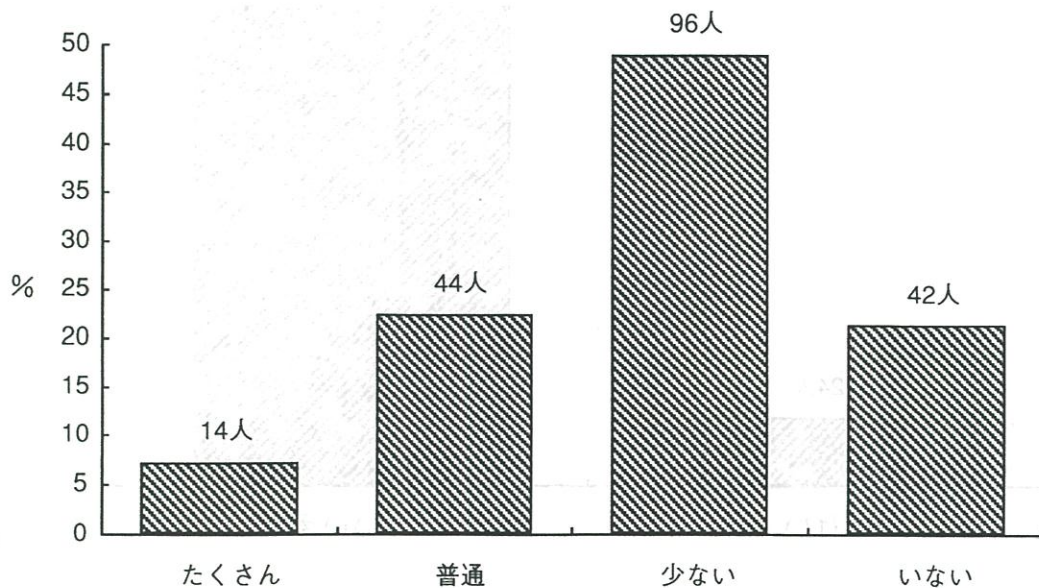
SQ5. どんな遊びが好きですか。よくするもの3つに○をつけて下さい。

1. ままごと 2. 三輪車 3. つみ木・ブロック 4. 砂場あそび
 5. 水遊び 6. かけっこ 7. 鬼ごっこ 8. お人形あそび
 9. 絵本 10. おえかき 11. ボール遊び 12. その他 ()



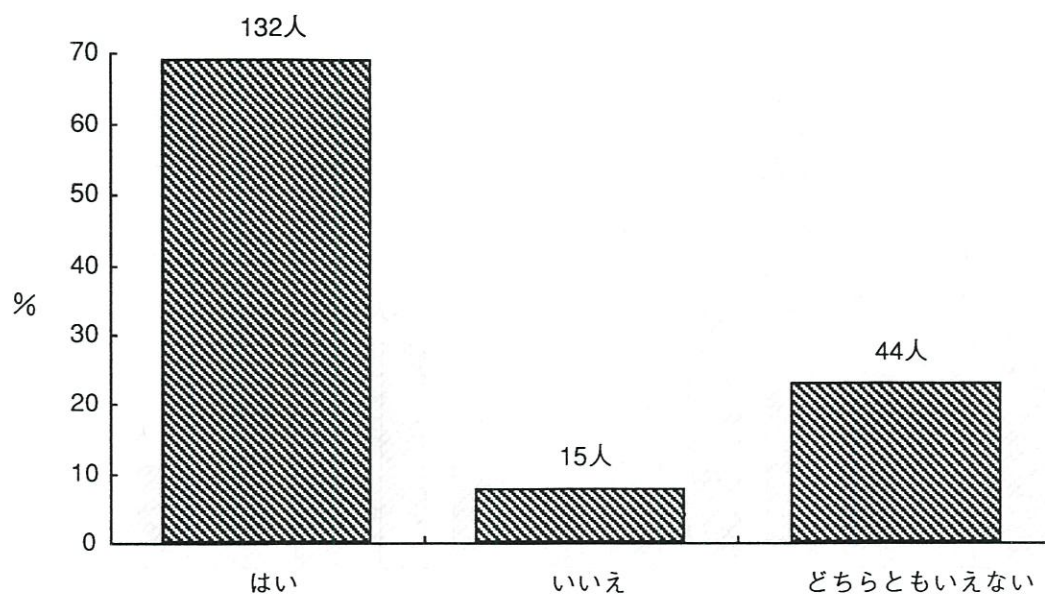
SQ6. 近所にお友達はいますか。

1. たくさんいる 2. ふつう
 3. 少ないほうである 4. まったくない



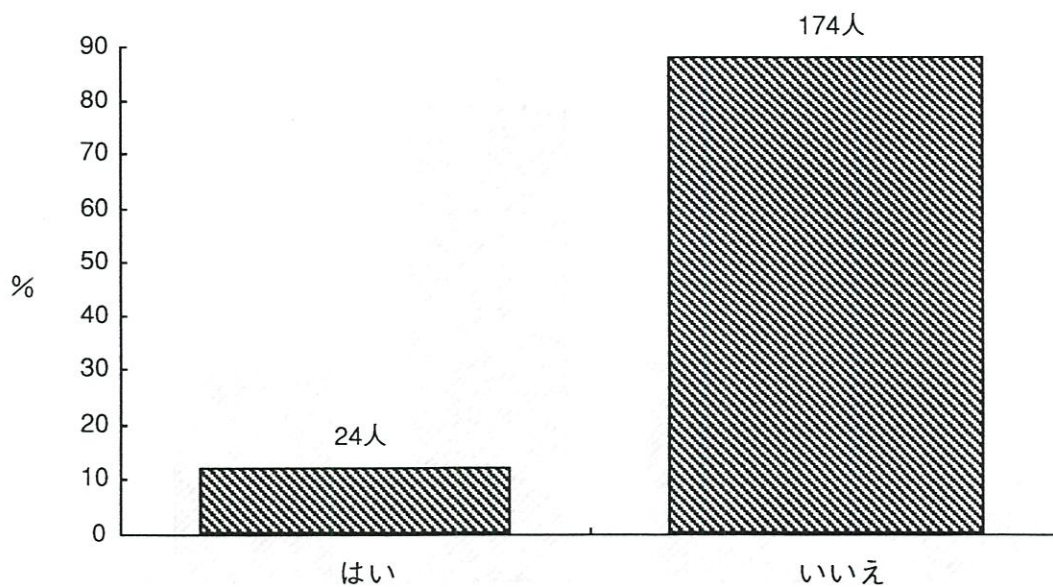
SQ7. お友達とよく遊べますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



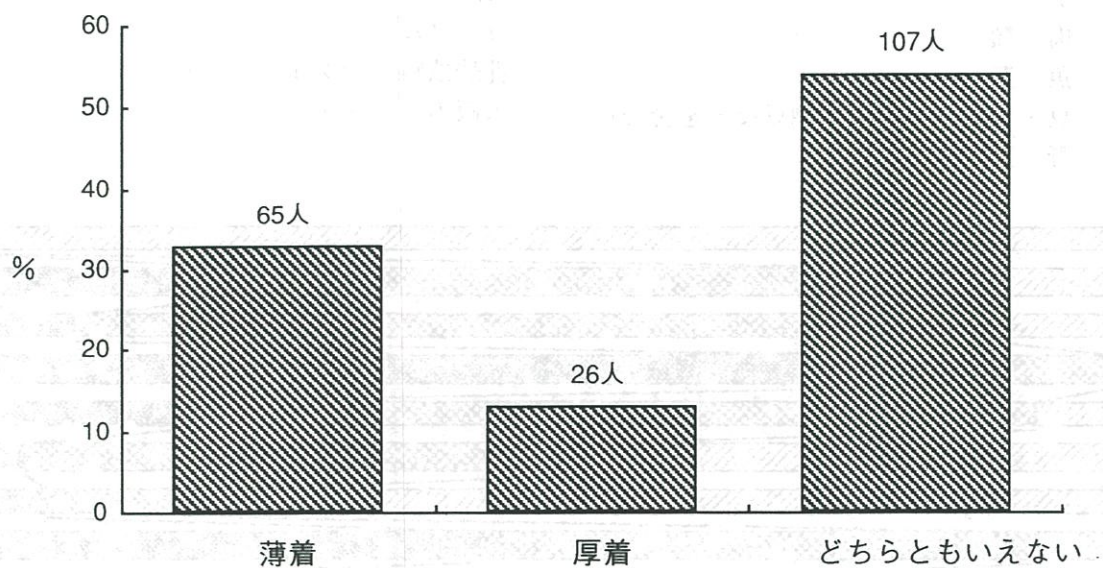
Q 5. お子様はこれまでに、医療機関にかかるほどのけが・事故にあったことがありますか。

1. はい
2. いいえ



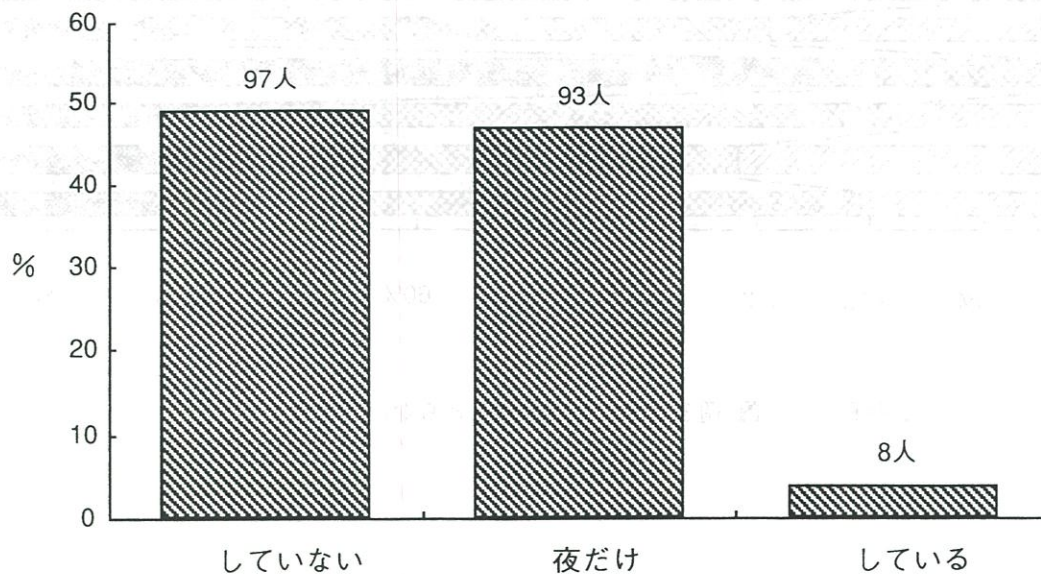
Q 6. お子様は冬は全体的に薄着ですか、厚着ですか。

1. 薄着 2. 厚着 3. どちらともいえない



Q 7. お子様のおむつについて該当するものに○印をつけて下さい。

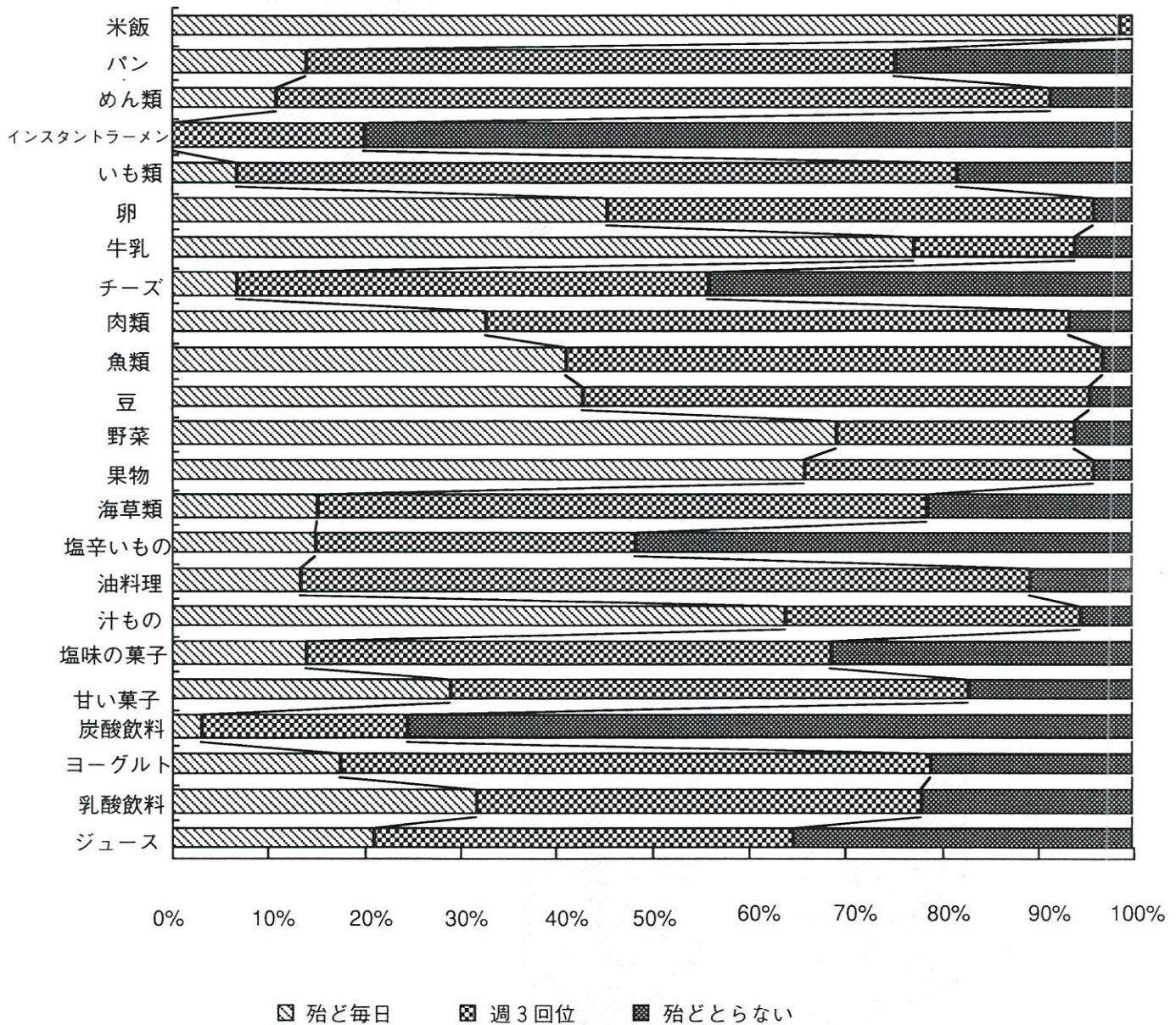
1. おむつはしていない
2. 夜だけおむつをしている
3. 昼・夜ともにおむつをしている



Q 8. お子様の食事について、該当する番号に○印をして下さい。

- 米 飯
- パ ン
- めん類
- インスタントラーメン
- いも類
- 卵
- 牛 乳
- チ ーズ
- 肉 類
- 魚 類
- 豆・大豆 (とうふ・納豆などを含む)
- 野 菜

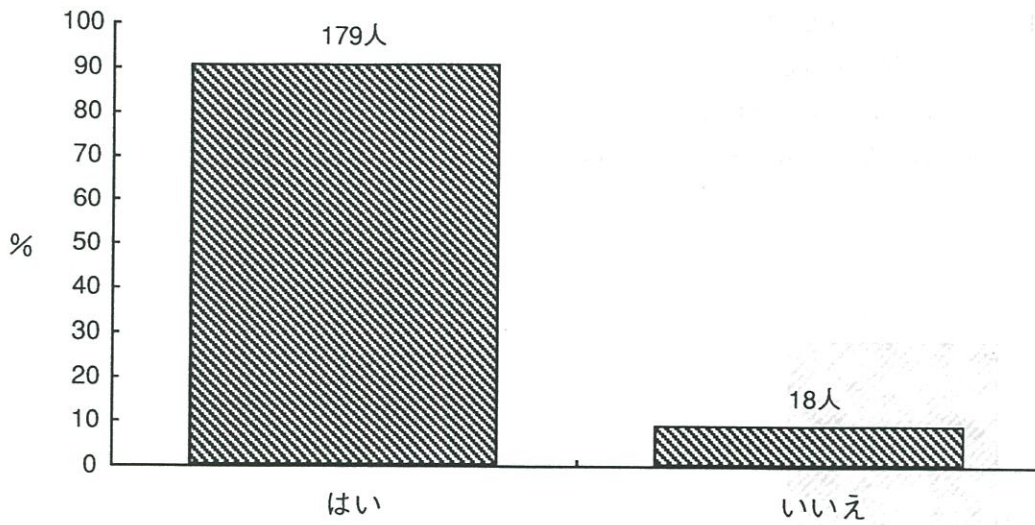
- 果 物
- 海草類
- 塩辛いもの(つくだに・漬け物等)
- 油料理 (フライ・油炒めなど)
- 汁もの (みそ汁・すましなど)
- 塩味の菓子 (ポテトチップなど)
- 甘い菓子 (砂糖を多く含むもの)
- 炭酸飲料 (コーラなど)
- ヨーグルト
- 乳酸飲料 (ヤクルトなど)
- 市販のジュース



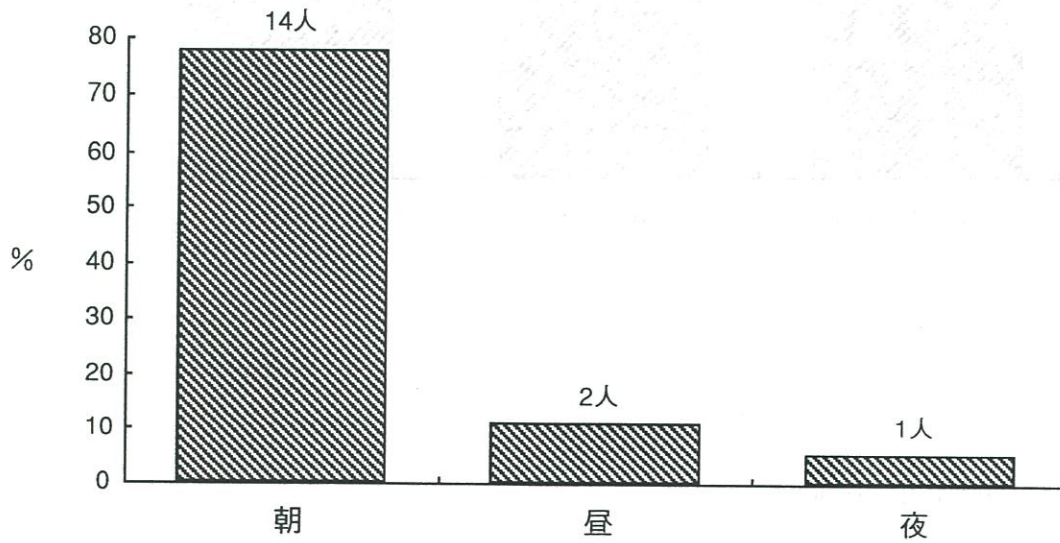
SQ1. 食事は一日に3回とっていますか。

1. はい

2. いいえ (いつ食べないことが多いですか：朝 昼 夜)



たべないとき

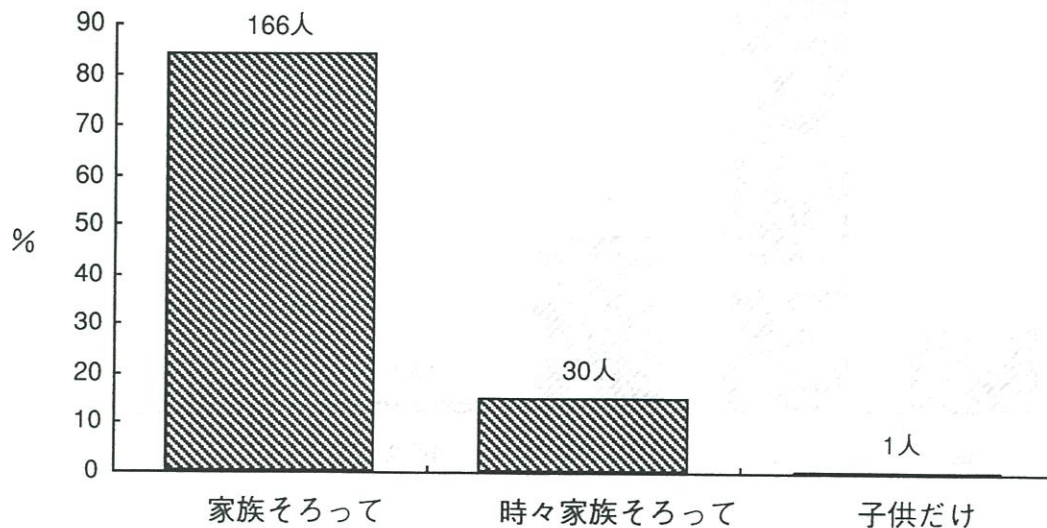


SQ2. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって

2. 時々家族そろって

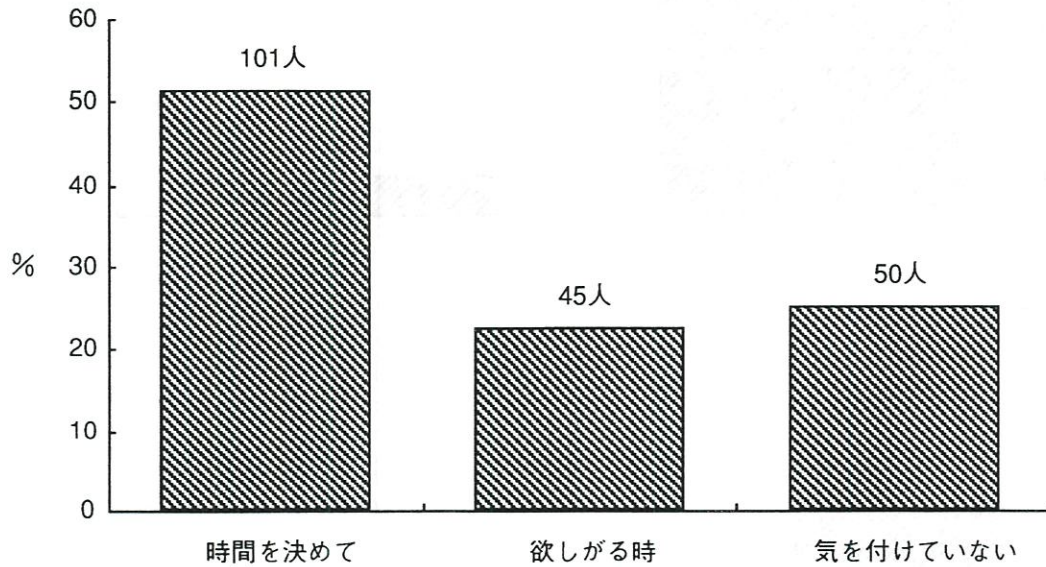
3. だいたい子供だけ



Q 9. お子様のおやつについてうかがいます。

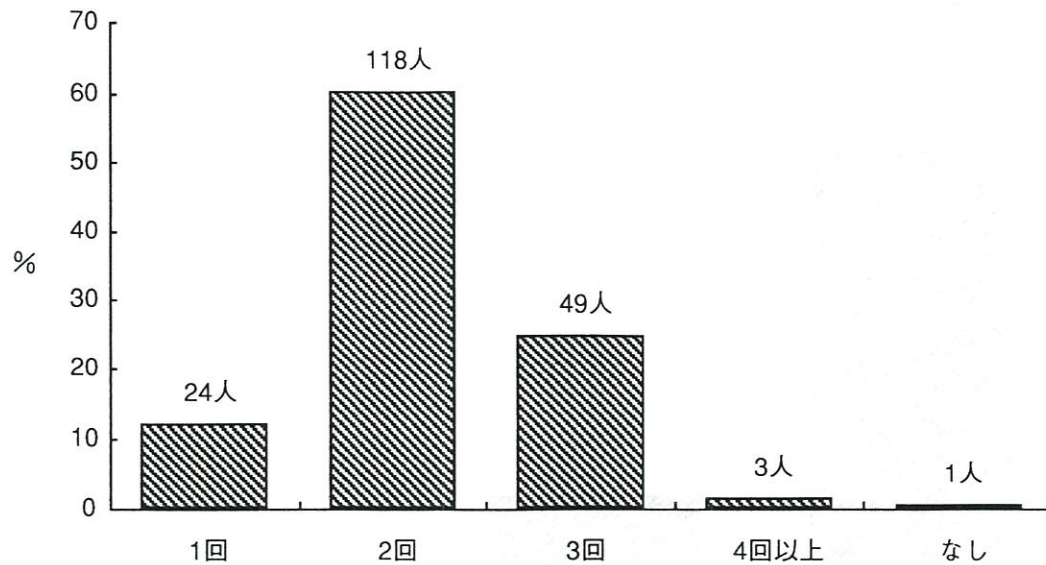
SQ1. おやつをどのようにして与えますか。

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



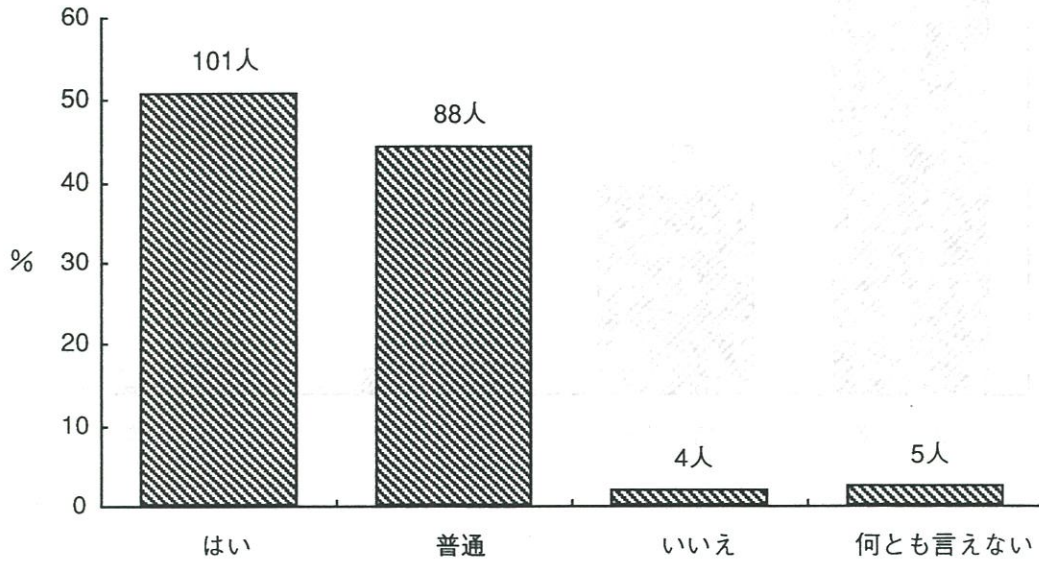
SQ2. おやつは1日何回ですか。

1. 1回
2. 2回
3. 3回
4. 4回以上
5. なし



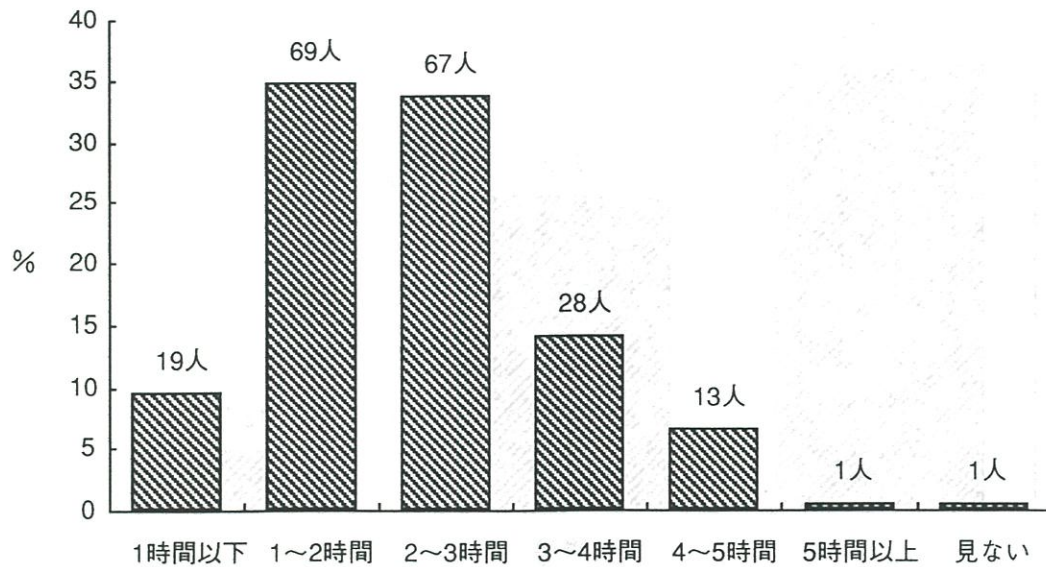
Q10. お子様はテレビを見るのが好きですか。

1. はい 2. 普通 3. いいえ 4. なんともいえない



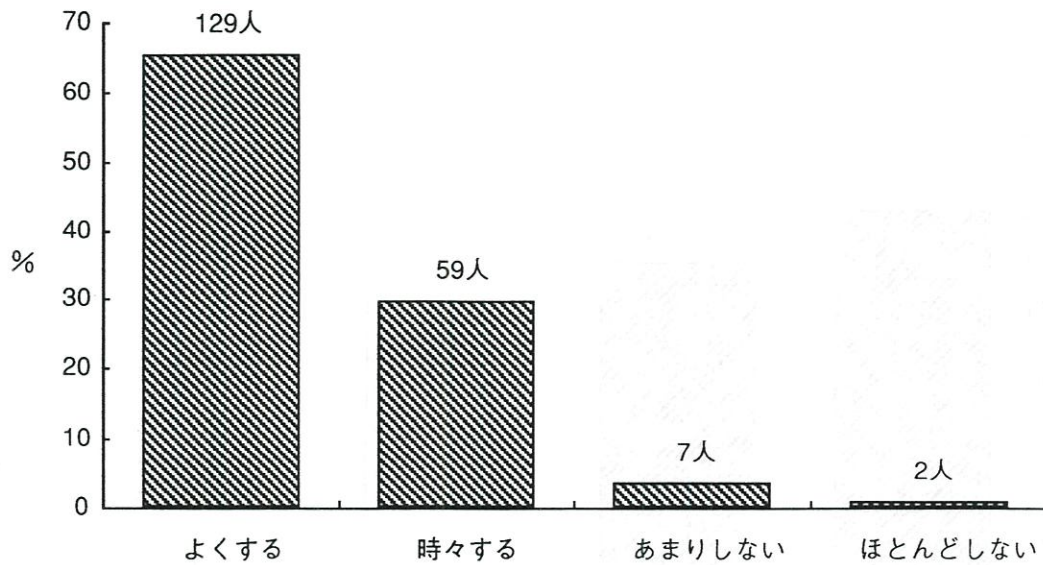
SQ1. 一日どのくらい見ますか。

1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 見ない



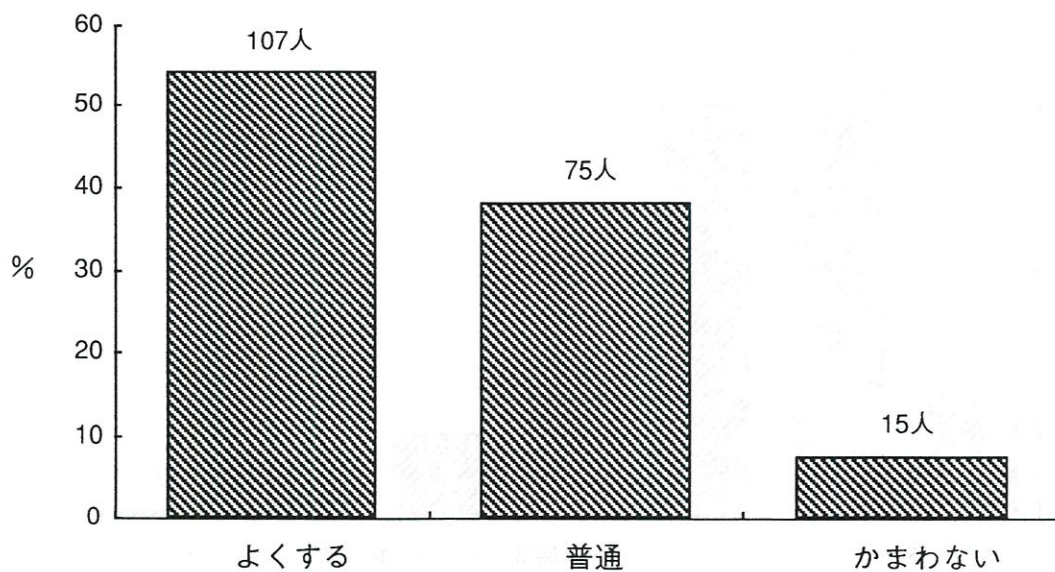
Q12. ご主人とお子様の事について話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない



Q13. ご主人はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである



Q14. お子様の日常生活の状況についてうかがいます。

SQ1. 日常のあいさつ

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ2. 排便・排尿

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ3. 手洗い

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ4. 食 事

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ5. 歯磨き

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ6. うがい

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ7. 衣服の着脱

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ8. 靴の着脱

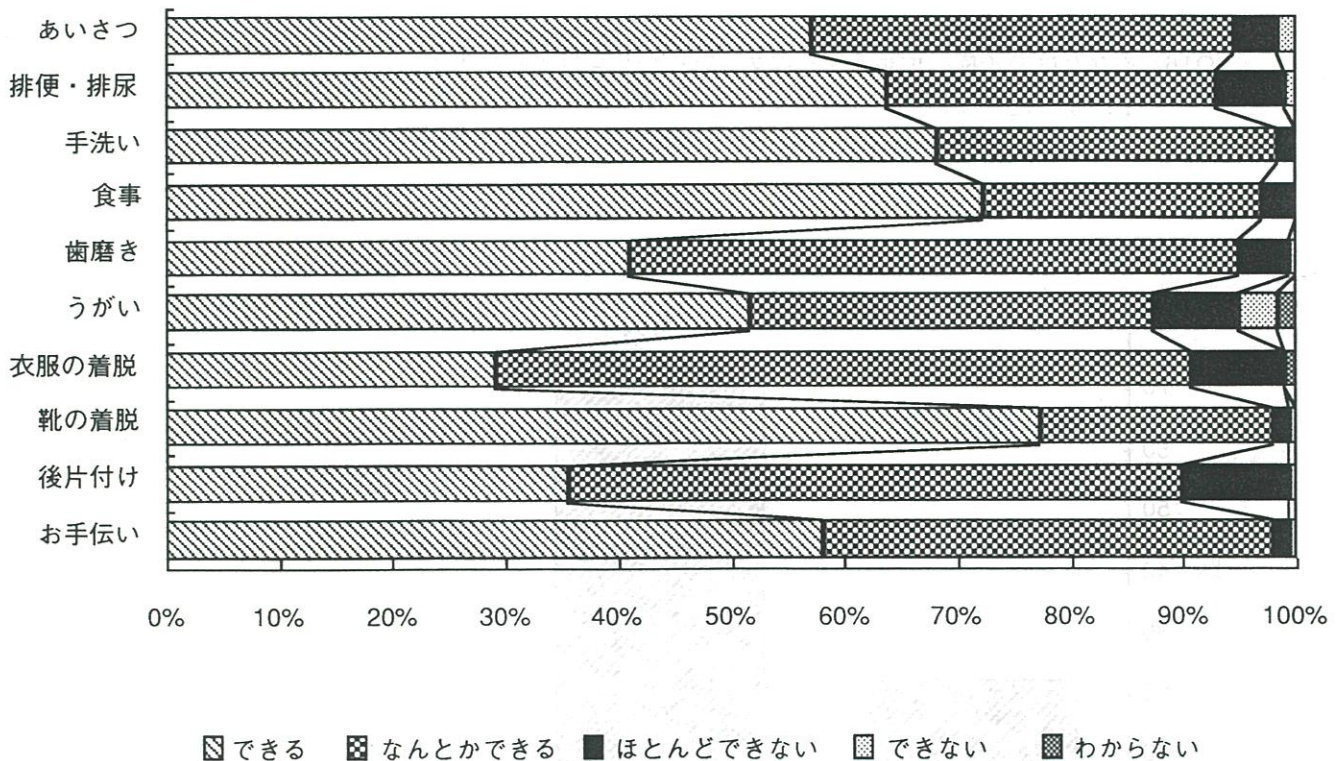
1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ9. 後片付け

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

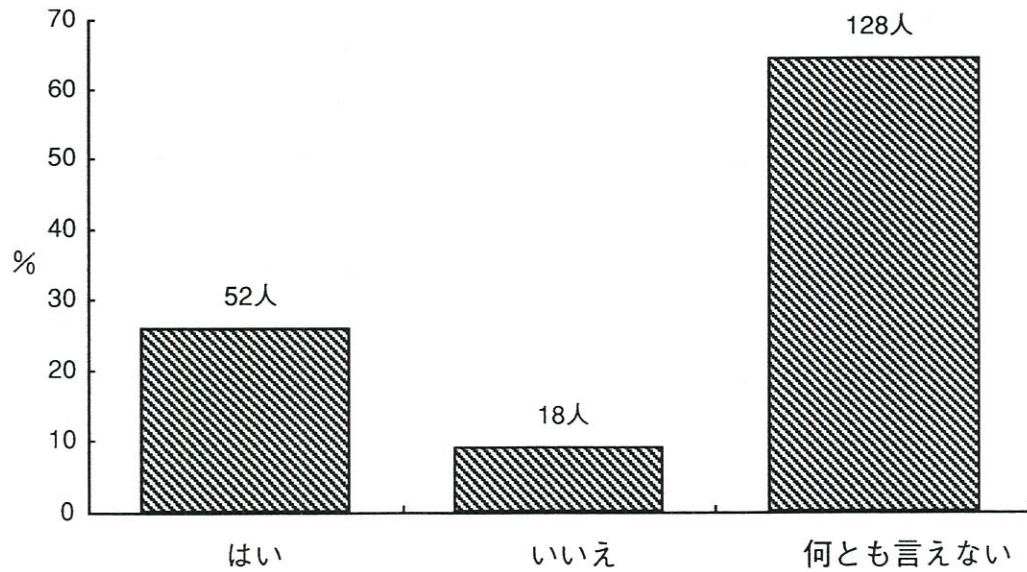
SQ10. 簡単なお手伝い

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない



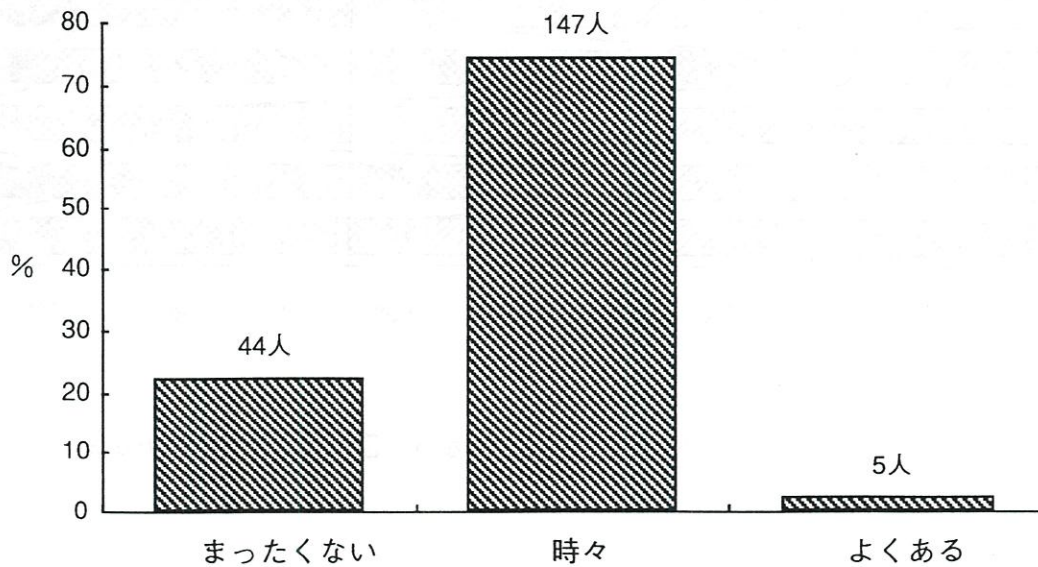
Q15. あなたはお子様とゆったりとした気分で接していますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない



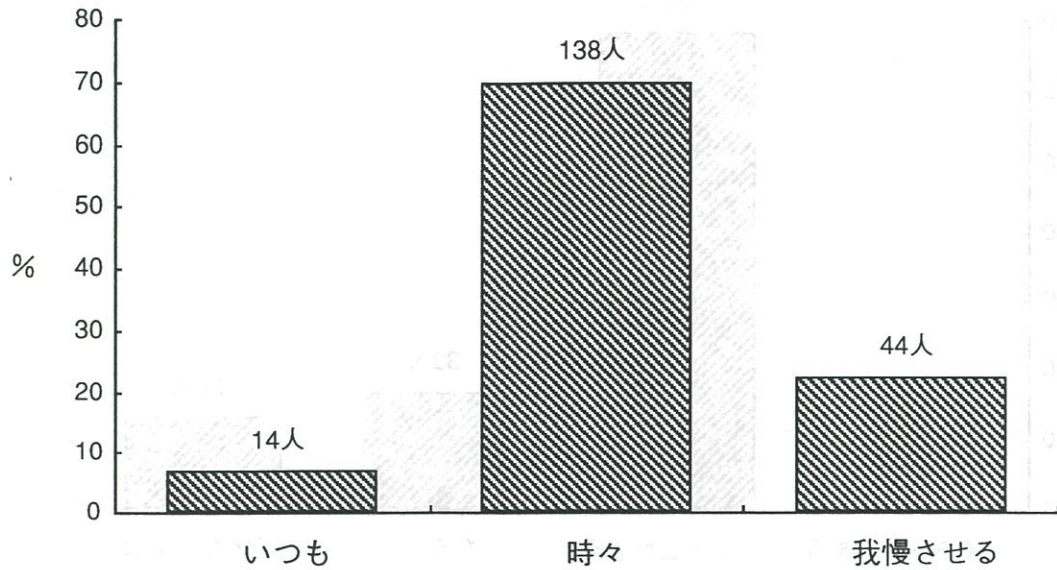
Q16. あなたはお子様の世話をするのが面倒に感じる日がありますか。

1. まったくない 2. 時々ある
3. よくある



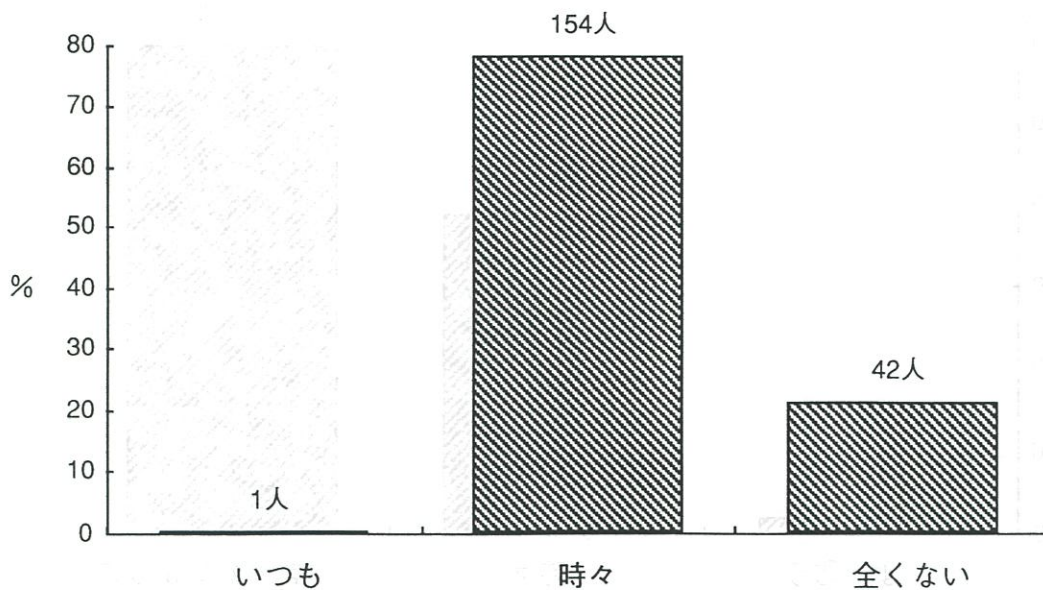
Q17. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。

1. いつも聞いてしまう
2. 時々聞く
3. なるべく我慢させる



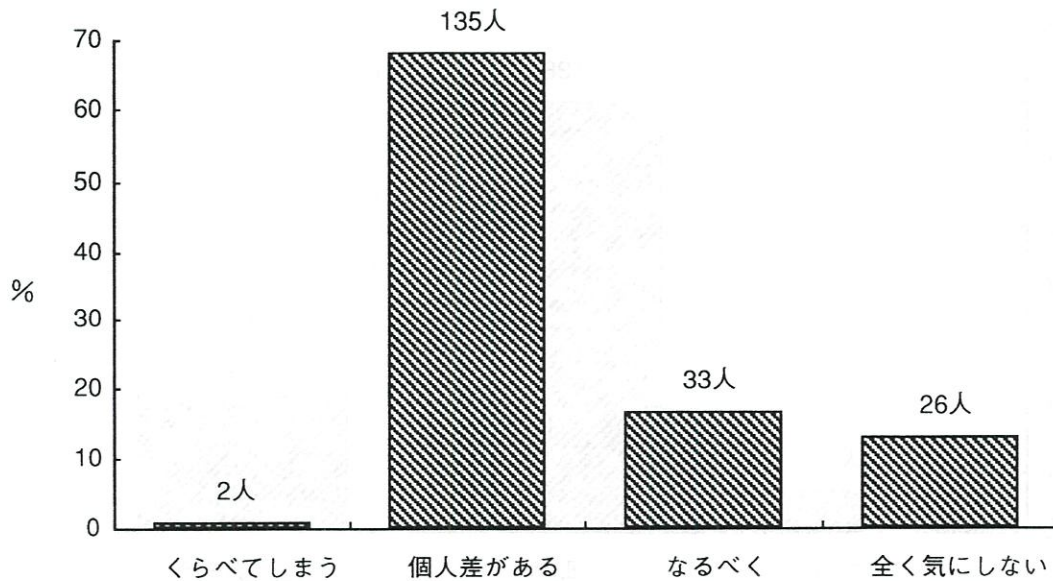
Q18. あなたはお子様がおかして欲しいのかがよく分るので要求がある前にやってしまうことが多いと思いますか。

1. いつもやってあげてしまう
2. 時々やってあげる
3. 全くない



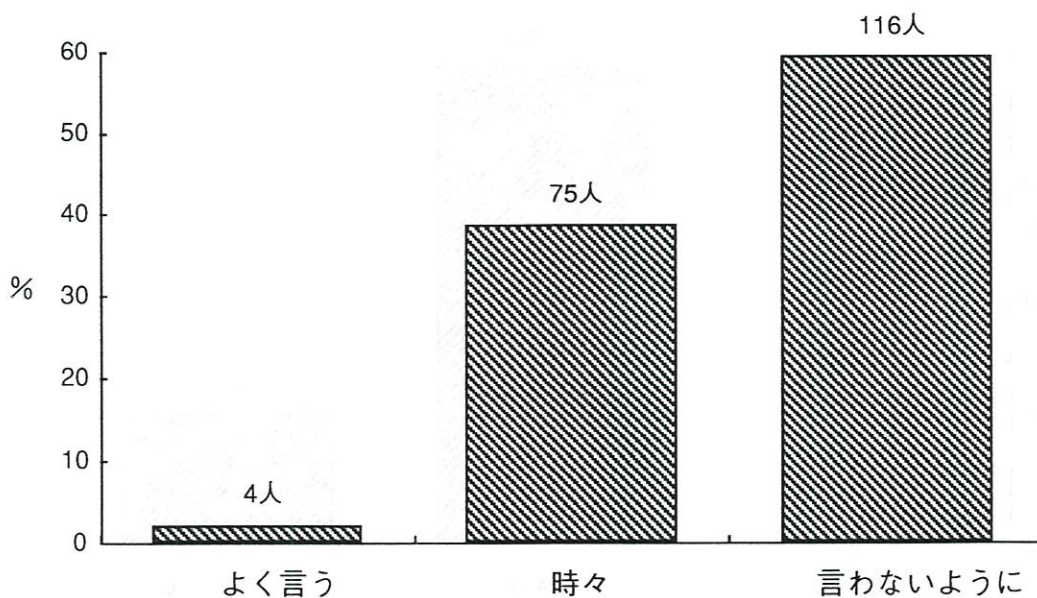
Q19. あなたはよその子のことをどのように思いますか。

1. 気になるのでいつもわが子とくらべてしまう
2. 気になるが個人差があると思っている
3. なるべく気にならないようにしている
4. 全く気にならない



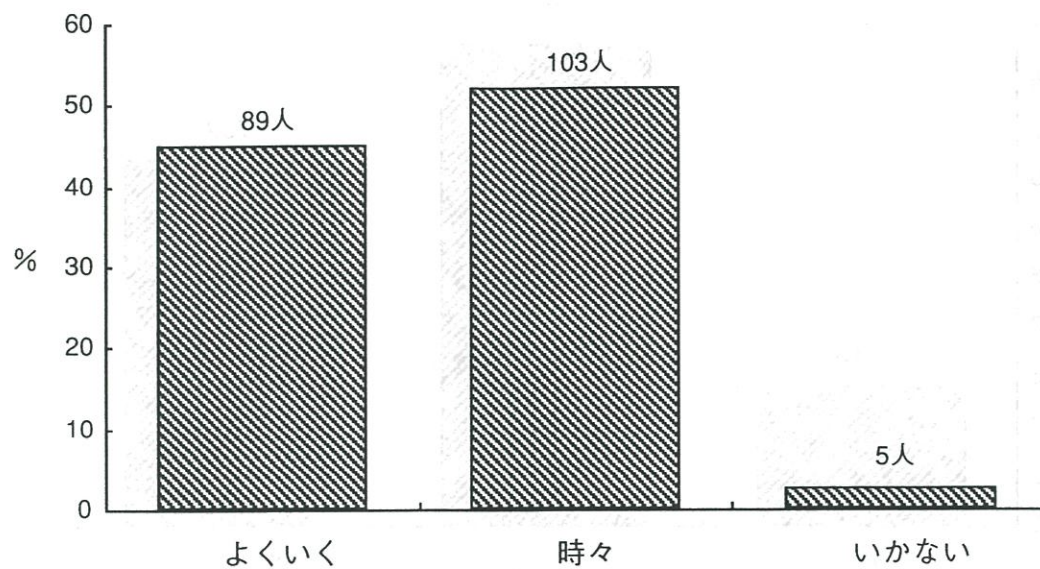
Q20. あなたはお子様のしつけをするとき、たとえば「そんなことをするとおかあさんはどこかにいってしまふ」「病気になるてしまふ」「よその子ととりかえてしまふ」等と言いがちですか。

1. よく言う
2. 時々言う
3. 言わないようにしている



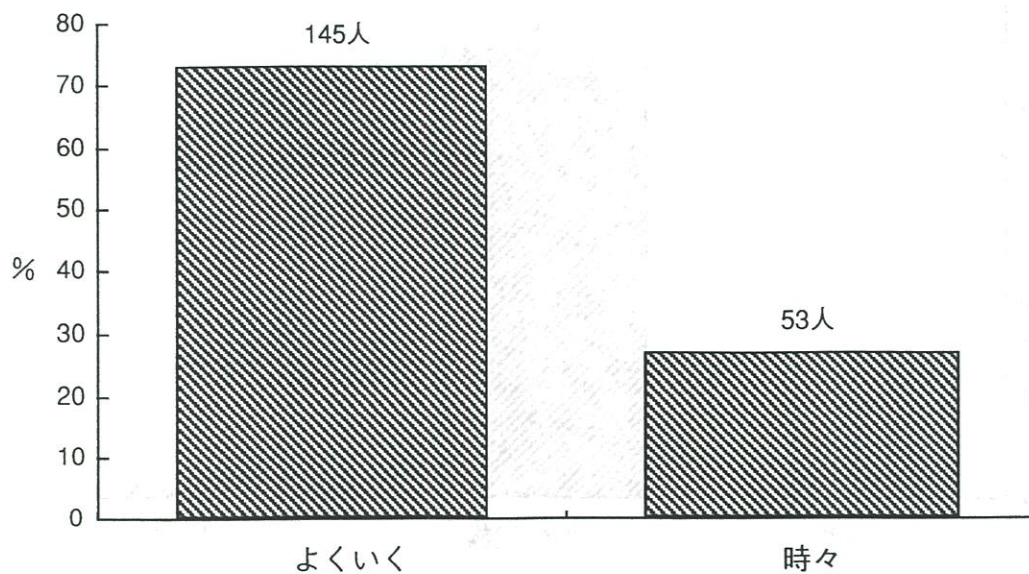
Q21. あなたはお子様を連れて、祖父母・親戚・友人等の所へ出かけますか。

1. よくいく 2. 時々いく 3. いかない



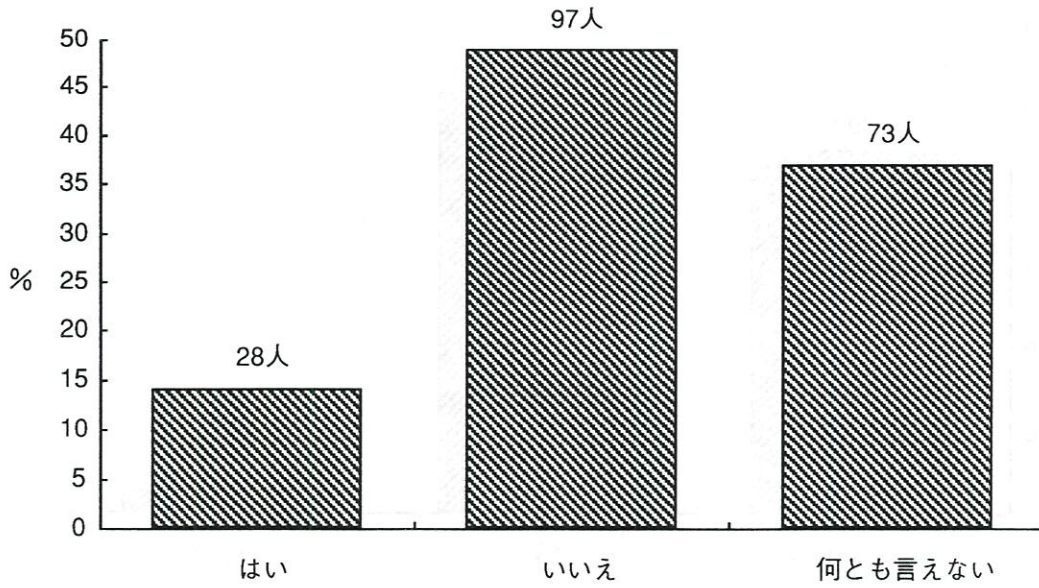
Q22. あなたはお子様を、買物や用たし等に連れていきますか。

1. よく連れていく 2. 時々連れていく 3. 連れていかない



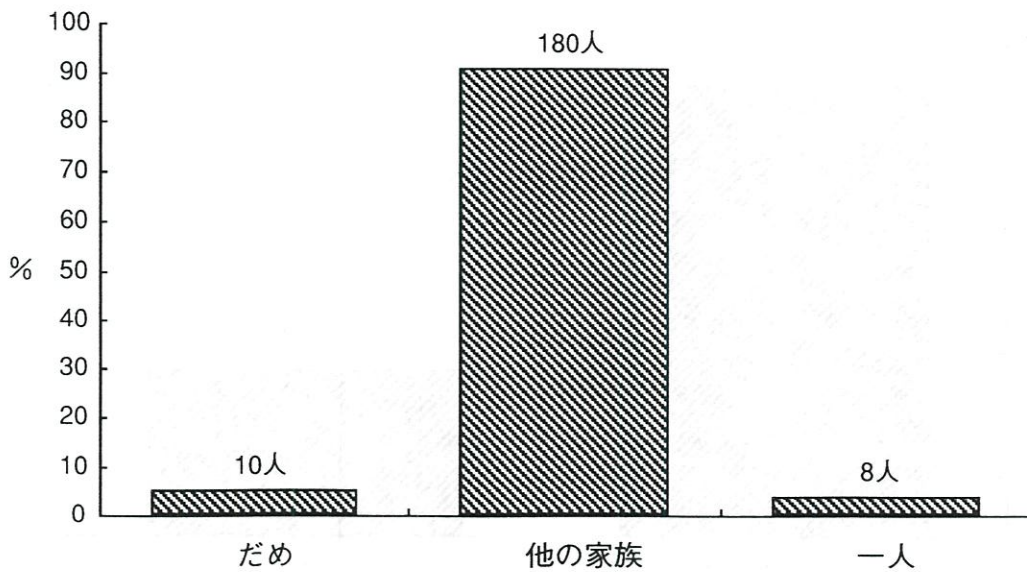
Q23. お子様はいつもあなたにベタベタとまとわりつき、離れないでいますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない



Q24. 長い時間（2時間以上）あなたがいなくてお子様はどうですか。

1. お母さんがいないとだめなほうだ
2. 他の家族がいれば平気
3. 1人でいても平気



IV. 調查票

IV-1. 母子健康手帳交付時調査票

* 母子健康手帳の交付を受けられる方へ

妊娠おめでとうございます。新しい生命の誕生をひかえ、期待に胸をふくらませていることと思います。

さて、塩山市（保健環境課）では皆様方が妊娠中の生活を健やかに送れますよう様々な方面から健康管理に努めておりますが、更により良い妊娠中の生活が送れ、より健やかなお子様のご誕生が迎えられるよう保健指導を行うためにアンケート調査を行うことになりました。このアンケートの結果は、山梨医科大学保健学Ⅱ教室の先生方の協力を得てまとめ皆様の妊娠中の健康管理に役立たせると共に、将来妊娠される方々の保健指導にも生かしていきたいと思っております。

記入された個々の内容に関しては、秘密が守られますので、ありのままにご記入下さい。

塩山市役所保健環境課

注：妊娠された本人以外の方が母子健康手帳を受け取る場合は、窓口の指示により本アンケート用紙を家庭に持ち帰り、かならず本人が記入したうえで早急に市役所まで届けて下さい。

（記入法）各質問に対し、該当する番号に○印や記入をして下さい。

氏 名

出産予定日

記入年月日

Q 1. あなたが従事している仕事を次の中からお選び下さい。

1. 自営業（農業含む） 2. 常 勤 3. パート・内職 4. 専業主婦
5. 学 生 6. その他（ ）

Q 2. 上の質問で1～3と答えた方は、主な仕事をこの中からひとつ選んでください。

- （自営・家族従業） 1. 農業・林業およびその家族従業者
2. 自由業・商工業・サービス業等個人経営者およびその家族従業者

- （勤 務） 3. 官公庁・大中企業等の課長以上の給与生活者
4. 事務職・専門職・サービス業の勤労者、公務員、教員など
5. 生産工程の勤労者・および運輸・労務・保安職業の勤労者
6. その他（ ）

Q 3. 現在の体調はいかがですか。

1. 心身ともに快調である 2. 体調がすくれない 3. 気分がすくれない
4. 心身共に余り調子が良くない 5. 特にどちらとも言えない

Q 4. 妊娠とわかった時の気持はどんなでしたか。

SQ1. あなた自身



1. うれしかった
2. なんとなく照れくさかった
3. 特に何とも感じなかった
4. 困ったと思った
5. その他 ()

SQ2. ご主人



1. 喜んだ
2. 照れくさそうだった
3. 特に何とも言わなかった
4. 困った様子だった
5. その他 ()

Q 5. 今回の妊娠は計画的な妊娠ですか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

Q 6. 健康のために妊娠中、どのような点に気をつければよいと思いますか。一番気をつけたいものに◎、二番目に気をつけたいものに○をつけてください。

1. 適度な運動をする
2. 塩分をひかえる
3. 体重増加に気をつける
4. タンパク質を多くとる
5. 野菜をもっと食べる
6. 牛乳を飲む
7. タバコをひかえる
8. お酒をひかえる
9. 睡眠時間を十分にとる
10. ストレスがたまらないようにする
11. その他 ()
12. とくにない

Q 7. あなたはタバコを吸いますか。

1. 吸う (一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸っている)
2. 妊娠する前からやめていた (以前一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸った)
3. 妊娠を契機にやめた (以前一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸った)
4. 以前から全く吸わない

Q 8. あなたはタバコの本数を減らしたいと思っていますか。

(タバコを吸う方のみお答えください)

1. いつも思っている
2. ときどき思う
3. 思わない

Q 9. あなたのご主人はタバコを吸いますか。

1. 吸う (一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸っている)
2. 妊娠する前からやめていた (以前一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸った)
3. 妊娠を契機にやめた (以前一日平均 ____ 本、今まで ____ 年間吸った)
4. 以前から全く吸わない

Q10. ご主人以外の同居のご家族の中で、喫煙されるかたはいますか。

1. いない
2. いる (だれ? :)

Q11. あなたはお酒を飲みますか。

1. 飲む (月平均 ____ 日、 ____ 年間飲んでいる)
2. 妊娠する前からやめていた (以前、月平均 ____ 日、 ____ 年間飲んでいて)
3. 妊娠を契機にやめた (以前、月平均 ____ 日、 ____ 年間飲んでいて)
4. 以前から全く飲まない

(次のQ12~Q13は、少しでもアルコールを飲む方はお答えください。)

Q12. 飲むお酒の種類は何ですか、一番多いものひとつに○をつけて、一回に飲むお酒の量を記入してください。

1. ビール (大びん ____ 本)
2. 日本酒 (____ 合)
3. ワイン (____ 合)
4. ウイスキー・ブランデー (水割り ____ 杯)
5. しょうちゅう (水割り等 ____ 杯)
6. その他 ()

Q13. あなたは、お酒をひかえたり、やめようと思っていますか。

1. いつも思っている
2. ときどき思う
3. 思わない

Q14. あなたの妊娠前の食事についてうかがいます。

SQ1. 栄養のバランスを考えていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

SQ2. カロリーをとりすぎないようにしていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

SQ3. 塩分はできるだけひかえめにしていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

SQ4. 動物性脂肪をできるだけひかえめにしていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

SQ5. 野菜をたべるようにしていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

SQ6. 無農薬・添加物など意識して食品を選んでいましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

SQ7. 朝食を食べていましたか。
 1. 毎日食べる 2. 週3～5回 3. 週1～2回 4. 食べない

SQ8. 間食の頻度はどれくらいでしたか。(夜食は含まない)
 1. 1日2回以上 2. 1日1回位 3. 週3～5回
 4. 週1～2回 5. それ以下の頻度

SQ9. 夜食の頻度はどれくらいでしたか。
 1. 毎日 2. 週3～5回 3. 週1～2回
 4. それ以下の頻度

Q15. 妊娠前、以下に挙げる食品について、普通一週間にどのくらい食べていたかお答えください。(該当する数字に○)

	殆ど毎日 食 べ る	週1～3 回食べる	殆 ど 食 べ ない
a. 米 飯	3	2	1
b. パ ン	3	2	1
c. めん類	3	2	1
d. 卵 類	3	2	1
e. 芋 類	3	2	1
f. 砂糖(コーヒー・紅茶等に入れるものを含む)	3	2	1
g. 油もの	3	2	1
h. 豆類(豆腐・納豆などを含む)	3	2	1
i. 果物類	3	2	1
j. 緑黄色野菜 (ピーマン・にんじん・かぼちゃなど)	3	2	1
k. 淡色野菜 (きゅうり・キャベツ・白菜など)	3	2	1
l. ドレッシング・マヨネーズ	3	2	1
m. 牛乳・乳製品	3	2	1
n. 海藻類	3	2	1
o. 肉 類	3	2	1
p. 魚介類	3	2	1
q. みそ汁	3	2	1
r. つけもの	3	2	1
s. 菓子類	3	2	1
t. 清涼飲料水	3	2	1

Q16. 妊娠を契機にあなたが食事について実行しはじめたことはありますか。
 1. あ る ()
 2. な い

Q17. コーヒー・紅茶・日本茶をどのくらい飲みますか。
 ()のなかにお答え下さい。
 1. 一日5杯以上 2. 一日4杯まで 3. 飲まない
 コーヒー() 紅 茶() 日本茶()

Q18. 妊娠前から服用していた薬があったら○をつけてください。
 1. 頭痛薬・鎮痛剤 2. 胃腸薬 3. ビタミン剤
 4. 便秘薬 5. その他()
 6. とくにない

Q19. あなたは中学・高校時代にクラブに入りスポーツをしていましたか。
 1. していた(何に? :)
 2. していなかった

Q20. 妊娠前、あなたは一日に戸外をどのくらい歩きましたか。
 (平日についてお答えください)
 1. ほとんど歩かない 2. 15分未満 3. 15分～30分未満
 4. 30分～1時間未満 5. 1時間～2時間未満 6. 2時間以上

Q21. 妊娠前、あなたは、スポーツ(野球・バレーボール・ソフト・卓球・水泳・ゴルフ・その他)をどれくらいやっていましたか。
 1. 週5回以上 2. 週2～4回 3. 週1回
 4. 月1～2回 5. それ以下の頻度 4. 全くやらない

Q22. 妊娠前、あなたは、スポーツ以外にどのような趣味をもっていましたか、いくつでも○をつけてください。
 1. 生花 2. 茶道 3. 手芸 4. 編み物 5. 書道
 6. 民謡 7. 読書 8. 音楽 9. 映画・ビデオ鑑賞
 10. ドライブ 11. 美術 12. 料理・菓子作り 13. その他()

Q23. 妊娠前、あなたは運動不足だと思っていましたか。
 1. 運動不足であった 2. 少し運動不足であった
 3. まあ運動している方であった 4. よく運動していた

Q24. 妊娠前のあなたの平日（土、日を除く）の起床・就寝についてうかがいます。

1. 朝、平均して何時ごろ起きますか（ ）時（ ）分ころ
2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか（ ）時（ ）分ころ
3. 平均して何時間寝ますか（ ）時間位

Q25. ストレスを感じたことがありますか。

1. いつも感じていた
2. 時々感じていた
3. ほとんど感じなかった

Q26. どういう時にイライラしたりストレスを感じますか、一番多いものに◎、二番目に多いものに○をつけてください。

1. 家庭での人間関係
2. 職場での人間関係
3. 仕事の内容・地位など
4. 隣近所との人間関係
5. 収入
6. 住居とそのまわりの環境
7. 自分自身の健康問題
8. 家族・知人の健康問題
9. 自分自身の生き方・将来のこと
10. 世の中のできごと
11. その他（ ）

Q27. あなたは、むしゃくしゃしたりイライラしたときに、どういう方法で気分転換していますか、3つ○をつけてください。

1. 酒をのむ
2. 食べる
3. 買物をする
4. 趣味やスポーツにうちこむ
5. 寝る
6. 人に話を聞いてもらう
7. 人や物にあたりちらす
8. ドライブ
9. じっと耐える
10. TV・ラジオ・ビデオ
11. カラオケ
12. その他（ ）

Q28. 近所つきあいはどのようにしていますか。

1. ほとんどしない
2. 普通程度にする
3. 積極的にする
4. 何ともいえない

Q29. あなた方御夫婦、あなたの御両親、ご主人の御両親の中に血圧の高い方はいますか。

1. いない
2. いる（該当する人に○をつけてください）
本人 夫 実父 実母 義父 義母
本人のきょうたい 夫のきょうたい

以上です。ご協力ありがとうございました。

＊ 1歳6カ月児健康診査に来られるお母様方へ

お子様も1歳半を迎えられ、健やかに成長されていることと思います。赤ちゃんの時代から幼児の世界に入って、お母様自身も子供への夢や期待にさぞ胸をふくらませておられることと思います。

さて当塩山市（保健環境課）では、お子様が心身ともに健やかに成長できますよう、様々な方面から健康管理に努めておりますが、今後さらに健やかに成長されますようお母様方といっしょに考えてゆくために、1歳6カ月児に関するアンケート調査を行うことになりました。このアンケートの結果は山梨医科大学保健学Ⅱ教室の先生方の協力を得てまとめ、お子様のこれからの健康管理に役立つ大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、ありのままにご回答ください。

塩山市役所保健環境課

◎ 本調査票は、お母様ご自身で記入の上健康診査票と一緒にご持参下さい。

（記入法）各質問の該当する番号に○印や記入をして下さい。

記入年月日→（ ）年（ ）月（ ）日

お子様のお名前（ ）生年月日（ 年 月 日生）

— Q1～Q2については、1才6カ月児健診を受けるお子様の妊娠中のことについてうかがいます。記憶の範囲でお答えください。 —

Q1. 妊娠中に何か病気にかかりましたか。

1. いいえ

2. はい（なに？ ）

Q2. 産後のひたちはいかかでしたか？

1. 順調だった

2. やや不調だった

3. 不調だった

4. その他（ ）

IV-2. 1歳6カ月児健診時調査票

Q 3. あなたは育児のことで現在悩んでいることがありますか。

1. ある 2. ない

↓

- ①発育・発達のこと ②性格のこと ③病気・事故のこと ④食事のこと
⑤睡眠のこと ⑥お友達のこと ⑦保育園・幼稚園の入園について
⑧しつけについて ⑨祖父母との育児方針 ⑩その他 ()

Q 4. お母様は現在お勤めをしていますか。

1. いいえ 2. はい(常勤) 3. はい(パート)

→2. または3. の方→1日()時間 週()日

Q 5. お子様は保育所に通園していますか。

1. 通園している 2. 通園していない

Q 6. (前問で1. と答えた方のみ) お子様をあずけるようにした動機は何ですか。

1. 働いているから
2. 集団生活になれさせなかったから
3. 周囲に友達がいないから
4. その他 ()

Q 7. お子様の遊びについてうかがいます。

(保育園にいらっしゃるお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

SQ1. 誰とよく遊びますか。

1. 自分一人で 2. お母さんと 3. お父さんと 4. 兄弟と
5. おばあちゃんと 6. おじいちゃんと 7. 近くの同年代の子供と
8. その他 ()

SQ2. お母様はお子様と一緒に戸外で遊んだり散歩したりしますか。

1. ほとんどする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. ほとんどしない

SQ3. お子様はふだん動き回っていることが多いですか、おとなしく遊んでいることが多いですか。

1. 動き回っていることが多い 2. おとなしく遊んでいることが多い

SQ4. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

1. 戸外で遊ぶことが多い
2. 戸外・室内両方であそぶ
3. 室内で遊ぶことが多い

Q 8. お子様をおんぶしたり、だっこしたりしますか。

SQ1. おんぶ

1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない
4. ほとんどしない

SQ2. だっこ

1. よくする 2. 時々する 3. あまりしない
4. ほとんどしない

Q 9. (祖父母と同居の方のみお答え下さい。)

お子様は、「おばあちゃん子(またはおじいちゃん子)」ですか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

Q10. (お子様のための)かかりつけのお医者さんがいますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない/わからない

Q11. お子様は、現在どんなおむつをつけていますか。

1. 布おむつのみ
2. 紙おむつのみ
3. 日中は布おむつ、夜間・外出時は紙おむつというように両方使い分けている
4. 特にどちらとも決めていない
5. その他 ()

Q12. お子様の食事について、該当する番号に○印をして下さい。

	ほとんど 毎日	週 に 3回位	ほとんど とらない
米 飯	3	2	1
パ ン	3	2	1
めん類	3	2	1
インスタントラーメン	3	2	1
いも類	3	2	1
卵	3	2	1
牛 乳	3	2	1
チ ーズ	3	2	1
肉 類	3	2	1
魚 類	3	2	1
豆・大豆(とうふ・納豆などを含む)	3	2	1
野 菜	3	2	1
果 物	3	2	1
海藻類	3	2	1
塩からいもの(つくだに・漬け物等)	3	2	1
油料理(フライ・油炒めなど)	3	2	1
汁もの(みそ汁・すましなど)	3	2	1
塩味の菓子(ポテトチップなど)	3	2	1
甘い菓子(砂糖を多く含むもの)	3	2	1
炭酸飲料(コーラなど)	3	2	1
ヨーグルト	3	2	1
乳酸飲料(ヤクルトなど)	3	2	1
市販のジュース	3	2	1
粉ミルク	3	2	1

Q13. お子様のおやつについてうかがいます。

SQ1. おやつをどのようにして与えますか。

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない

SQ2. おやつは1日何回ですか。

1. 1回
2. 2回
3. 3回
4. 4回以上
5. なし

Q14. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

1. 朝、平均して何時ごろ起きますか ()時()分ころ
2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか ()時()分ころ
3. 昼寝を始める時間は何時ですか ()時()分ころ
4. 昼寝は一日どのくらいしますか ()時間位
5. 夜、誰と一緒に寝ますか(誰:)

Q15. ご主人とお子様のことについて話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない

Q16. ご主人はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである

以上です。ご協力ありがとうございました。

Q 3. (前問で1. または2. と答えた方のみ) お子様をあずけるようにした動機は何ですか。

1. 働いているから
2. 集団生活になれさせなかったから
3. 周囲に友達がいないから
4. その他 ()

Q 4. お子様の遊びについてうかがいます。

(保育園にいらっしゃるお子様は、園以外の場合についてご記入下さい。)

SQ1. 誰とよく遊びますか。

1. 自分一人で
2. お母さんと
3. お父さんと
4. 兄弟と
5. おばあちゃんと
6. おじいちゃんと
7. 近くの同年代の子供と
8. その他 ()

SQ2. お母様はお子様と一緒に戸外で遊んだり散歩したりしますか。

1. ほとんどする
2. ときどきする
3. あまりしない
4. ほとんどしない

SQ3. お子様はふたん動き回っていることが多いですか、おとなしく遊んでいることが多いですか。

1. 動き回っていることが多い
2. おとなしく遊んでいることが多い

SQ4. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

1. 戸外で遊ぶことが多い
2. 戸外・室内両方であそぶ
3. 室内で遊ぶことが多い

SQ5. どんな遊びが好きですか。よくするもの3つに○をつけて下さい。

1. ままごと
2. 三輪車
3. つみ木・ブロック
4. 砂場あそび
5. 水遊び
6. かけっこ
7. 鬼ごっこ
8. お人形あそび
9. 絵本
10. おえかき
11. ボール遊び
12. その他 ()

SQ6. 近所にお友達はいますか。

1. たくさんいる
2. ふつう
3. 少ないほうである
4. まったくいない

SQ7. お友達とよく遊べますか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

Q 5. お子様はこれまでに、医療機関にかかるほどのけが・事故にあったことがありますか。

1. はい (どんなけが・事故? _____)
2. いいえ

Q 6. お子様は冬は全体的に薄着ですか、厚着ですか。

1. 薄着
2. 厚着
3. どちらともいえない

Q 7. お子様のおむつについて該当するものに○印をつけて下さい。

1. おむつはしていない
2. 夜だけおむつをしている
3. 昼・夜ともにおむつをしている

Q 8. お子様の食事について、該当する番号に○印をして下さい。

	ほとんど 毎 日	週 に 3 回 位	ほとんど とらない
米 飯	3	2	1
パ ン	3	2	1
めん類	3	2	1
インスタントラーメン	3	2	1
いも類	3	2	1
卵	3	2	1
牛 乳	3	2	1
チーヅ	3	2	1
肉 類	3	2	1
魚 類	3	2	1
豆・大豆(とうふ・納豆などを含む)	3	2	1
野 菜	3	2	1
果 物	3	2	1
海藻類	3	2	1
塩からいもの(つくだに・漬け物等)	3	2	1
油料理(フライ・油炒めなど)	3	2	1
汁もの(みそ汁・すましなど)	3	2	1
塩味の菓子(ポテトチップなど)	3	2	1
甘い菓子(砂糖を多く含むもの)	3	2	1
炭酸飲料(コーラなど)	3	2	1
ヨーグルト	3	2	1
乳酸飲料(ヤクルトなど)	3	2	1
市販のジュース	3	2	1

SQ1. 食事は一日に3回とっていますか。

1. は い
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか：朝 昼 夜)

SQ2. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子供だけ

Q 9. お子様のおやつについてうかがいます。

SQ1. おやつをどのようにして与えますか。

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない

SQ2. おやつは1日何回ですか。

1. 1回
2. 2回
3. 3回
4. 4回以上
5. なし

Q10. お子様はテレビを見るのが好きですか。

1. はい
2. 普通
3. いいえ
4. なんともいえない

SQ1. 一日どのくらい見ますか。

1. 1時間以下
2. 1～2時間
3. 2～3時間
4. 3～4時間
5. 4～5時間
6. 5時間以上
7. 見ない

Q11. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分ころ
2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分ころ
3. 昼寝を始める時間は何時ですか () 時 () 分ころ
4. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位
5. 夜、誰と一緒に寝ますか(誰：)

Q12. ご主人とお子様の事について話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない

Q13. ご主人はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである

Q14. お子様の日常生活の状況についてうかがいます。

SQ1. 日常のあいさつ

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ2. 排便・排尿

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ3. 手洗い

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ4. 食 事

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ5. 歯磨き

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ6. うがい

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ7. 衣服の着脱

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ8. 靴の着脱

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ9. 後片付け

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

SQ10. 簡単なお手伝い

1. できる 2. なんとかできる 3. ほとんどできない 4. できない 5. わからない

Q15. あなたはお子様とゆったりとした気分で接していますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

Q16. あなたはお子様の世話をするのが面倒に感じる日がありますか。

1. まったくない 2. 時々ある

3. よくある (どんなとき? :)

Q17. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。

1. いつも聞いてしまう 2. 時々聞く
3. なるべく我慢させる

Q18. あなたはお子様何かして欲しいのかがよく分るので要求がある前にやってしまうことが多いと思いますか。

1. いつもやってあげてしまう 2. 時々やってあげる
3. 全くない

Q19. あなたはよその子のことをどのように思いますか。

1. 気になるのでいつもわが子とくらべてしまう
2. 気になるが個人差があると思っている
3. なるべく気にならないようにしている
4. 全く気にならない

Q20. あなたはお子様のしつけをするとき、たとえば「そんなことをするとおかあさんはどこかにいってしまう」「病気になるってしまう」「よその子ととりかえてしまおう」等と言いがちですか。

1. よく言う 2. 時々言う 3. 言わないようにしている

Q21. あなたはお子様を連れて、祖父母・親戚・友人等の所へ出かけますか。

1. よくいく 2. 時々いく 3. いかない

Q22. あなたはお子様を、買物や用たし等に連れていきますか。

1. よく連れていく 2. 時々連れていく 3. 連れていかない

Q23. お子様はいつもあなたにベタベタとまとわりつき、離れないでいますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

Q24. 長い時間(2時間以上)あなたがいないときお子様はどうですか。

1. お母さんがいないとだめなほうだ
2. 他の家族がいれば平気
3. 1人でいても平気

以上です。ご協力ありがとうございました。

V. 個別研究

V - 1 . 低体重児の生後の発達について

(1) はじめに

乳幼児健診は、乳幼児の発育・発達の確認やハイリスク児のスクリーニングを目的として行われる。これらの健診事業は市町村や保健所により積極的に推し進められている。出生体重2500g以下の低体重児（母子保健法18条による）もハイリスク児の一つであり、その後の児の成長に大きな影響を与える可能性が考えられるとともに、育児にあたる母親の不安も大きいと思われる。従って生後の発育・発達を検討することは、保健指導上から極めて重要なことと考えられる。当教室では低体重児の生後の身体発育の状況について経時的な追跡を行っているが、今回さらに低体重児の生後の発達について分析を行った。

(2) 対象

昭和61年7月から平成2年8月までに塩山市内で出生した新生児で、出生体重2500g以下の低体重児77名のうち母子管理カードの発達状態欄に全く記入のなかった9名（健診を受けていないと思われる）を除いた68名（男児36名、女児32名；1070g - 2490g、平均2210.29g、標準偏差321.54g）を低体重群とし、その前後に生まれた出生体重2500gを越える154名のうち情報の得られない9名を除いた145名（男児78名、女児67名；2604 - 4172g、平均3236.69g、標準偏差365.25g）を対照群とした。対照群を選ぶにあたっては性、出生月をマッチさせた。

(3) 方法

塩山市の母子保健に用いられている母子管理カードの児の性別、在胎週数、出生体重、4カ月健診時および7カ月健診時における発達状況を転記したデータを用いた。発達状況は表1の17項目である。低体重群とコントロール群に分け、17項目それぞれについて

① 各項目についてその月までにできたかできなかったかで 2×2 分割表を作成し χ^2 検定 (または R. A. Fisher の直接確率計算法) ② 平均値の差の検定 (t 検定) を行った。① は出生体重 2000 g 以下の児と 2000 g を越える児の 2 群に分けてもおこなった。

① を行うにあたって Δ 、 \pm の記入のある場合はできないほうに分類し、 $?$ は空欄とした。また ② を行うにあたって \circ の記入のある場合はその月とし、 Δ 、 \pm 、 \times 、 $?$ の記入のある場合は空欄とした。

つぎに低体重児の発達を比較するために、低体重群を LFD (light for date infant) と AFD (appropriate for date infant) の 2 群に分け発達の違いを比較した。LFD と AFD の分類は仁志田らの胎児発育曲線を参考にした。また低体重群の男児と女児についても比較した。集計・分析は統計パッケージ SAS によって行なった。

(4) 結果

1. 対象児について

低体重群 68 名のうち 2000 g を超えるものが 55 名で約 8 割、1500 g 未満の極小未熟児は 4 名であった。

低体重群および対照群の出生体重と成熟度は表 2、3 のとおりであり、出生体重と在胎週数の関係は表 4、5 のとおりである。

全体では、LFD 児が約 $3/4$ を占め、SFD 児が 17%、HFD 児が 8% であった。LBW 児では LFD と AFD が約半数ずつであった。

在胎週数は、全体では正期産が 86%、早期産が 11% であり、LBW 児では正期産と早期産の比が約 2 : 1 であった。

2. LBW 児とコントロール群の発達について

① χ^2 検定の結果

低体重群では B. おもちゃをつかむ、G. 手を出してもものをつかむ、H. 人に向かって声を出すといった項目で遅れがみられた。(表 6)

また対象児を出生体重2000g以下の児と2000gを越える児にわけて同様の分析を行ってみたが特に大きな変化はなかった。

② t 検定の結果

ほとんどの項目でコントロール群の方が達成月が早いという傾向がみられた。「首がすわる」、「手を出してもものをつかむ」、「歯牙発生」、「おすわりをする」、「ハイハイをする」という項目では $p < 0.01$ 、「人に向かって声を出す」という項目で $p < 0.05$ と有意にコントロール群の方が達成月が早かった。（表7）

3. LBW児の発達について

① LBW児のLFDとAFDの発達

全体としてLFDとAFDで発達に差はみられなかった。（表8）

② LBW児の男女の発達

「ハイハイをする」という項目で $p < 0.05$ と有意に女児の方が達成率が高かったが、それ以外の項目では差はなかった。（表9）

（5）考察

最近わが国の出生数は減少し、また低体重児の出生数も減少してきている。（低体重児のうち極小未熟児の占める割合は増加してきている。）一方、乳児死亡率や新生児死亡率は減少し、母子保健は高い水準に達している。このような状況の中、低体重児に対する保健活動は今後ますます重要になるとと思われる。

低体重児の発達については対照群と比べると全体として遅れているといえた。特に「手を出してもものをつかむ」、「人に向かって声を出す」という項目は両検定とも低体重群の方が遅れていた。また「おすわりをする」や「ハイハイをする」という項目で有意差がみられたことよりこの時期（7～8カ月）にはまだキャッチ・アップしているとはいえなかった。

一方、低体重児をLFD、AFDや男女別に比較した場合、全体として有意差はみられなかった。

今回の分析は母子管理カードの発達状況欄のみを用いたが、より

正確に発達状況を把握するために、母親へのアンケートや母親が発達の様子を記入できる用紙を出生時に配布するなどの方法が考えられた。

また今回の分析では低体重児の例数が少なく、今後さらに例数を蓄積する必要があるとともに、これ以降のデータ（1歳6カ月時や3歳時のデータ）や生後の環境とのかかわりについても検討する必要があると思われた。

表1. 発達状況チェック項目

()内はできる月

- A. 追視 (3)
- B. おもちゃをつかんでいる (3)
- C. 声を出して笑う (3)
- D. 腹ばいで30秒くらい頭をあげる (3)
- E. 首がすわる (4)
- F. ガラガラを振る (4)
- G. 手を出してもものをつかむ (5)
- H. 人にむかって声を出す (5)
- I. 寝返りをする (6)
- J. 親しみと怒った顔がわかる (6)
- K. 歯牙発生 (7)
- L. 腹ばいで体をまわす (7)
- M. マ・パ・バなどの声のでる (7)
- N. おすわりをする (8)
- O. ハイハイをする (8)
- P. おもちゃをとられると不快を示す (8)
- Q. つかまってたちあがる (9)

表 2 . 低体重児の出生体重と成熟度

	L. F. D.	A. F. D.	H. F. D.	Total
1000-1500 g	2	0	0	2
1501-2000 g	6	3	0	9
2001-2500 g	26	28	0	54
	34	31	0	65

* 3 名は在胎週数不明のため除外してある

表 3 . 対照群の出生体重と成熟度

	L. F. D.	A. F. D.	H. F. D.	Total
2501-3000 g	1	35	1	37
3001-3500	0	74	0	74
3501-4000	0	19	10	29
4001-4500	0	0	5	5
	1	128	16	145

表 4 . 低体重児の出生体重と在胎週数

	-31	32 - 36	37 - 41	42- (週)	Total
1000-1500g	1	2	0	0	3
1501-2000g	1	4	4	0	9
2001-2500g	0	15	37	1	53
	2	21	41	1	65

* 3名は在胎週数不明のため除外してある

表 5 . 対照群の出生体重と在胎週数

	-31	32 - 36	37 - 41	42- (週)	Total
2501-3000g	0	3	33	1	37
3001-3500g	0	0	73	1	74
3501-4000g	0	0	29	0	29
4001-4500g	0	0	4	1	5
	0	3	139	3	145

表6. 低体重児と対照群の発達 (χ^2 検定)

項目	低体重群 (2500g以下) 対照群 (2500g超)		P 値
	各月までにできなかった人数/できた人数		
A (3) 追視	1/59	3/114	NS
B (3) おもちゃを つかんでいる	9/51	4/116	< 0.05
C (3) 声を出して 笑う	7/54	11/120	NS
D (3) 腹ばいで 頭をあげる	2/15	6/37	NS
E (4) 首がすわる	6/52	11/119	NS
F (4) ガラガラをふる	5/35	4/82	NS
G (5) 手を出して ものをつかむ	12/31	11/89	< 0.05
H (5) 人に向かって 声を出す	12/35	12/87	< 0.05
I (6) 寝返りをうつ	14/41	32/91	NS
J (6) 親しみと怒りの 顔がわかる	4/35	11/79	NS
K (7) 歯牙発生	7/29	11/81	NS
L (7) 腹ばいで 体をまわす	4/42	12/93	NS
M (7) マ、パ、バ	4/28	8/73	NS
N (8) おすわりをする	4/41	4/104	NS
O (8) ハイハイをする	8/25	11/69	NS
P (8) おもちゃをとら れると不快	1/19	2/48	NS
Q (9) つかまり立ち	1/10	3/48	NS

表7. 低体重児と対照群の発達 (t検定)

項目	低体重群(2500g以下)		対照群(2500g超)	P値
	上段: 人数	下段: 平均±標準偏差		
A (3) 追視	59		116	
		2.96±0.19	2.94±0.33	NS
B (3) おもちゃを つかんでいる	56		119	
		3.09±0.39	2.98±0.26	NS
C (3) 声を出して 笑う	57		124	
		3.03±0.39	2.92±0.35	NS
D (3) 腹ばいで 頭をあげる	16		39	
		3.06±0.25	3.00±0.41	NS
E (4) 首がすわる	56		124	
		3.56±0.66	3.28±0.61	<0.01
F (4) ガラガラをふる	40		85	
		4.06±0.60	3.93±0.36	NS
G (5) 手をだして ものをつかむ	43		99	
		5.33±0.61	5.02±0.37	<0.01
H (5) 人にむかって 声を出す	47		99	
		5.26±0.61	4.98±0.59	<0.05
I (6) 寝返りをうつ	53		115	
		5.69±1.21	5.49±1.21	NS
J (6) 親しみと怒った 表情がわかる	38		89	
		5.97±0.43	6.07±0.41	NS
K (7) 歯牙発生	35		90	
		6.70±0.87	6.07±1.25	<0.01
L (7) 腹ばいで 体をまわす	45		97	
		6.92±0.78	6.78±0.61	NS
M (7) マ、パ、バ等の 音声がでる	31		76	
		6.94±0.85	6.93±0.35	NS
N (8) おすわりをする	42		105	
		7.20±0.81	6.56±1.02	<0.01
O (8) ハイハイをする	31		74	
		7.85±1.10	7.10±1.01	<0.01
P (8) おもちゃをとら れると不快	20		49	
		7.60±0.94	7.78±0.58	NS
Q (9) つかまって 立ち上がる	11		49	
		8.23±0.98	7.74±0.97	NS

表 8. 低体重児の発達 (L. F. D. と A. F. D.)

項目	L. F. D.	A. F. D.	P 値
	各月までにできなかった人数 / できた人数		
A (3) 追視	0/34	0/24	
B (3) おもちゃを つかんでいる	2/27	6/22	NS
C (3) 声を出して 笑う	0/33	5/20	P<0.05
D (3) 腹ばいで 頭をあげる	1/10	0/5	NS
E (4) 首がすわる	1/27	4/24	NS
F (4) ガラガラをふる	3/17	1/17	NS
G (5) 手を出して ものをつかむ	5/18	7/11	NS
H (5) 人に向かって 声を出す	8/17	4/16	NS
I (6) 寝返りをうつ	10/18	4/23	NS
J (6) 親しみと怒りの 顔がわかる	2/18	2/17	NS
K (7) 歯牙発生	3/14	4/15	NS
L (7) 腹ばいで 体をまわす	2/21	2/21	NS
M (7) マ、パ、バ	3/14	1/14	NS
N (8) おすわりをする	1/23	3/17	NS
O (8) ハイハイをする	2/13	5/12	NS
P (8) おもちゃをとら れると不快	0/9	1/10	NS
Q (9) つかまり立ち	1/5	0/5	NS

表9. 低体重児の発達（男児と女児）

項目	男児	女児	P 値
	各月までにできなかった人数／できた人数		
A (3) 追視	0/32	1/27	NS
B (3) おもちゃを つかんでいる	5/25	4/26	NS
C (3) 声を出して 笑う	4/29	3/25	NS
D (3) 腹ばいで 頭をあげる	0/9	2/6	NS
E (4) 首がすわる	3/29	3/23	NS
F (4) ガラガラをふる	4/21	1/14	NS
G (5) 手を出して ものをつかむ	4/20	8/11	NS
H (5) 人に向かって 声を出す	5/19	7/16	NS
I (6) 寝返りをうつ	7/22	7/19	NS
J (6) 親しみと怒りの 顔がわかる	0/19	4/16	NS
K (7) 歯牙発生	5/15	2/14	NS
L (7) 腹ばいで 体をまわす	1/25	3/17	NS
M (7) マ、パ、バ	2/14	2/14	NS
N (8) おすわりをする	2/24	2/17	NS
O (8) ハイハイをする	8/14	0/11	P<0.05
P (8) おもちゃをとら れると不快	1/9	0/10	NS
Q (9) つかまり立ち	1/9	0/1	NS

V - 2. 双生児の成長・発達と地域保健

(1) はじめに

わが国における双生児の出産頻度は1974年度の全国調査においては、出産人口1000対6程度と推定されている。昨年我々が算出した山梨県における双生児の出産頻度も1000:6.3であり、双生児の出産は決して稀なことではない。不妊治療のため排卵誘発剤の使用等双生児の出産頻度が相対的に上昇していく可能性も考えられる。また双生児は単胎児に比べて低体重児が多く、早期産や妊娠中毒症による発育遅延や分娩時の位置異常などが重なって単胎児に比べてハイリスクであるといえる。双胎育児に関する情報も少なく、少産少死や核家族化がすすんでいるという状況の中で育児をする母親の不安はかなり大きいと考えられる。以上の点より地域保健という立場から双生児の成長・発達を観察し、双生児集団の管理を充実させていくことは、母子保健の質的向上に寄与するものと思われる。当教室では昭和60年度より山梨県塩山市で出生した児の発育・発達について追跡しているが、その中に7組14名の双生児がみられた。その7組の双生児の成長・発達について家庭訪問でえた双生児を育てる上での悩み、問題点などを含めてケース・レポートの形で報告する。

(2) 対象および方法

昭和60年より平成2年8月までに塩山市内で出生した1315名の中の双生児7組(男男3組、女女2組、異性2組)を、対象とした(表1)。方法は各健診記録から発達チェック項目(表2)や体重・身長・胸囲・頭囲の発育状況を抽出し、双生児ペア内での比較および一般児との比較を行った。一般集団のデータとしては厚生省の乳幼児身体発育値(昭和55年)を用いた。また家庭訪問と健診時の相談票により卵性診断や母親の育児をするにあたっての不安など健診以外のフォローの状況について検討した。卵性診断には浅

香らが開発した母親用卵性診断質問紙（表3）を用いた。また双生児とHirschsprung病についてMEDLINEによる文献検索を行った。

（3）結果

各双生児の発育の概要を表1に、各ケースの健診時における体重の変化を図1から図6に掲載した。ケース6につきましては家庭訪問が実施できなかった。

（ケース1）女女の1卵性で、母親は経産婦、帝王切開であった。体重は各健診において第1子の方が重く、一般児と比べてみると常に体重の少ない第2子も、3歳の時点ではほぼキャッチ・アップしていた。身長等は出生時第1子の方が大きかったが、徐々に差はなくなってきた。発達については、第2子が3歳時に排泄を教えない、高い・低いなどがわからないなど発達の遅れがみられた。養育上の不安としては能力の差がでてきた場合どう対応したらよいか、「双生児は言葉が遅れる」と聞き、不安だったとのことである。

（ケース2）男男の2卵性で、母親は初産婦であった。発育・発達とも順調であった。

（ケース3）男女の2卵性。母親は経産婦であった。第1子は骨盤位であった。家族状況として、妊娠中に父親が病死するということがあった。発育は出生時ややちいさめであったが、加齢と共にキャッチ・アップしてきた。発達については1歳6ヵ月健診で言語発達遅滞がみられた。母親の不安として双生児のため余り手をかけてあげられないなどがあった。

（ケース4）女男の2卵性で、母親は初産婦。体重については出生時かなり差がみられ、3歳の時点まで常に第1子の方が大きかった。低体重児であった第2子も加齢とともにキャッチ・アップした。身長等に関しても体重とほぼ同様であった。発達は、3歳時に第2子の方が排泄を教えずおむつをしていた。

（ケース5）男男の1卵性。経産婦。発育、発達は特に問題になるようなことはなく順調であった。3歳児健診時に、第2子に言語獲

得期にみられる言葉のゆがみがみられた。

(ケース6) 女女。母親は経産婦、在胎週数は33週で早期産であった。両児とも低体重児であったが、1歳6カ月時点で25パーセントイルを越えた。身長等も同様であった。発達は3歳児健診で発語、言語理解の遅れを指摘され、児童相談所への紹介等を通して状態を観察すると、言葉は遅れながらもできているが、二人での遊びで終わっていることや母親の声かけが少ないなどの状況が把握できた。

(ケース7) 男男。1卵性。母親は初産婦。出生直後より二人とも哺乳力弱く、Hirschsprung病と診断され、平成3年3月回腸瘻造設術施行、同年7月退院となった。その後何度か入退院を繰り返し現在第1子は順調で既に瘻閉鎖されているが、第2子はまだ瘻が造設されガスぬきなどの処置が必要とのことであった。今後児の成長を待って根治術施行予定である。

双生児とHirschsprung病の文献についてMEDLINEより抽出した結果が表3である。両方ともがキイ・ワードとなっている文献は3つあった。

ひとつはNeuronal intestinal dysplasia とHirschsprung病との関係について、ひとつはTotal intestinal aganglionosis と腎奇形の関連についてかかれたものであった。三つめは一卵性双生児におけるHirschsprung病の発現の不一致例のケース・レポートであった。

以上7つのケースについて簡単に説明したが、双生児を育てる上での母親の悩み、不安をまとめると表4のようになった。

(4) 考察

発育については、今回対象とした14名のうち6名が出生体重2500g以下の低体重児であるなど出生時遅れのめだったケースが多かったが、加齢と共に”キャッチ・アップ”している児が多かった。この結果は国内外の報告によく類似していた。双生児間で発育状況を比較してみると、

① 出生時二人の差が小さく、その後も同じように発育する場合

② 出生時二人の差が大きく、その後もその差が縮まらない場合

③ 出生時二人の間にある程度差があるが、徐々にその差が縮まっていく場合

の3つのタイプに分類できた。発達は、双生児間で似かよっている場合が多かった。何らかの形で発達に遅れがみられた児は6名であった。出生体重が2000g前後の児で、発語や言語理解が遅れていたり、3歳時に排泄を教えないなどのケースがあった。言語発達遅滞のケースは環境要因の影響の方が大きいと思われた。双生児は単胎児に比べて乳幼児期に母親との接触が少なく、他の子どもと余り遊ばない傾向があるという報告があるが、ケース6はその典型例であった。一般に双生児の乳幼児期における成長過程は単胎児とは異なると考えられているが、以上の結果よりもそのことはある程度示唆された。

表4より、母親は、乳児期の睡眠不足など身体的負担が大きく、精神的にもサポートする必要があることが示唆された。地域保健という立場から具体的方法としては、父親の協力が不可欠のため父親にも指導を行ったり、双生児の母親どうしの情報交換の場をもうけたり、保健婦や母子保健推進員の援助などがあげられる。

昨今保健所レベルでは多胎児をもつ母親学級や訪問指導が実施され始めている。平成4年4月より母子健康手帳の交付がより身近な実施主体が行うことが望ましいとの観点から県から市町村に変更された。このような意味でも市町村レベルでの母子保健活動の充実が望まれるところであり、多胎妊娠がわかった時点から、個々の問題点についてきめの細かい保健指導が必要であると考えられた。

表 1 各双生児の発育状況

ケース	卵性	在胎週数	性	生年月日	出生体重 (g)	出生身長 (cm)	出生胸囲 (cm)	出生頭囲 (cm)	3 歳体重 (Kg)	3 歳身長 (cm)	3 歳胸囲 (cm)	3 歳頭囲 (cm)
1	1 卵性	3 9 週	女	S61.7.4	2660	49	31	33	13.1	93.5	50	49.5
			女	S61.7.4	1908	45	27	31	12	92.5	49	49
2	2 卵性	3 9 週	男	S61.7.5	2885	データなし	データなし	データなし	12.7	93.8	50	49.5
			男	S61.7.5	2930	データなし	データなし	データなし	13.3	96	51	51
3	2 卵性	3 6 週	男	S62.5.2	2490	46	30	33	データなし	データなし	データなし	データなし
			女	S62.5.2	2250	46.5	29.5	31.5	データなし	データなし	データなし	データなし
4	2 卵性	4 0 週	女	S62.6.19	3670	48	34	35.5	14.3	92.2	52	49
			男	S62.6.19	2294	46	29.5	33	13	88	51	49
5	1 卵性	3 7 週	男	S60.9.3	2730	49	31	33.5	15.6	95.5	54	51
			男	S60.9.3	2820	48.5	31	33.5	14.9	94.2	54	49
6		3 3 週	女	S60.7.13	1954	48	27	29	11.8	91.5	50	47.5
			女	S60.7.13	2182	45	28	32	11.4	92	50	47
7 Hirschsprung	1 卵性	3 8 週	男	H3.3.12	3234	47	32	33	—	—	—	—
			男	H3.3.12	3180	47	33	33	—	—	—	—

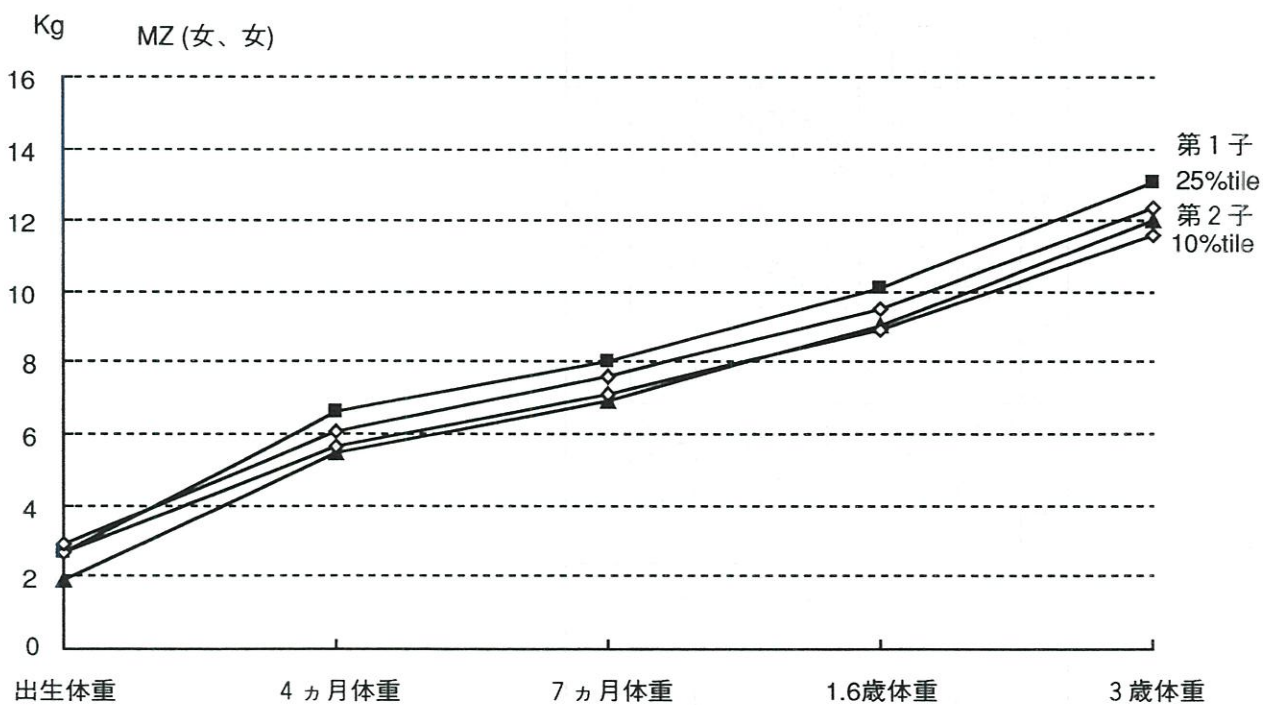


図1 ケース1における体重の変化

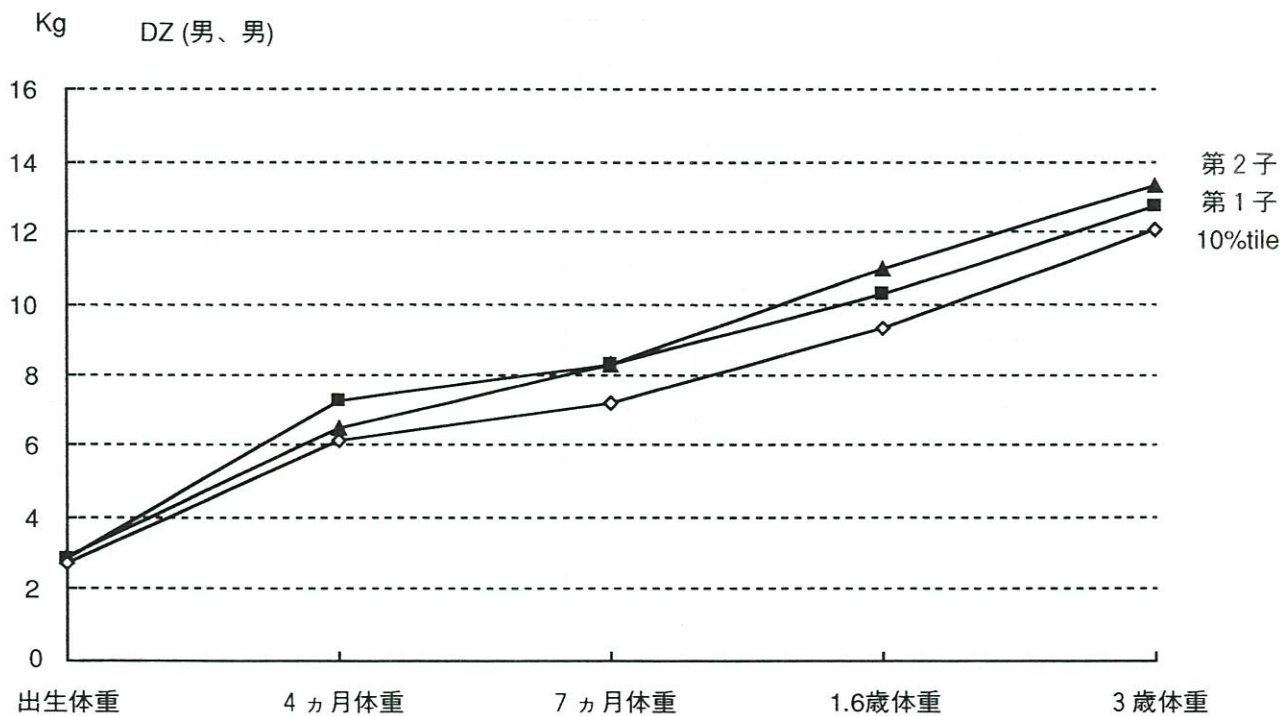


図2 ケース2における体重の変化

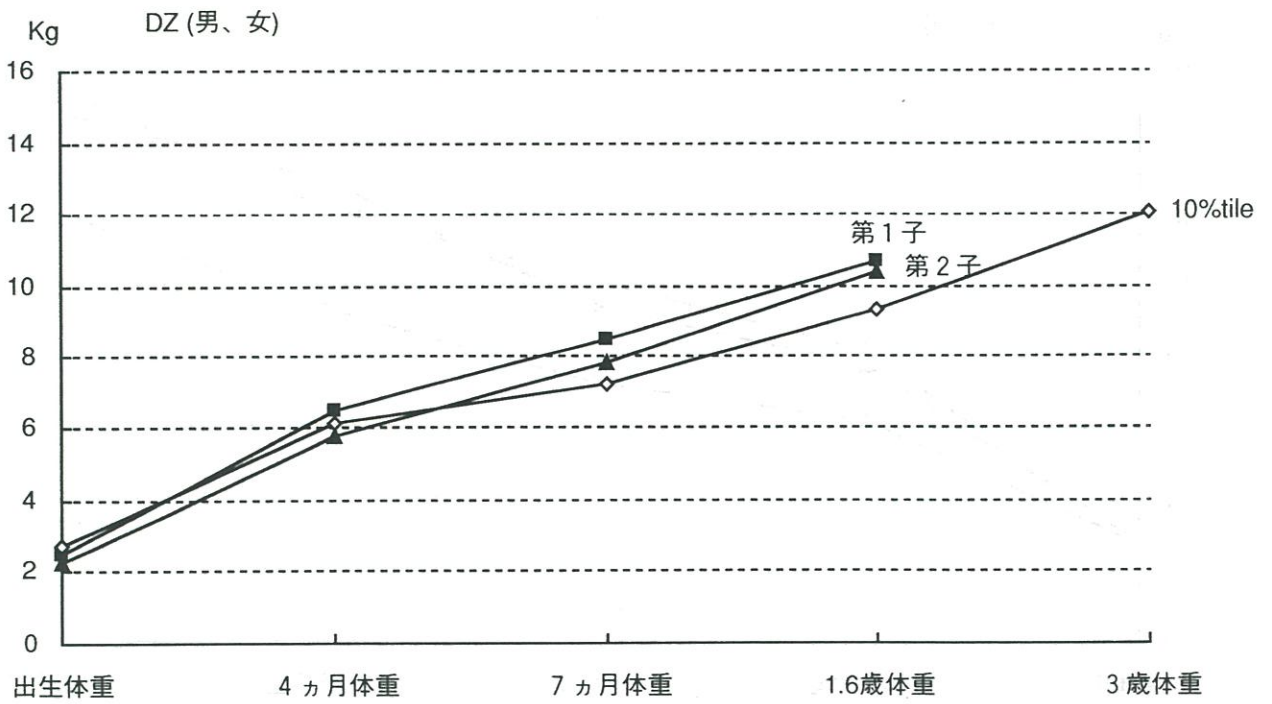


図3 ケース3における体重の変化

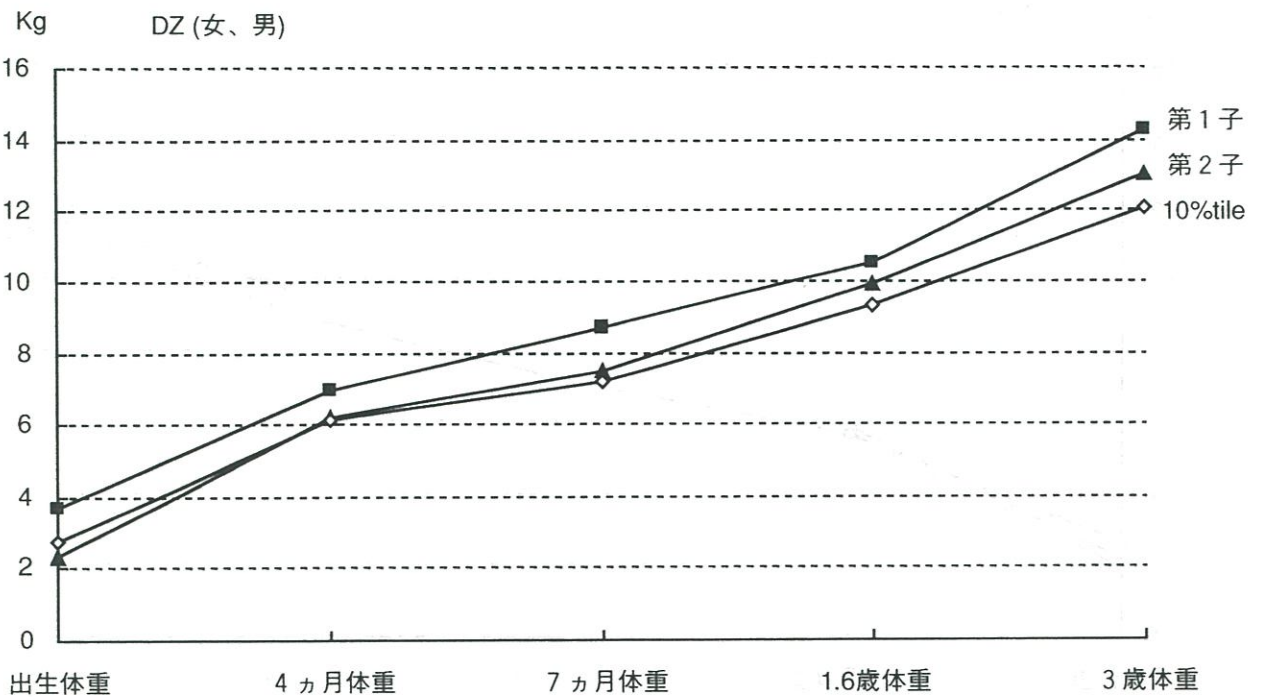


図4 ケース4における体重の変化

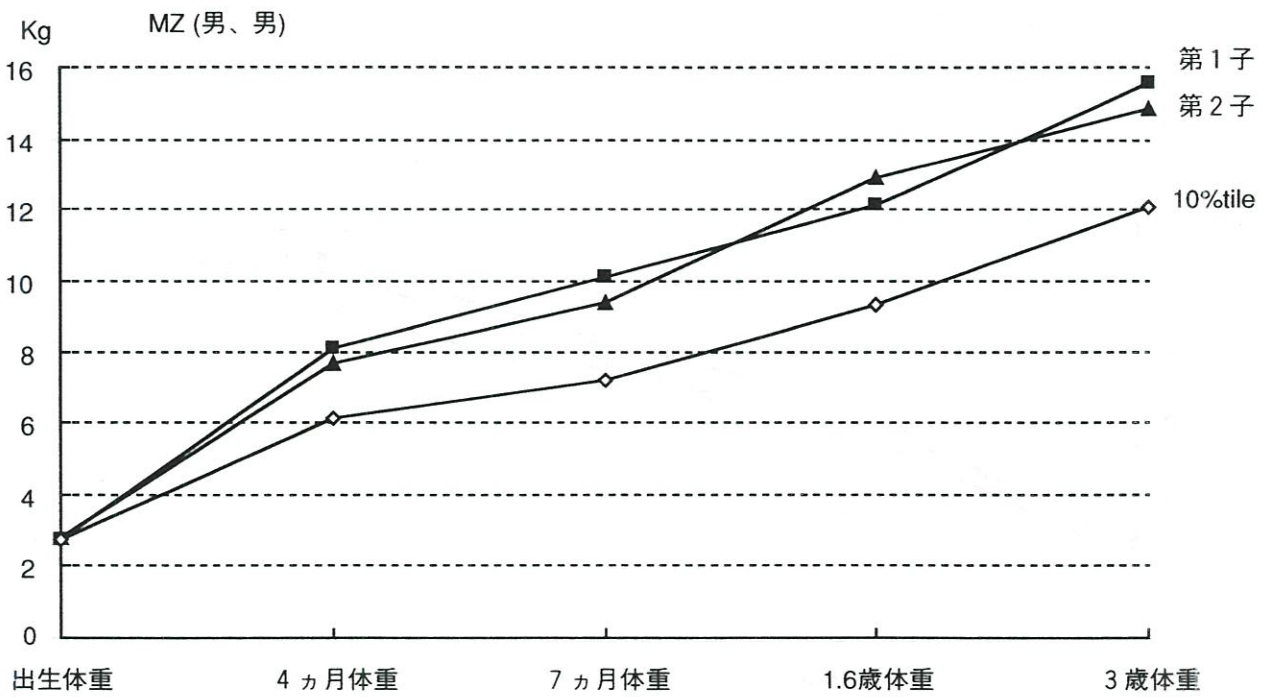


図5 ケース5における体重の変化

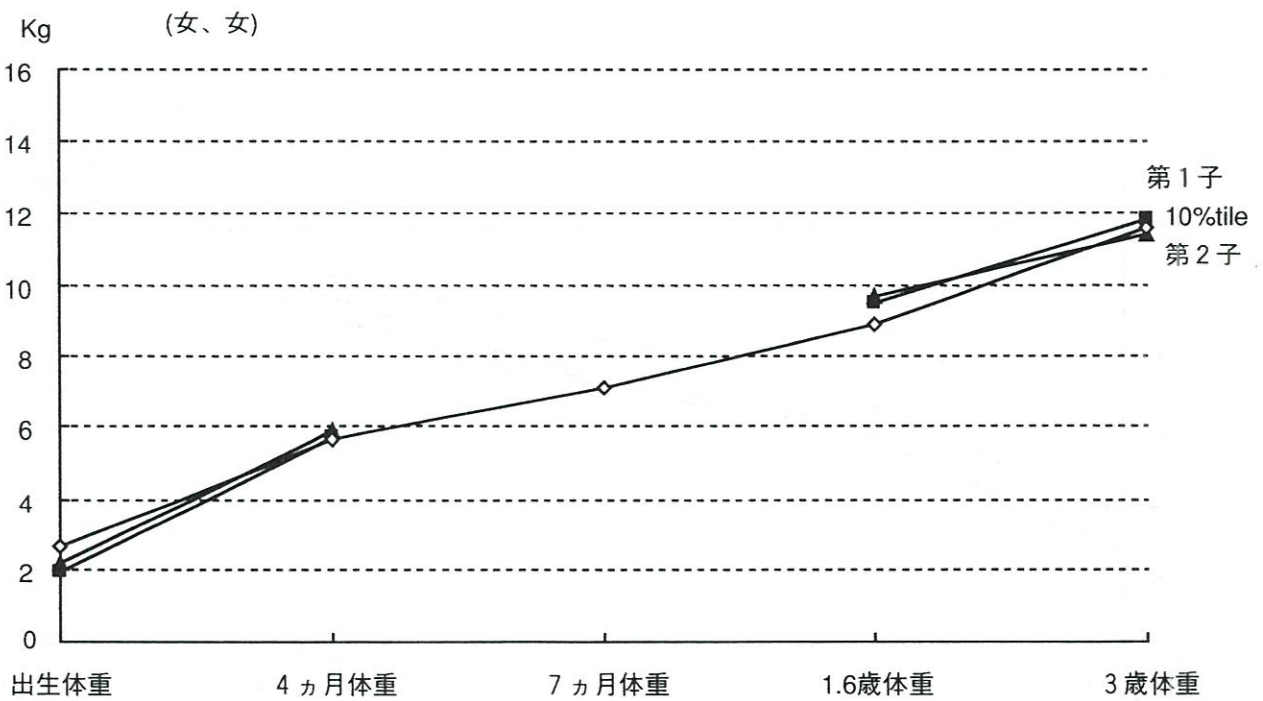


図6 ケース6における体重の変化

表2 各健診での発達チェック項目

3～4カ月健診	首のすわり、追視、声を出してわらう、おもちゃをつかむ、
7カ月健診	おすわり、寝返り、マ・バ・パの声ができる、人に向かって声を出す、
1歳6ヶ月健診	走る、ストローが使える、手をつなぐ、単語3語が言える、言語理解（目、口、耳、手）
3歳児健診	でんぐりかえしができる、ボタンをとめられる、顔を洗う、2語文を話す、言語理解（高、低）、排泄を教える

表3 卵性診断用質問紙（母親用）

あなたのお子さんのふたごについて質問します。

A. 下にいろいろな項目があげてあります。ふたごのお子さんは、およそ幾歳のころにどのくらい似ていたでしょうか。それぞれの項目について最も適当と思われるものの番号を○で囲んで下さい。

	非常によく似ていた	どちらともいえない	全く似ていなかった
1. 顔の輪郭	1	2	3
2. つむじの数	1	2	3
3. つむじの位置	1	2	3
4. まゆ毛の形	1	2	3
5. まぶたの形	1	2	3
6. 目の形	1	2	3
7. 耳の形	1	2	3
8. 声	1	2	3
9. あざやほくろの数	1	2	3
10. あざやほくろの位置	1	2	3
11. 指の形	1	2	3
12. 全体的な体つき	1	2	3
13. 寝顔	1	2	3
14. 寝姿	1	2	3
15. 病気のかかりやすさ	1	2	3
16. 病気にかかる時期	1	2	3

B. 上と同様に、あなたのお子さんがおおよそ幾歳のころのことを思い出してお答え下さい。各質問項目について、最も適当と思われるものの番号を○で囲んで下さい。

- ふたごは「うりふたつ」のように似ていましたか。
 - 「うりふたつ」のように似ていた
 - ふつうの兄弟姉妹程度に似ていた
 - 全く似ていなかった
- ふたごは当時、間違えられることがありましたか。
 - はい、非常にしばしば
 - はい、時々
 - いいえ、決して
- その場合、ふたごは誰に間違えられましたか。
 - 両親
 - 親戚や近所の人達
 - その他の見知らぬ人達
 - 誰にも間違えられなかった

質問項目B群の○をつけた番号を得点とし、3つの質問項目の得点合計が6点以下をMZ、7点以上をDZと診断した

表4 MEDLINEより抽出した双生児・Hirschsprung病関連文献

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	計
① TWINS	590	581	590	566	676	385	663	4051
② Hirschsprung病	90	80	65	93	69	32	87	516
① and ②	2	0	1	0	0	0	0	3

表5 双生児養育上の母親の不安・悩み

- ・一方の子と比べて発達が遅いのではと悩む
- ・二人の間に能力差があらわれたときにどう対応したらよいか不安
- ・乳児期に二人の生活パターンが異なっていたので、休めなかった
- ・一方が病気になるとうつつてしまい、受診回数が多くなった
- ・「双子は言葉が遅い」と聞き、不安であった
- ・双子のためひとりひとりに手をかけられない

